

京都市内遺跡立会調査概報

平成16年度

2005年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ご あ い さ つ

山紫水明の都・京都市は、世界に誇る数多くの貴重な文化遺産に恵まれた歴史都市であります。市内には多くの「埋蔵文化財包蔵地」があり、古代から近世までの時代毎に積み重なった遺跡は、我が国の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来の日本文化の向上発展の基礎を成すものです。先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私たちには、それらを後世に伝え残していく責務があります。

しかしながら、近年、埋蔵文化財包蔵地内において土木工事等による開発がすすみ、埋蔵文化財の保護に重大な影響を及ぼしかねない状況です。こうした中、本市では、「開発」と「保存」の両立をしっかりと行いながら、貴重な文化財の保護に取り組んでおります。

さて、この度、平成16年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施したものであります。

各調査の実施に当たり、御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導・御助言を賜りました関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を知り、理解を深めるために、お役に立てば幸いに存じます。

平成17年 3月

京都市文化市民局長

柴 田 重 徳

例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成16年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は堀内寛昭、吉本健吾が調整・作成・実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 遺物の写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。
- 6 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」をBM±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面（±0m）としている。
- 7 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡については重複する遺跡は省略し、官衙・条坊を優先して明記し、官衙・条坊が複数にまたがるものは代表するものを掲載した。長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 8 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図（縮尺1/2,500）を調整し、作成したものである。

利用した都市計画基本図は、以下のものである。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1（衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅）

その他の遺跡 図版14～26 10,000分の1（二軒茶屋、西賀茂、幡枝、鷹峯、植物園、松ヶ崎、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、松尾、上桂、西京極、五条大橋、清水寺、安祥寺、京都駅、今熊野、山科、小山、中山、川島、吉祥院、勸修寺、行者ヶ森、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、石田、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、納所、向島、岡屋、淀）

各報告の「調査位置図」 5,000分の1

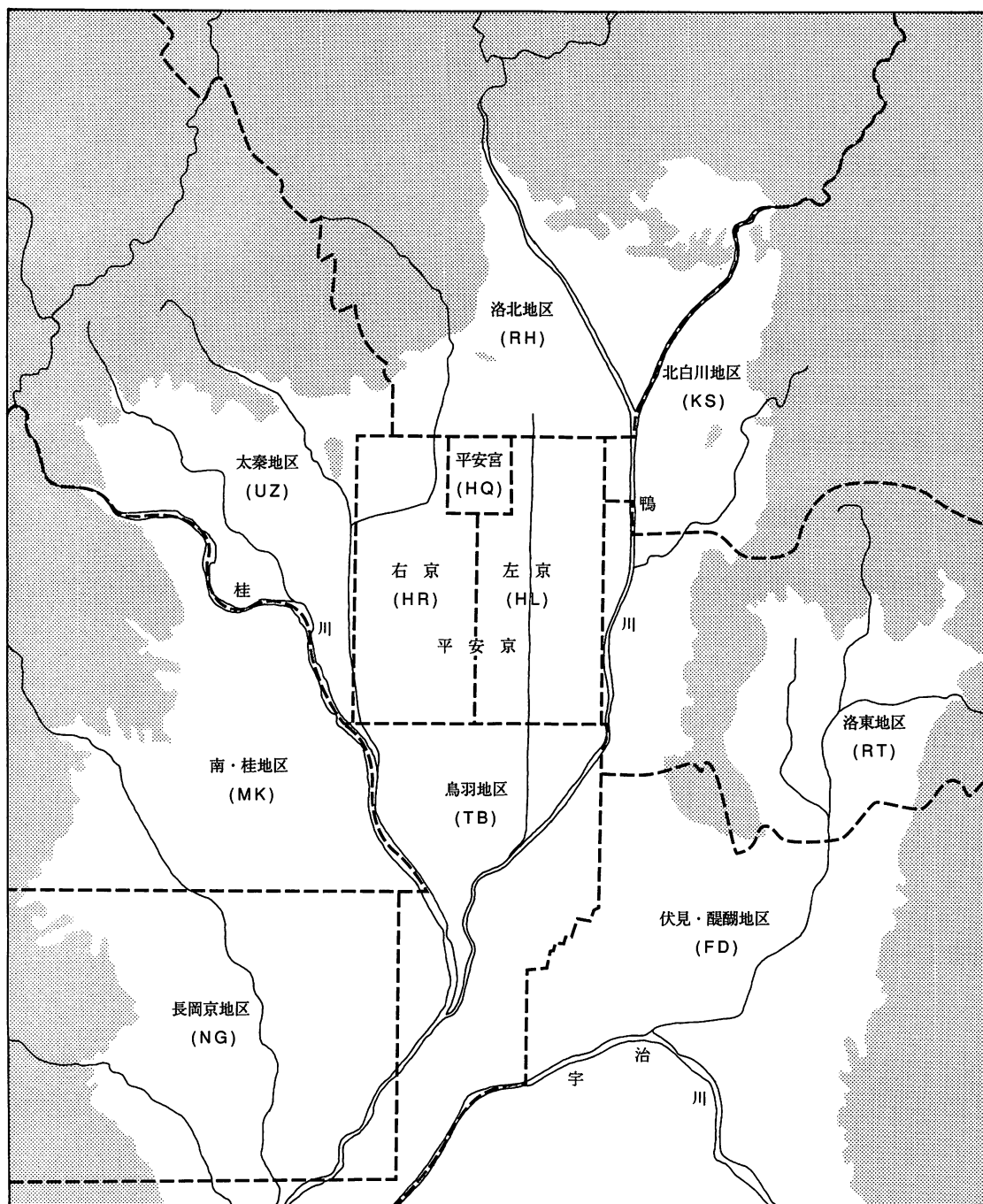
図1（聚楽廻）

図6（梅小路）

図16（山ノ内）

図28（壬生、島原）

図34（勸修寺、行者ヶ森）



地区設定概念図

本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	3
1 平安京左京二条二坊九町・二条城北遺跡 (03HL396・397)	3
2 平安京左京八条二坊十一町 (03HL311)	5
3 平安京右京四条二坊十四町 (04HR190)	10
4 平安京右京五条一坊六町 (03HR317)	14
III その他の遺跡	17
1 大宅遺跡・大宅廃寺 (03RT241)	17
調査一覧表	19
報告書抄録	36

図版目次

図版 1～26 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版14 伏見城跡・桃山古墳群・御香宮廃寺・桃陵遺跡

- 図版15 伏見城跡
- 図版16 御土居跡・上総町遺跡・上京遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡・公家町遺跡
- 図版17 草木町遺跡・巽古墳・村ノ内町遺跡・常盤東ノ町古墳群・常盤仲之町遺跡・多藪町遺跡・西野町遺跡・段ノ山古墳
- 図版18 北白川追分町遺跡・北白川追分町縄文遺跡・吉田上大路町遺跡・追分町古墳群・吉田二本松町遺跡・白河街区跡・白河北殿跡・白河南殿跡・得長寿院跡・尊勝寺跡・延勝寺跡・岡崎遺跡
- 図版19 建仁寺境内・六波羅政庁跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版20 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・下鳥羽遺跡
- 図版21 長岡京跡・東土川遺跡
- 図版22 1 植物園北遺跡 2 太閤堤・向島城跡
- 図版23 1 中久世遺跡・長岡京跡 2 八幡古墳群・東幡枝遺跡・栗栖野瓦窯跡・南ノ庄田瓦窯跡・幡枝古墳群 3 中臣遺跡
- 図版24 1 醍醐ノ森瓦窯跡 2 北野遺跡 3 御土居跡 4 仁和寺院家跡・円乗寺跡 5 東衣手町遺跡・郡城跡 6 御土居跡・法成寺跡 7 北白川瓦窯跡・上終町遺跡・北白川廃寺・池田町古墳群 8 渡辺館跡・一乗寺西浦畑町遺跡
- 図版25 1 御土居跡・法興院跡 2 安朱遺跡 3 山科本願寺跡 4 山科本願寺南殿跡 5 大宅遺跡・大宅廃寺 6 大塚遺跡 7 石原城跡 8 久我殿遺跡
- 図版26 1 がんぜんどう廃寺 2 醍醐廢寺 3 長岡京跡 4 長岡京跡 5 長岡京跡・淀城跡 6 福西古墳群 7 松尾十三塚古墳群 8 桂徳大寺町遺跡

図版27・28 写真

- 図版27 遺物 平安京左京二条二坊九町・二条城北遺跡 (03HL396・397)
 平安京左京八条二坊十一町 (03HL311)
 平安京右京四条二坊十四町 (04HR190)
 平安京右京五条一坊六町 (03HR317)
- 図版28 遺物 平安京右京五条一坊六町 (03HR317)

挿 図 目 次

03HL396・397

図 1	調査位置図	3
図 2	遺構位置図	3
図 3	No.1 地点池断面図	4
図 4	出土遺物実測図	4
図 5	No.1 地点池	4

03HL311

図 6	調査位置図	5
図 7	遺構位置図	5
図 8	No.1・2 地点土層断面図	6
図 9	No.4 地点井戸断面図	6
図10	出土遺物実測図	7
図11	井戸枠実測図	7
図12	No.1 地点落込	8
図13	No.2 地点土壌	8
図14	No.4 地点井戸枠縦板検出状況	9
図15	No.4 地点井戸枠横棧・隅柱検出状況	9

04HR190

図16	調査位置図	10
図17	遺構位置図	10
図18	No.1 地点東西溝	10
図19	No.1・2・3・5 地点土層断面図	11
図20	出土遺物実測図	12
図21	昭和初期調査地付近図	12
図22	No.5 地点池	13
図23	No.2 地点ピット	13
図24	No.5 地点ピット	13
図25	No.3 地点落込	13
図26	No.1 地点東西溝土器出土状況	13
図27	No.4 地点池土器出土状況	13

03HR317

図28 調査位置図…………… 14
図29 遺構位置図…………… 14
図30 No.7地点柱状断面図…………… 15
図31 No.7地点南北溝…………… 15
図32 出土遺物拓影・実測図…………… 16

03RT241

図33 No.15地点遺構断面図…………… 17
図34 調査位置図…………… 17
図35 No.15地点南北溝位置図…………… 18
図36 No.15地点南北溝…………… 18

表 目 次

表1 立会調査件数…………… 1

I 調査概要

(財)京都市埋蔵文化財研究所では京都市文化市民局の委託を受けて、京都市内の遺跡を対象とした文化庁国庫補助事業による立会調査を実施している。本書では平成16年度概要報告として、2004年1月5日から3月31日までの平成15年度分と、同年4月1日から12月28日までの平成16年度分を合わせて報告する。調査件数は2004年1～3月期の平成15年度残り分が119件、4～12月期が293件であった。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである。

地 区	15年度1～3月	16年度4～12月	小計	地 区	15年度1～3月	16年度4～12月	小計
平安宮(HQ)	14	29	43	洛東地区(RT)	14	23	37
平安京左京(HL)	32	76	108	鳥羽地区(TB)	5	14	19
平安京右京(HR)	22	50	72	伏見・醍醐地区(FD)	7	19	26
洛北地区(RH)	8	28	36	長岡京地区(NG)	4	8	12
太秦地区(UZ)	4	9	13	南・桂地区(MK)	2	5	7
北白川地区(KS)	7	32	39	合 計	119	293	412

表1 立会調査件数

立会調査の件数はここ5年間、400件代前半と300件代後半を繰り返してきたが本年度は前年度に引き続いて400件代を維持している。以下各地区の概要を述べる。

平安宮(HQ) 宮域では43件の調査を行ったが概要報告を行うような成果は得られなかった。豊楽院跡で、残存状態の良かった豊楽殿跡の西側にあたる西華堂跡の調査(03HQ372、04HQ245)では近代に攪乱を受けていたことが分かった。

平安京左京(HL) 左京域では二条二坊九町(03HL396・397)、八条二坊十一町(03HL311)の2件の概要を報告する。それ以外では、時期不明ではあるが樋口小路と壬生大路の交差点上の路面を六条一坊七町(03HL324)で検出している。

平安京右京(HR) 右京域では四条二坊十四町(04HR190)、五条一坊六町(03HR317)の2件の概要を報告する。それ以外では、弥生時代の遺物包含層を六条四坊七町(04HR4)で検出している。平安時代は一条三坊二町(04HR179)で前期の近衛大路の側溝と考えられる溝状の落込を検出している。中世では八条二坊十六町(03HR366)で七条大路の南側溝と考えられる溝を検出している。時期不明ではあるが四条二坊四町(03HR395)で西鞆負小路の内溝と考えられる溝状の落込を、五条三坊七町(04HR278)で綾小路の北側溝と考えられる溝状の落込を検出している。

洛北地区(RH) 御土居跡、公家町遺跡、室町殿跡、上京遺跡、相国寺旧境内、上総町遺跡、植物園北遺跡、東幡枝遺跡、幡枝古墳群、南ノ庄田瓦窯跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、上総町遺跡で平安時代から室町時代の遺物包含層(04RH63)を検出している。東幡枝遺跡(04RH262)では室町時代中期の遺物包含層を検出している。去年度から新たに登録された上京遺跡(04RH130)では鎌倉時代から江戸時代にかけての包含層を検出している。この調査

はガス工事に伴うもので、工事が遺跡範囲より以北にまで続いていたため、調査を継続し、遺跡範囲以北にも室町時代の包含層が広がることが確認できた。

太秦地区(UZ) 常盤東ノ町古墳群、常盤仲之町遺跡、村ノ内町遺跡、西野町遺跡、草木町遺跡、巽古墳、多藪町遺跡、段ノ山古墳隣接地、仁和寺院家跡、円乗寺跡、東衣手町遺跡、郡城跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、西野町遺跡(03UZ304)で中世の遺物包含層を検出している。この調査は下水道工事であるが管路部分は推進工事のため遺跡範囲内で調査できず、遺物包含層は遺跡範囲外で検出したものである。

北白川地区(KS) 岡崎遺跡、白河街区跡、得長寿院跡、尊勝寺跡、法勝寺跡、白河南殿跡、白河北殿跡、東光寺跡、吉田二本松町遺跡、吉田上大路町遺跡、北白川追分町縄文遺跡、北白川追分町遺跡、追分町古墳群、御土居跡、法成寺跡、上終町遺跡、北白川廃寺、池田町古墳群、一乗寺西浦畑町遺跡、渡辺館跡、北白川瓦窯跡、松蔭町遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、上終町遺跡・北白川廃寺(04KS64)では白鳳時代から奈良時代にかけての瓦を包含する層を検出している。白河街区跡では3箇所ですべて平安時代末期(04KS215)、鎌倉時代前期(04KS112)、鎌倉時代後期(04KS117)の包含層をそれぞれ検出している。また池田町古墳群(04KS251)では室町時代後期の包含層を検出している。

洛東地区(RT) 建仁寺境内、法住寺殿跡、六波羅政庁跡、法性寺跡、中臣遺跡、法興院跡、御土居跡、安朱遺跡、山科本願寺跡、山科本願寺南殿跡、大塚遺跡、大宅遺跡、大宅廃寺で調査を行った。大宅遺跡・大宅廃寺(03RT241)の概要を報告する。中臣遺跡(04RT209)では平安時代末期の包含層を検出している。六波羅政庁跡では3箇所ですべて鎌倉時代後期(04RT56)、鎌倉時代から室町時代にかけて(03RT388)、室町時代(04RT290)の包含層をそれぞれ検出している。

鳥羽地区(TB) 下鳥羽遺跡、鳥羽遺跡、鳥羽離宮跡、石原城跡、久我殿遺跡、淀城跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、鳥羽離宮跡(04TB40~43)で平安時代末期の湿地状を呈する遺物包含層を検出している。淀城跡(03TB250)で淀城内堀の石垣の裏込め石を検出している。

伏見・醍醐地区(FD) 御香宮廃寺、桃山古墳群、桃陵遺跡、伏見城跡、向島城跡、太閤堤、がんぜんどう廃寺で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、伏見城跡(04FD61)で鎌倉時代から室町時代にかけての遺物包含層を検出している。去年度から新たに登録された太閤堤(03FD387)では時期不明の路面を検出している。

長岡京地区(NG) 長岡京跡、東土川遺跡、羽束師菱川城跡で調査を行った。この地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

南・桂地区(MK) 中久世遺跡、福西古墳群、松尾十三塚古墳群、桂徳大寺町遺跡で調査を行った。中久世遺跡(04MK235)で平安時代前期の遺物包含層を検出している。

以上が本年度の立会調査の主要な調査の概要である。

(吉本健吾)

Ⅱ 平安京跡

1 平安京左京二条二坊九町・二条城北遺跡 (03HL396・397)

調査経過 (図1・2)

中京区丸太町通油小路西入丸太町14-1番地の遊技場 (03HL397) と20-2番地の立体駐車場 (03HL396) 建築に伴う調査である。申請は2箇所であるが、南北に隣接し申請者と工事期間が同じため同一のものとして報告する。調査地は平安京左京二条二坊九町の南西部に位置し、関白藤原頼通の邸宅高陽院にあたる。

調査地に隣接する発掘調査は、西側を昭和63年度に遊技施設建設に伴い、北側を平成9年度^{註1}に行っており、平安時代の遺構、遺物を検出している。特に平安時代前期から中期の池に伴う洲浜を検出している。今回の調査でも池の続きを検出することが期待された。

調査は2004年3月15日と17日が03HL397で行い、19日と23日に03HL396を行った。調査の結果、平安時代中期の遺物を含む池跡を検出した。

遺構 (図2・3・5)

調査地の北側にあたる03HL397では、地表下-0.15mの現代盛土直下から掘削深の-1.73mまで、江戸時代の土師器、染付、棧瓦を含んだ層が堆積し、平安時代の包含層は検出できなかった。

しかし調査地南側の03HL396では、近現代の攪乱を受けながらもNo.1地点では、BM-1.7mで平安時代中期の土師器、須恵器、灰釉陶器、輸入白磁などを含んだ湿地状の灰色粘土層を検出した。この層は調査地西端から近代の井戸によって切られる地点まで東西方向に幅約4.6mに渡って検出した。この層の底部は西端でBM-1.9mを測るが、東に向かって徐々に下っていき、西端から3m東の地点ではBM-2.28mまで下がり、

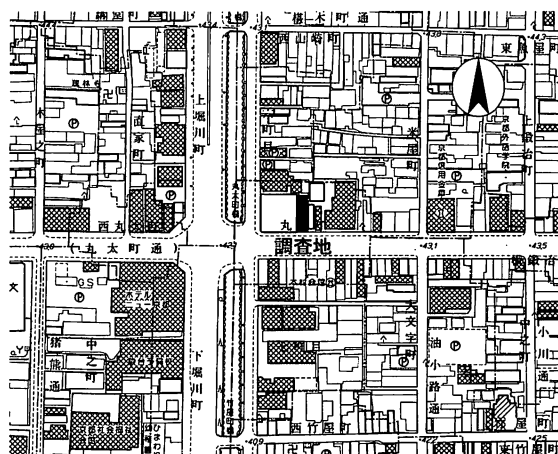


図1 調査位置図 (1:5,000)

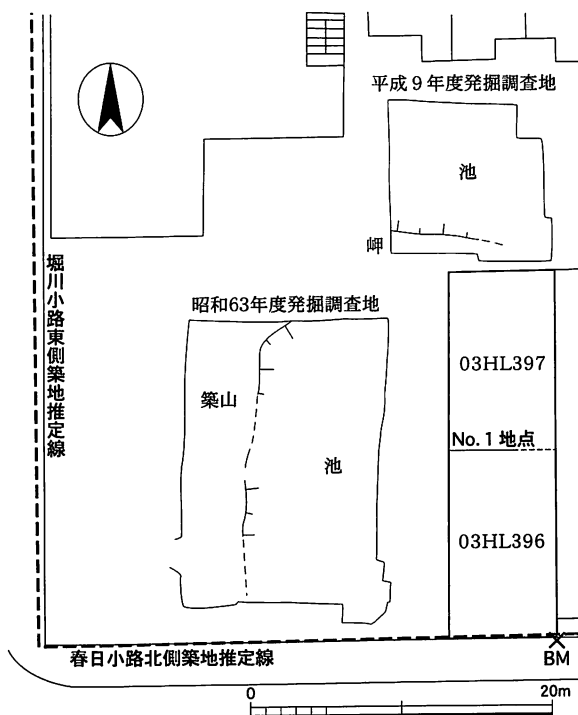


図2 遺構位置図 (1:500)

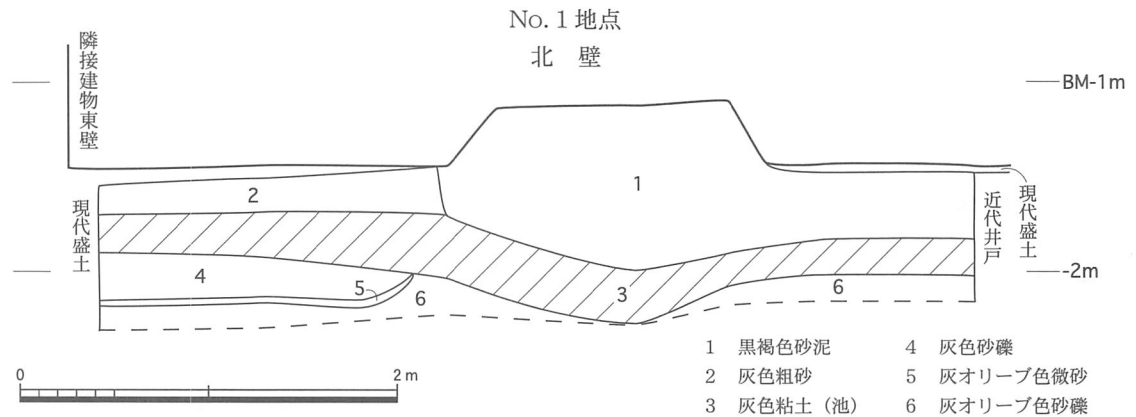


図3 No. 1 地点池断面図 (1:40)

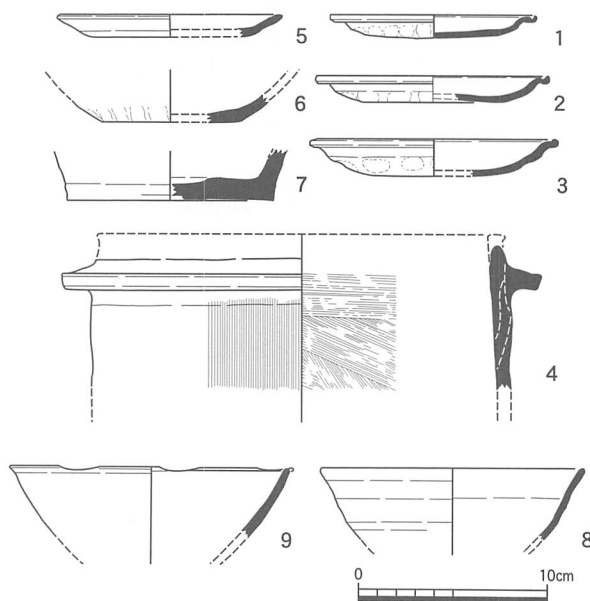


図4 出土遺物実測図 (1:4)



図5 No. 1 地点池 (南から)

井戸に切られる地点ではBM-2.02mと上昇し、播鉢状を呈している。この層の上層には灰色粗砂層が西端で約1.8mに渡って確認できる。しかし、遺物は検出できず時期の特定はできなかった。湿地状堆積の下は砂礫層となる。

遺物 (図版27、図4)

遺物は湿地状堆積から出土したもののみである。土師器は皿が(1~3)、羽釜が(4)である。この羽釜は内・外面にハケメがわずかに残り、外面に焦げ痕が残る。須恵器は皿が(5)、鉢が(6)、壺が(7)である。鉢と壺の底部には糸切り痕が残る。灰釉陶器碗が(8)、輸入白磁輪花碗が(9)である。いずれも平安時代中期の遺物である。

まとめ

今回の調査で検出した湿地状堆積は、その出土遺物からみて西側の発掘調査で検出した第3面の池の続きと考えられる。発掘調査では池の埋土から多量の土器を出土しているが、今回の調査では少量の出土に留まり、池の中央部になる可能性を示唆した。(吉本健吾)

註1 網 伸也・内田好昭・高 正龍「平安京左京二条二坊・高陽院1」『昭和63年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1993年

註2 網 伸也「平安京左京二条二坊・高陽院」『平成9年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1999年

2 平安京左京八条二坊十一町 (03HL311)

調査経過 (図6)

下京区油小路通塩小路下る南不動堂町6・8番、西油小路町1番のホテル建設工事に伴う調査である。調査地は条坊復元では平安京左京八条二坊十一町の北東部分にあたる。調査地の北側を八条坊門小路、東側を油小路の西築地推定線が通っている。

調査地の南側隣接地では昭和61年に試掘調査が行われ、平安時代前期や鎌倉時代の土壌を検出している。当調査地も平成3年に試掘調査を行い平安時代の包含層、室町時代の土壌、包含層を検出している。^{註1}

調査は2004年1月6日から20日まで行い、鎌倉時代の落込、土壌、井戸を検出した。

遺構 (図7～9・12～15)

調査地の基本層序は、BM-0.3～-0.5mの現代盛土直下からBM-1.3～-2.0mまでは遺物を包含する砂泥層、以下は堀川の氾濫と考えられる砂礫層となる。

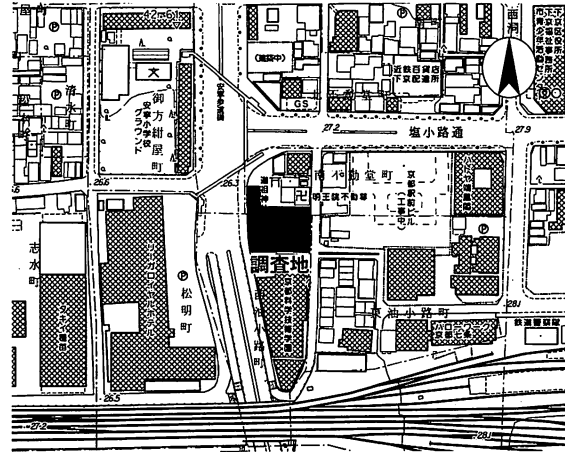


図6 調査位置図 (1 : 5,000)

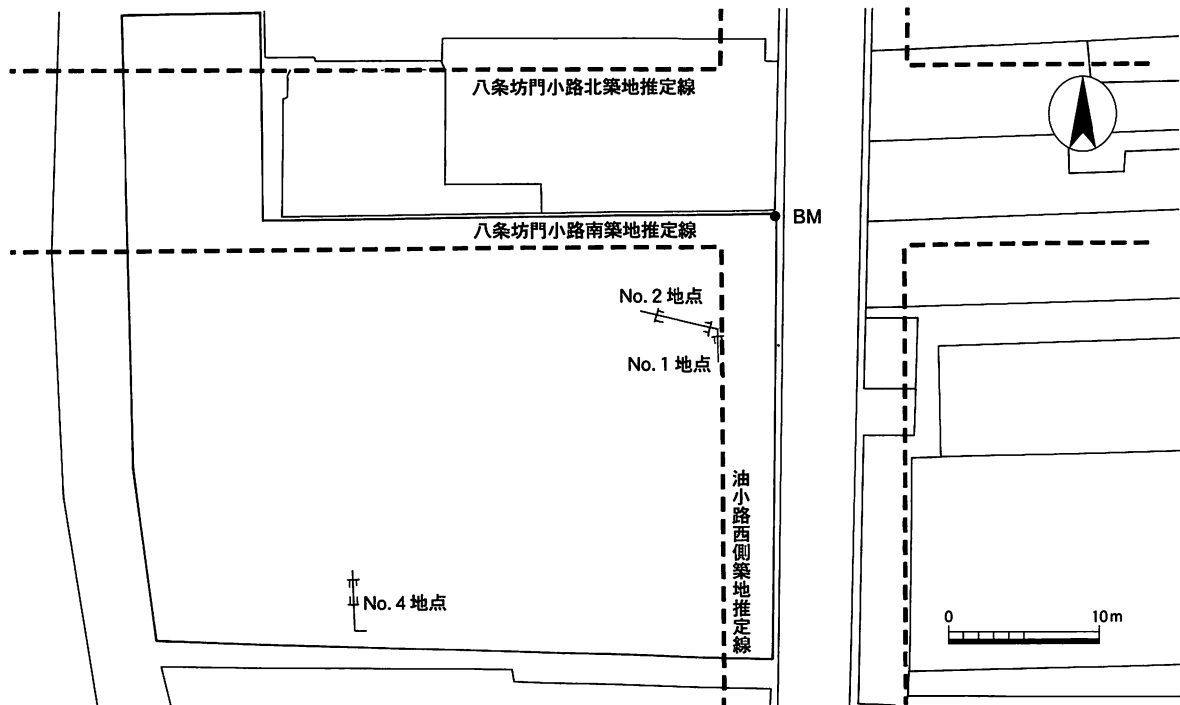


図7 遺構位置図 (1 : 500)

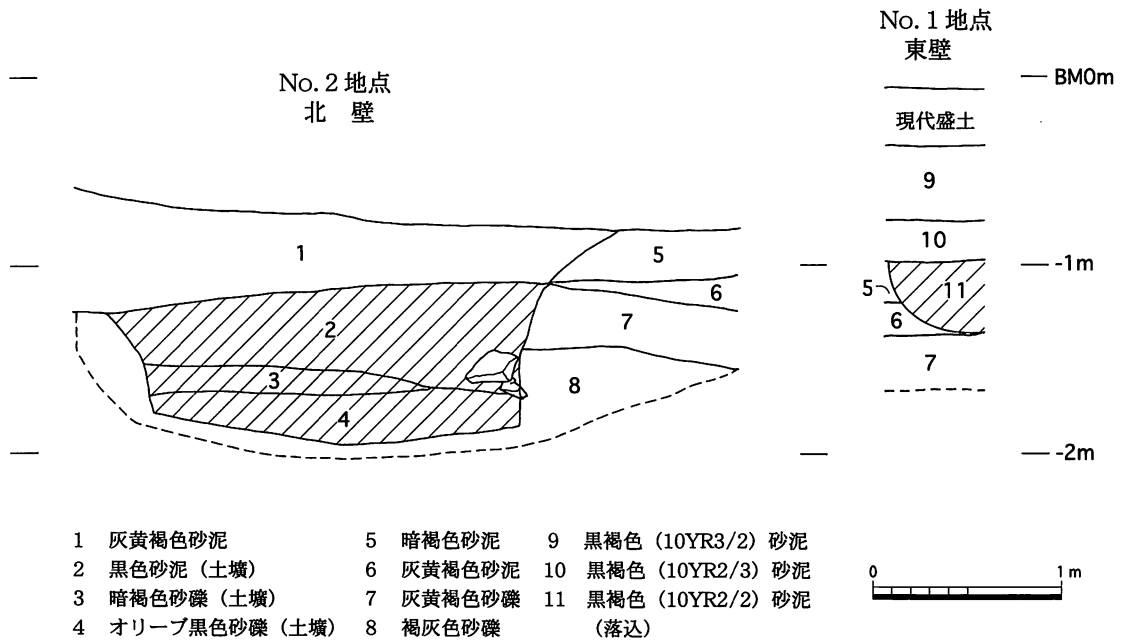
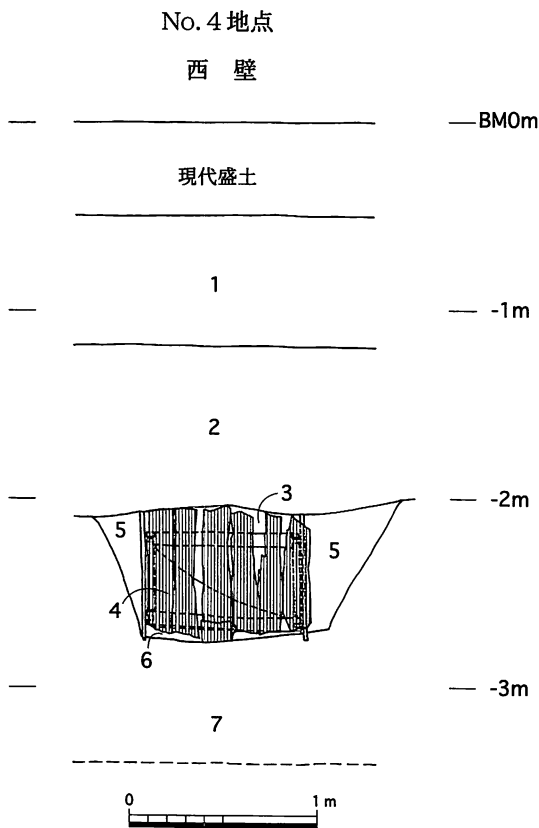


図8 No.1・2地点土層断面図 (1:40)



- 井戸枠縦板
- | | |
|------------|------------|
| 1 オリーブ黒色砂泥 | 4 オリーブ黒色泥砂 |
| 2 オリーブ灰色砂泥 | 5 オリーブ黒色粗砂 |
| 3 オリーブ黒色砂泥 | 6 オリーブ黒色砂泥 |
| | 7 暗オリーブ色砂泥 |

図9 No.4地点井戸断面図 (1:40)

No.1 地点

この地点は調査地の北東角から南へ約8m、西へ約3mに位置する。BM-0.98mで幅0.5m以上、深さ0.38mの落込の北肩を検出した。埋土からは鎌倉時代の土器類が出土している。この落込に切られる形でBM-1.19mで平安時代前期の包含層を検出した。

No.2 地点

No.1地点から西へ約1mの地点では、BM-1.1mで幅2.35m、深さ1.05mの土壌を検出した。埋土は3層に分層できるが、いずれも鎌倉時代後期の土器類、瓦を含んでいる。

No.4 地点

この地点は調査地の南西角から北へ約3m、東へ約12mに位置する。BM-2.0mで平安時代末期から鎌倉時代の包含層を切って幅0.86m、残存深0.8mの木組みの方形と考えられる井戸の東側面部分を検出した。井戸は幅0.12~0.13mの縦板を並べ(検出面では6枚を確認している)、最下層に横棧を組み、その上に約

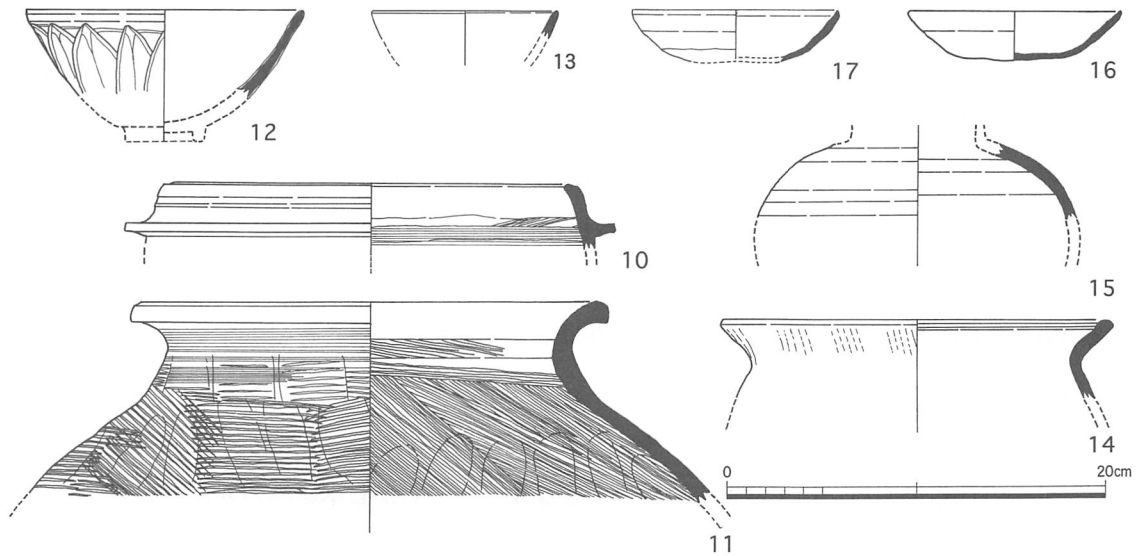


図10 出土遺物実測図(1:4)

0.35mの隅柱を立て、また横棧を配している。さらにこの上に隅柱が立っていたのであろうが、残存していたのはこのブロックだけであった。井戸内は3層に分層できるが、出土した遺物は土器類、瓦などいずれも鎌倉時代のものである。掘形は残存上部で幅1.63m、底部で1.0mを測り、時期不明の土師器、平瓦が出土している。

遺物(図版27、図10・11)

遺物は土器類と木製品が出土している。No.1地点の落込からは鎌倉時代の土師器皿・羽釜、須恵器甕、瓦器、輸入白磁皿、輸入青磁椀、焼締陶器甕・播鉢が出土している。平安時代前期の包含層からは土師器皿・甕、須恵器壺・甕、平瓦が出土している。No.2地点の土壙では鎌倉時代後期の土師器皿、須恵器、瓦器鍋、丸瓦が出土している。No.4地点の井戸からは鎌倉時代の土師器皿、焼締陶器甕が出土している。平安時代末期から鎌倉時代の包含層からは輸入白磁椀、焼締陶器などが出土している。(10~13)はNo.1地点の落込出土の土器類である。(10)は土師器の羽釜、

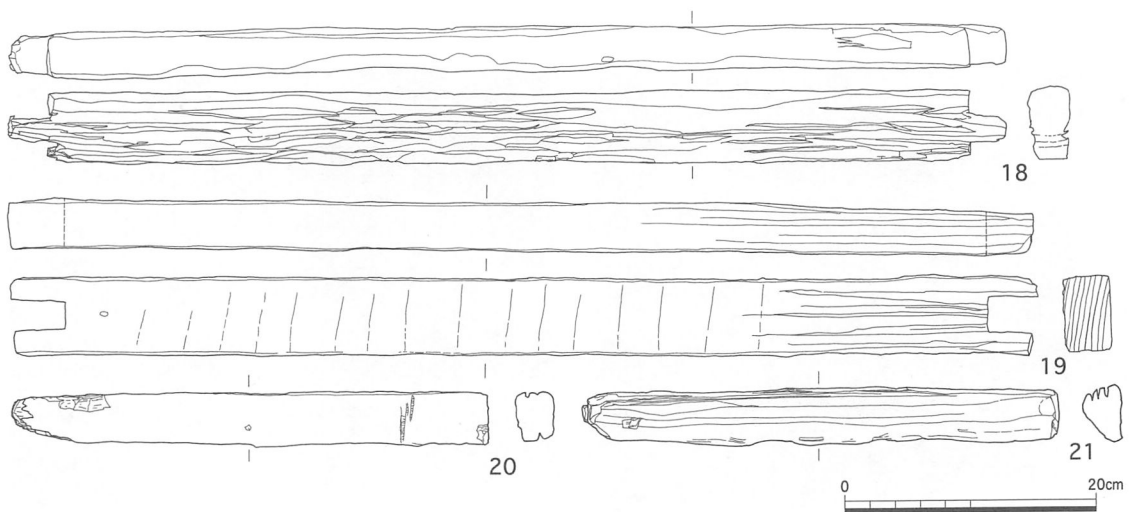


図11 井戸柱実測図(1:6)

(11) は須恵器の甕、(12) は龍泉窯産の輸入青磁椀、(13) は輸入白磁皿である。(14・15) はNo. 1 地点の平安時代前期の包含層出土の土器類である。(14) は土師器の甕、(15) は須恵器の壺である。(16) はNo. 2 地点の土壙出土の土師器皿である。(17) は井戸内の最下層から出土の土師器皿である。(18~21) は木製品の井戸枠部材である。(18) が上部の横棧、(19) が下部の横棧、(20) が北側の隅柱、(21) が南側の隅柱である。横棧は側面の横棧と組ませるように端部が凹凸になっており(18) が凸部、(19) が凹部になっている。長さは(18) が79.8cm、(19) が80.8cmと上部の方が横幅が短くなっている。隅柱の長さは38.0cmである。

まとめ (図14・15)

今回の調査では、鎌倉時代の落込、土壙、および井戸を検出した。しかしながら落込と土壙に関してはその性格を明らかにする遺物は検出できなかった。しかし木組みの井戸の調査において珍しい観察ができたので述べておく。

通常の発掘調査で井戸を検出する場合は、上面で井戸のプランを確認して、井戸の内部から掘り始め、井戸枠を内側から外し、最後に井戸の掘形を調査する。しかしながら今回の調査では工事掘削の断面で井戸の掘形を確認し、井戸の掘形から掘り始め、井戸枠を外側から外し、最後に井戸の内部に到達するという発掘調査と逆の順で掘削することになった。そして掘形側からみた井戸枠の状況が観察できた。図14が掘形側からみた井戸枠の縦板の検出状況、そして図15が掘形側からみた井戸枠の横棧・隅柱の検出状況である。ただ断面部分の掘削が地表から3.4mに達しており、断面の崩落の危険があり、残念ながら井戸内の完掘はできなかった。

(吉本健吾)

註1 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和61年度』京都市文化観光局 1987年

註2 「試掘調査一覧」『京都市内遺跡試掘調査概報 平成3年度』京都市文化観光局 1992年

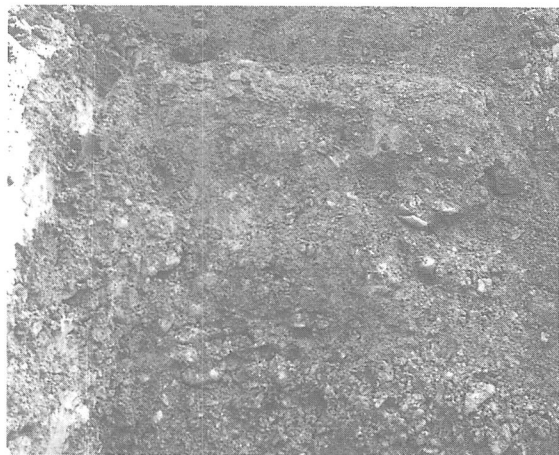


図12 No. 1 地点落込 (西から)



図13 No. 2 地点土壙 (南から)

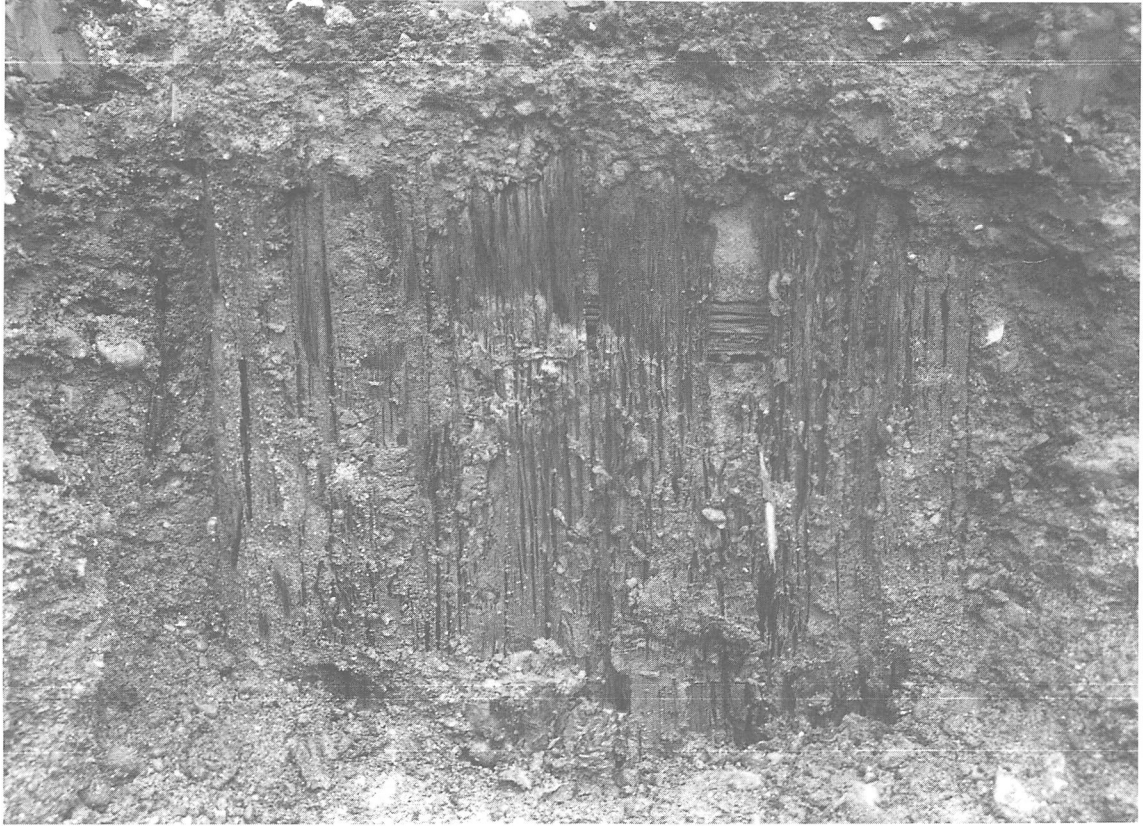


図14 No.4 地点井戸枠縦板検出状況（東から）

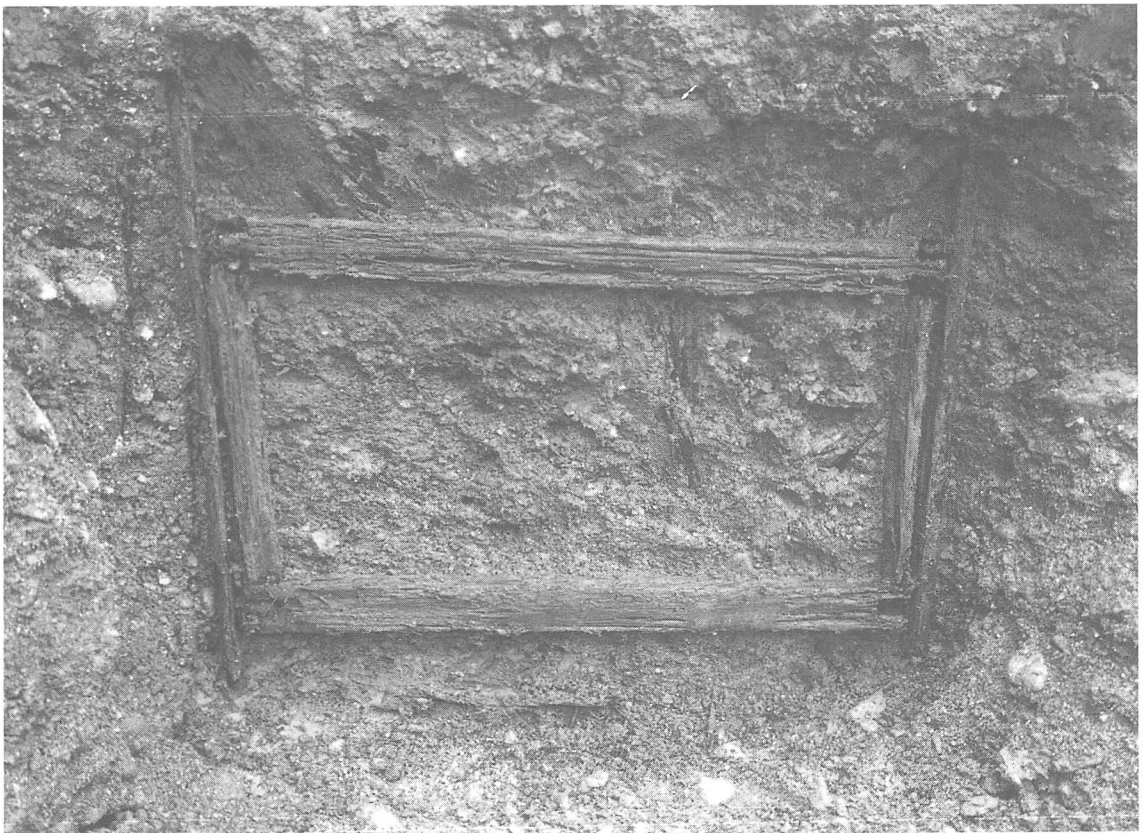


図15 No.4 地点井戸枠横棧・隅柱検出状況（東から）

3 平安京右京四條二坊十四町 (04HR190)

調査経過 (図16)

右京区西院西今田町25番地におけるマンション建築工事に伴う調査である。調査地は条坊復元では平安京右京四條二坊十四町の北に位置する。四條二坊は十一・十二・十三・十四町の方四町が淳和院に推定されており、その北西部に位置する。

淳和院の調査は1927年に平安京における最初の考古学的調査として行われ、溝や瓦を検出している。^{註1} 1994年には十三町の南西角で発掘調査が行われ平安時代前期の建物跡等を検出している。^{註2} また試掘立会調査は1983年以降のもので、試掘調査が5地点(内2地点は1994年の発掘調査になったもの)、立会調査は40地点(内1地点試掘調査から立会調査になったもの)行い、15地点から平安時代の遺構を検出している。

調査は2004年9月13日から17日まで行い、平安時代前期の池の汀、溝、ピット等を検出した。

遺構 (図17～19、22～27)

No.1 地点

調査地南西角の西壁のBM-0.53mで幅0.75m以上、深さ0.35mの東西溝を検出した。埋土は褐灰色粘土で平安時代前期の土師器皿・高杯、須恵器甕、平瓦を包含していた。溝断面は逆台形状を呈するが、北肩の一部を平安時代の包含層、南肩を現代攪乱によって切られている。

No.2 地点

No.1 地点より3.9m北の地点のBM-0.54mで幅0.8m、深さ0.5mのピットを検出した。埋土は褐灰色粘土に灰黄褐色粘土がブロック状に混じったもので平安時代前期の土師器皿・高杯を含んでいる。

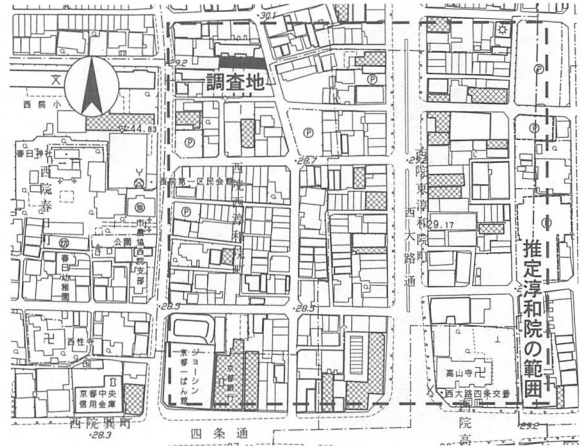


図16 調査位置図 (1 : 5,000)

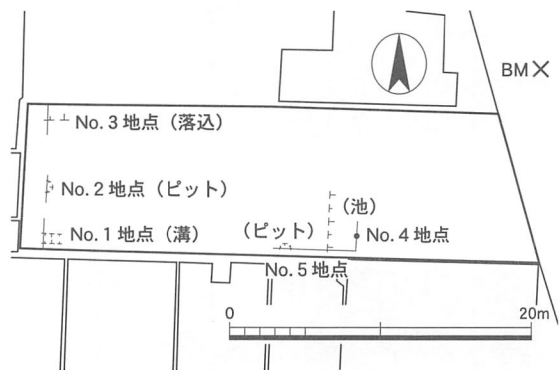
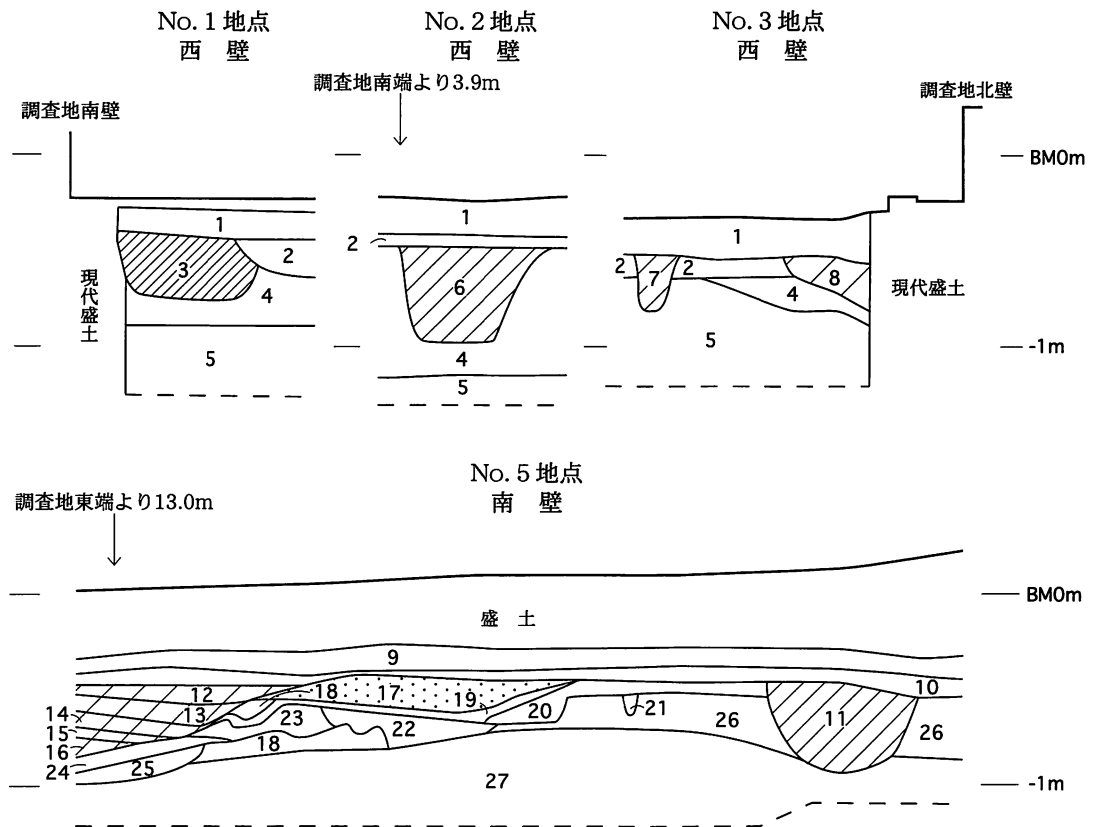


図17 遺構位置図 (1 : 500)



図18 No.1 地点東西溝 (東から)



- | | |
|--|---|
| 1 褐灰色砂泥 | 15 オリーブ黒色泥土に黄褐色砂泥と黒色砂泥が混じる
(池の埋土) |
| 2 灰黄褐色粘土 | 16 オリーブ黒色泥土に黄褐色砂泥と黒色砂泥が混じる (礫混) |
| 3 褐灰色粘土 (平安時代前期の溝) | 17 灰色粗砂 (洲浜) |
| 4 黄褐色粘土 (地山) | 18 黒褐色砂泥 |
| 5 暗灰黄色細砂 (地山) | 19 オリーブ黒色砂泥 (礫混) |
| 6 褐灰色砂泥にオリーブ色砂泥がブロック状に混じる
(平安時代前期のピット) | 20 オリーブ黒色砂泥 |
| 7 灰黄褐色砂泥 (平安時代のピット) | 21 オリーブ灰色粘土 |
| 8 褐灰色粘土 (平安時代の落込) | 22 オリーブ黒色粘土にオリーブ黄色粘土がブロック状に混じる |
| 9 灰黄褐色砂泥 (混礫) | 23 オリーブ黄色粘土 |
| 10 黄灰色砂泥 (混礫) | 24 オリーブ灰色 (10Y5/2) 粘土にオリーブ灰色 (10Y4/2)
粘土がブロック状に混じる |
| 11 オリーブ黒色砂泥に灰オリーブ色砂泥がブロック状に混じる
(平安時代前期のピット) | 25 オリーブ灰色粘土 |
| 12 オリーブ灰色砂泥 (池の埋土) | 26 黄灰色粘土 (地山) |
| 13 黄灰色砂泥に黄褐色砂泥と黒色砂泥がブロック状に混じる
(池の埋土) | 27 暗灰黄色砂礫 (地山) |
| 14 オリーブ黒色泥土 (池の埋土) | |

図19 No.1・2・3・5地点土層断面図 (1:40)

No.3 地点

調査地北西角の西壁のBM-0.54mでは落込とピットを検出している。落込は南肩で幅0.45m以上、深さ0.29mを呈し、調査地北側に向って落ちている。埋土は灰黄褐色粘土で平安時代の土師器を包含している。ピットは落込より南へ0.58mの地点で検出した。幅0.22m、深さ0.29mと小規模なもので、埋土からは平安時代の土師器が出土している。

No.5 地点

調査地南東角より約13m西の地点で湿地状堆積の落込の西肩を断面で検出した。肩部には幅

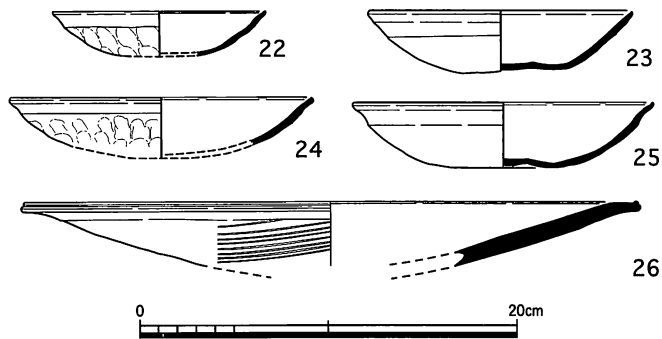


図20 出土遺物実測図(1:4)

1.35mに渡って厚さ約0.2mの粗砂層を検出しており、洲浜と考えることができる。池の堆積層と考えられる層は5層に分層でき、単一色の層と黒色と黄褐色系がブロック状に混じる層が互層に堆積している。中間のオリブ黒色泥土層からは9世紀代の

の土師器皿が出土している。

洲浜と考えられる粗砂層より西へ約1mの地点で幅0.8m、深さ0.48mのピットを検出した。埋土はオリブ黒色砂泥に灰オリブ色砂泥がブロック状に混じたもので平安時代前期の遺物を含んでいる。

遺物(図版27、図20)

遺物は、出土した殆どが平安時代前期のものである。層ごとの出土数はあまりなく、比較的多く出土したのはNo.1地点の東西溝の埋土とNo.4地点の池の埋土からである。掲載した遺物はNo.1地点の東西溝の埋土(22・24~26)とNo.4地点の池の埋土(23)からのものである。

(22~25)は土師器皿である。胎土は精良、焼成はやや軟質で黄灰色を呈している。(22・24)は外面に指圧痕が顕著に残る。

(26)は土師器高杯の皿部である。胎土は精良、焼成は良好で黄燈色を呈し、焦げ痕が残る。外面にはミガキによる暗文がみられる。

まとめ(図21)

今回の調査では、平安時代前期の池跡、東西溝、ピットなどを検出した。これは平安時代前期にこの地にあったとされる淳和院(当初は南池院)に関連するものと考えられる。『京都府史蹟

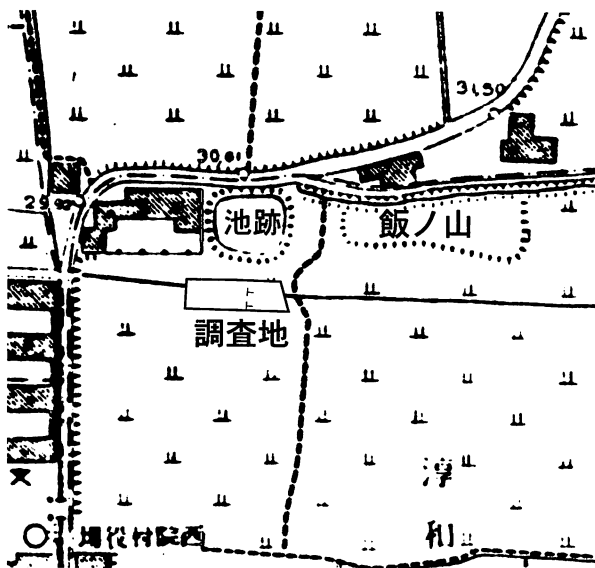


図21 昭和初期調査地付近図(1:2500)

勝地調査会報告』の「淳和院舊蹟」によると、昭和初期には調査地の北側付近には飯ノ山と呼ばれる丘と池跡があり、これらが淳和院の園池の築山と池の遺構という伝承があった。池跡は調査地の北側にあたり、今回検出した平安時代前期の池跡の肩はこの昭和初期の池跡に続いていくのかもしれない。今後の調査に期待したい。(吉本健吾)

註1 西田直二郎「淳和院舊蹟」『京都府史蹟勝地調査会報告 第八冊』京都府 1927年

註2 『淳和院発掘調査報告』関西文化財調査会 1997年



図22 No.5 地点池 (北から)



図23 No.2 地点ピット (東から)



図25 No.3 地点落込 (東から)



図26 No.1 地点東西溝土器出土状況 (西から)



図24 No.5 地点ピット (北から)



図27 No.4 地点池土器出土状況 (西から)

4 平安京右京五条一坊六町 (03HR317)

調査経過 (図28)

中京区壬生高樋町～壬生松原町の水道工事に伴う調査である。調査地は条坊復元では平安京右京五条一坊六・七・八町にまたがった範囲であり、皇嘉門大路の東築地推定ラインの東側を沿うように南北に通る工区と八町の中を横断し西坊城小路の西築地推定ラインを四条大路まで北上する逆L字状に通る工区で構成されている。

今回の調査地付近は、七町では1989年の発掘調査で平安時代の皇嘉門大路両側溝が検出されている。また六町では1986年と1999年の立会調査で平安時代前期の池状堆積を検出している。今回の調査でも平安時代の遺構、遺物の検出が期待された。

調査は2004年1月13日から4月20日まで行い、No.7地点で平安時代前期の遺物を含んだ砂礫層を検出した。

遺構 (図29～31)

調査地の基本層序は、調査地南側のNo.3地点で現代盛土直下の-0.35mでオリーブ黒色砂泥層、-0.75mで堅く締ったオリーブ灰色砂泥層、-0.83mで灰オリーブ色砂礫層となる。北側のNo.16地点では、現代盛土直下-0.54mから-0.85mで包含層と考えられる砂泥層が3層堆積し、-0.85m以下で暗オリーブ色砂泥の地山を検出した。

平安時代前期の遺物を検出したのはNo.7地点で、層序は現代盛土直下-0.82mでオリーブ黒色粘土、-0.97mで暗オリーブ色砂礫層となる。この暗オリーブ色砂礫から平安時代前期の遺物が出土している。

遺物 (図版27・28、図32)

遺物はすべてNo.7地点の暗オリーブ色砂礫層から出土した平安時代前期のものである。(27・

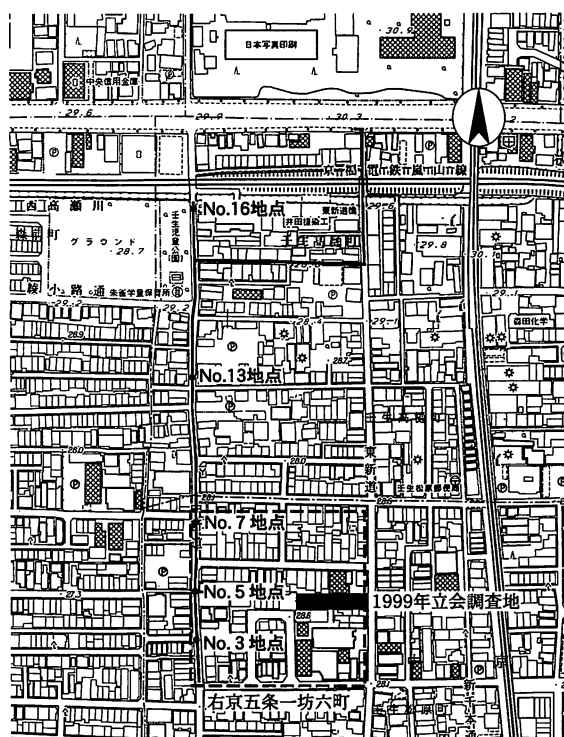


図28 調査位置図 (1:5,000)

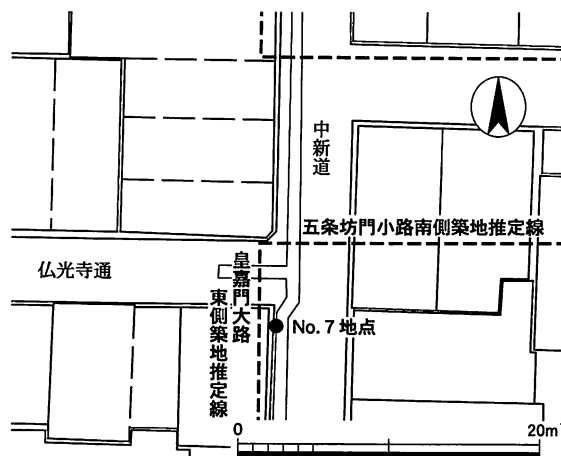


図29 遺構位置図 (1:500)

28) は土師器皿。(29~32) は須恵器で (31) が皿、(29・30) は杯、(32) は壺である。(33~47) は製塩土器である。(33・35・41・43) は胎土に靨殻痕がみられる。(36~39・44~47) は胎土にやや大きめ砂粒を含み、(40・42) は胎土に細い砂が多く含まれている。いずれも内面にナデ調整を施している。(34) のみが内面に細い布目痕がみられる。

まとめ

今回の調査では、No.7 地点で平安時代前期の遺物を含んだ砂礫層を検出した。この地点は皇嘉門大路東側築地推定線より東へ約 1 m の地点にあたり、砂礫層は内溝の可能性が考えられる。ほぼ同じ内溝の延長と考えられるNo.3・5・13・15地点では遺物がまったく出土していないが、同様の砂礫層を検出している。

またNo.7 地点の推定地五条一坊六町では、1999年の立会調査で六町中央部の平安時代前期の池状堆積から「細工所飯肆×」と書かれた請飯文書と考えられる木簡が出土しており、この六町が官衙に関係するような町ではないかと考えられてきたが、今回その六町の西北角から多量の製塩土器が出土したことは、この町の性格を考える上で重要な資料となろう。平安時代前期の遺構の残存状態が良い、この六町付近の今後の調査に期待がかかるものである。(吉本健吾)

註1 『京都文化博物館調査研究報告 第5集 平安京右京五条一坊皇嘉門大路』京都府 京都文化博物館 1990年

註2 久世康博「主要な出土遺物」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和61年度』京都市文化観光局 1987年

註3 吉本健吾・竜子正彦「平安京右京五条一坊六町 (99HR44)」『京都市内遺跡立会調査概報 平成11年度』京都市文化市民局 2000年

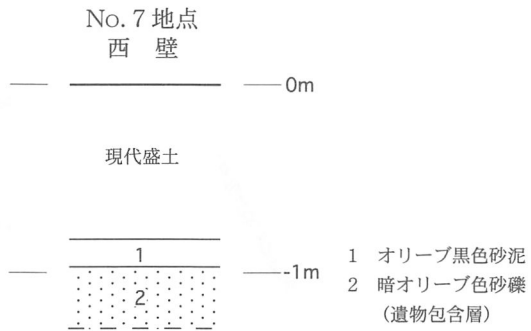


図30 No.7 地点柱状断面図 (1:40)



図31 No.7 地点南北溝 (東から)

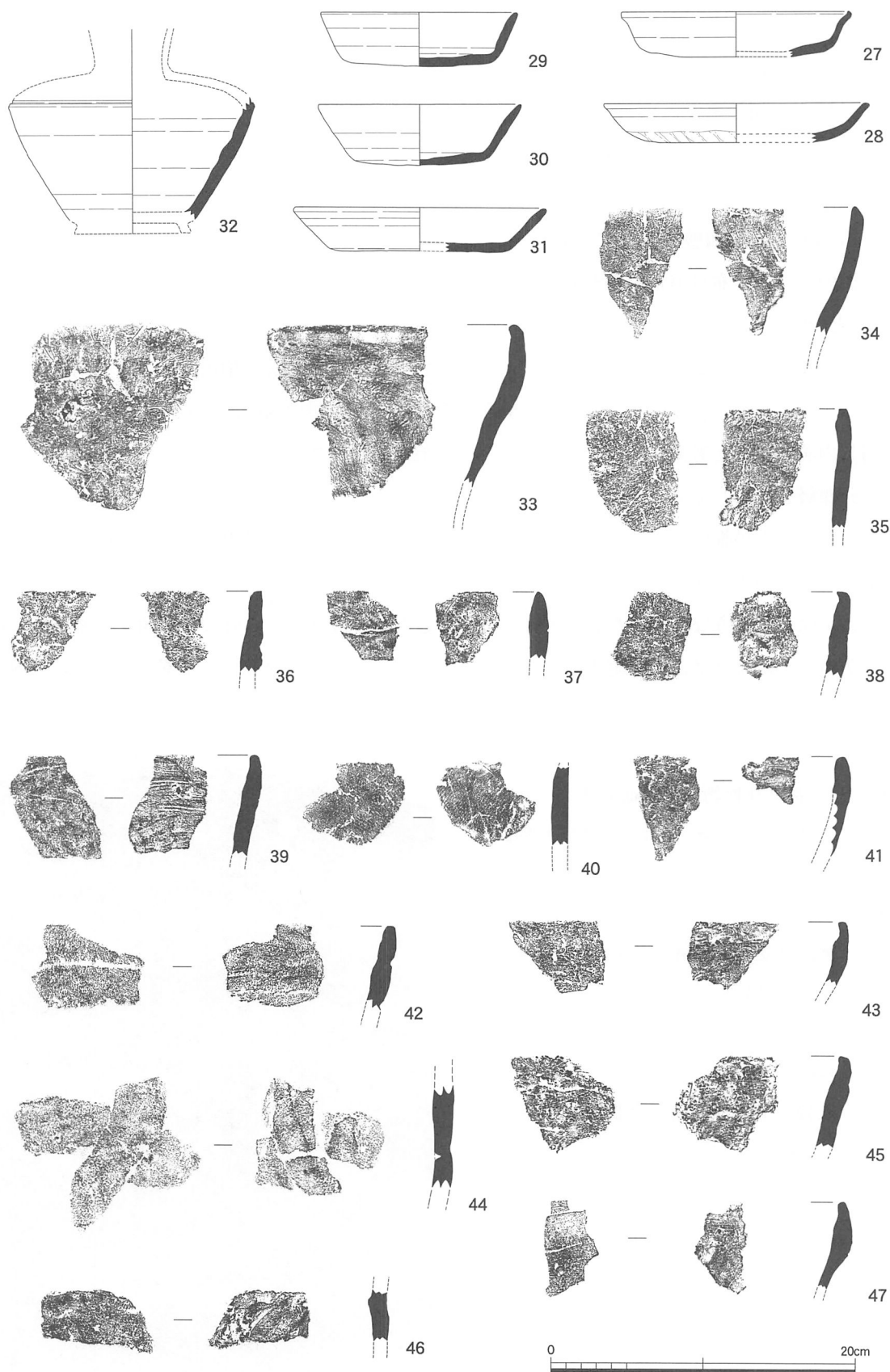


图32 出土遺物拓影·実測図 (1 : 4)

Ⅲ その他の遺跡

1 大宅遺跡・大宅廃寺 (03RT241)

調査経過 (図34)

山科区大宅鳥井脇町から大宅山田町における下水道工事に伴う調査である。工区は大宅中学校の東側から3路線になっており、便宜上大宅中学校の北側を通り奈良街道（府道大津淀線）まで至る路線をA区、大宅中学校の南側を通り奈良街道まで至る路線をB区、東側へ進み橘女子大学に至る路線をC区とする。大宅遺跡と大宅廃寺の遺跡範囲はほぼ重複しており、A区の全域とB・C区の一部がその範囲である。昭和33年度の名神高速道路建設に伴う発掘調査^{註1}や昭和60年度の大宅中学校の発掘調査^{註2}により大宅廃寺に関連する建物跡、溝などを検出している。

調査は、2003年10月27日から11月7日までB区を、11月12日から2004年1月26日までA区を行った。残念ながらC区に関しては道路幅が狭く夜間工事となったため調査を行うことはできなかった。調査の結果、A区No.12・13地点で白鳳時代の瓦積み基壇を、No.15地点で白鳳時代の瓦を含む南北溝を検出した。

その後、2004年6月にNo.13地点南側を国庫補助による発掘調査が行われ、瓦積み基壇の延長及び建物跡を検出することができた。No.12・13地点の調査結果は発掘調査と合わせて『京都市内遺跡発掘調査概報 平成16年度』

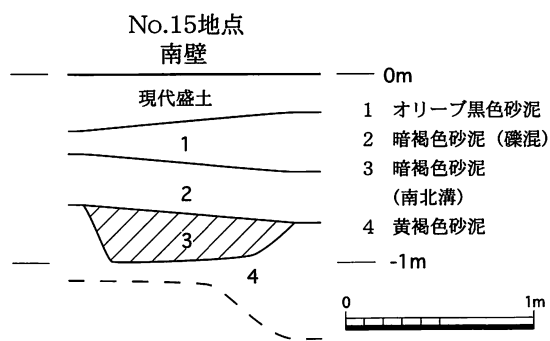


図33 No.15地点南北溝断面図 (1:40)

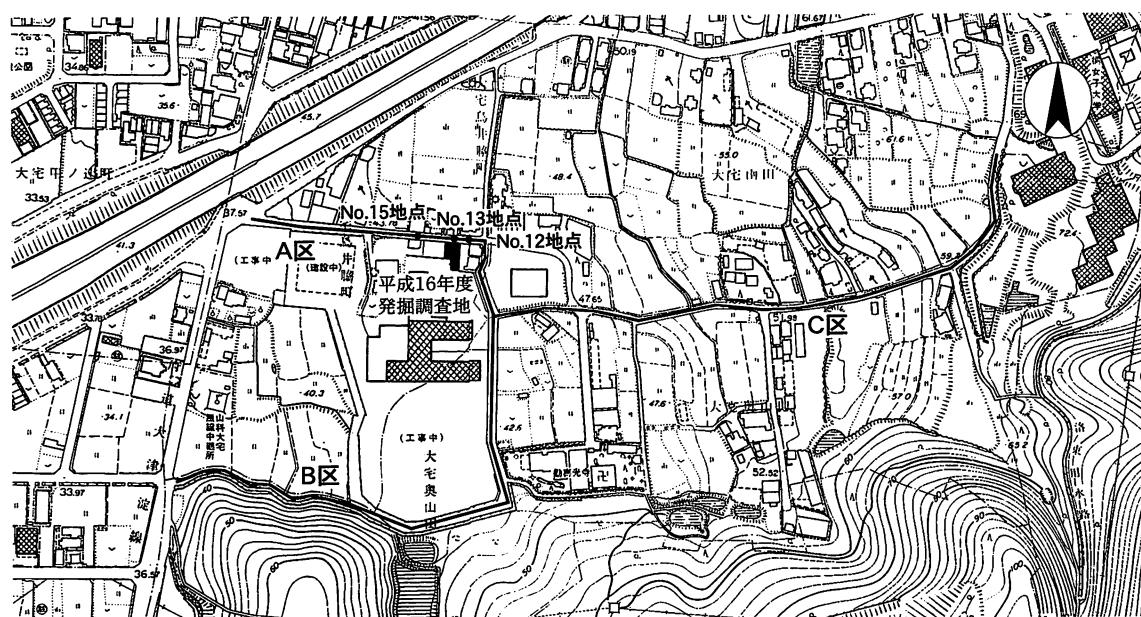


図34 調査位置図

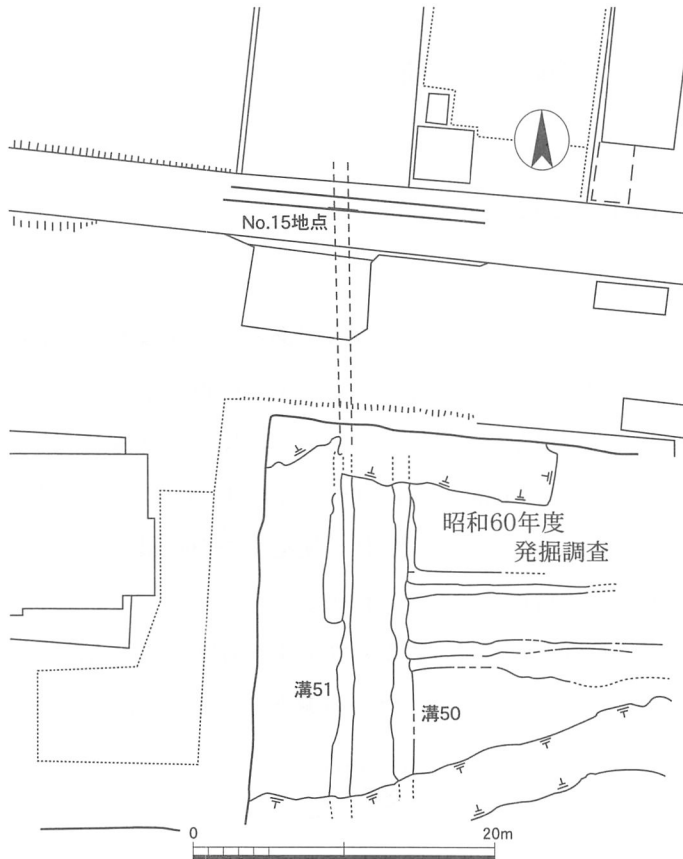


図35 No.15地点遺構位置図 (1:500)

「大宅廃寺」に報告する。

遺構・遺物 (図33・35・36)

B区では、ほぼ全域が地表下-1m前後まで現代盛土が堆積し、以下は黄褐色系の粘土か砂礫の地山となる。遺構、遺物はまったくみられなかった。

A区はNo.15地点では、-0.42mで白鳳時代の瓦を含む層が現れ、-0.69mで黄褐色砂泥の地山を切って幅1.1m、深さ0.29mの南北溝を検出している。埋土からは白鳳時代の丸・平瓦が出土している。

まとめ

今回の調査で検出した南北溝は昭和60年度の発掘調査で検出した築地の雨落ち溝(溝51)の延長上にあたり、延長部と考えられる。

なお同じく発掘調査で検出した溝51の東側を平行して走る溝50の検出が想定されていた地点は、巡回時には埋め戻されており確認することができなかった。(吉本健吾)

註1 有光教一・坪井清足「大宅廃寺の発掘調査概報」『名神高速道路路線地域内埋蔵文化財調査報告』1959年

註2 平方幸雄・菅田薫「42大宅廃寺」『昭和60年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1988年

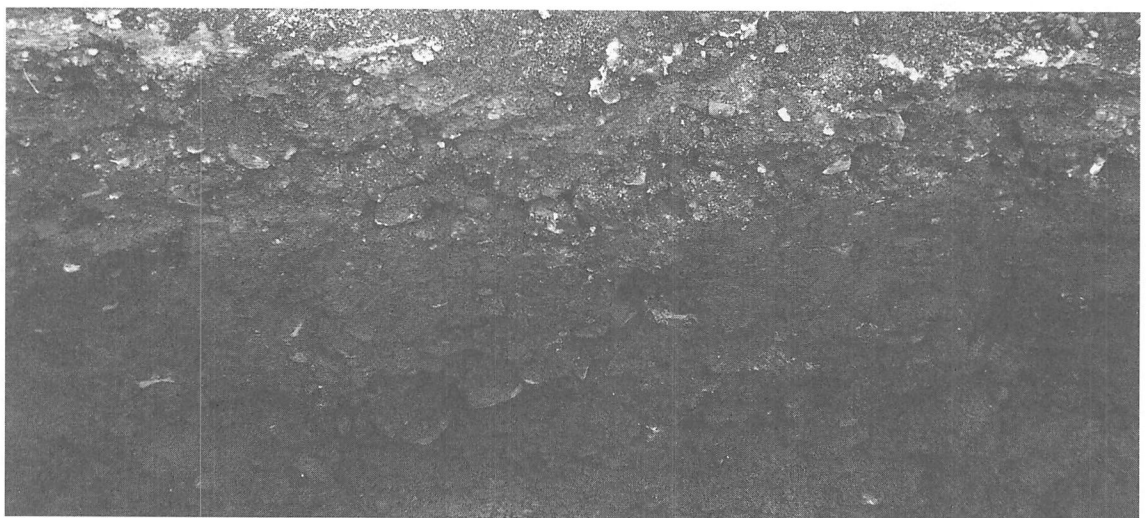


図36 No.15地点南北溝(北から)

調査一覧表

I 2004年 1～3月期 (平成15年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
漆室 大蔵省	上・御前通一条下る東堅町144-16	3/19	-0.3mまで現代盛土。	HQ402	1
	上・上長者町通千本東入北側信濃町471、471番7	3/16・17・19・23、 4/5	巡回時、工事終了。	HQ400	1
内教坊 右兵衛府	上・松屋町通中立売下る神明町447番7	3/23	-0.16m、焼土を含む近世の包含層。	HQ405	1
	上・御前通下立売上る天満屋町316の内 (C号地)	1/28	-0.3mまで現代盛土。	HQ337	1
右兵衛府	上・御前通下立売上る天満屋町316の内 (E号地)	2/3	-0.25mまで現代盛土。	HQ349	1
中和院 左兵衛府	上・千本通下立売下る東入小山町908	1/21・28	-0.26m、江戸以降の包含層。	HQ327	1
	上・日暮通下立売上る天秤町586-4	1/14	-0.23mまで現代盛土。	HQ319	1
豊楽院	中・聚楽廻西町187	2/19	-1.8m以下、黄褐色礫砂の地山。	HQ372	1
朝堂院	中・聚楽廻南町 地先	1/19	-1.45mまで現代盛土。	HQ323	1
太政官	上・主税町1082番地	3/23	-0.2mまで現代盛土。	HQ404	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-70 (3号地)	1/21・22	-0.56m以下、暗灰黄色砂礫の地山。	HQ325	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-70 (2号地)	1/21・22・28、3/19	巡回時、工事終了。	HQ326	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町11-7	2/5	-0.65mまで現代盛土。	HQ351	1
判事	中・西ノ京内畑町18	2/12	-0.25mまで現代盛土。	HQ363	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺四坊 一町	上・京都御苑1 (京都御所)	1/5～2/5	No.9 ; -0.53m、中世以降の包含層 (平瓦)。No.10 ; -0.7m、時期不明の方形の礎石。No.11・12 ; -0.37m、時期不明の包含層 (土師器)。No.21 ; -0.13m、江戸の包含層 (土師器、巴文軒丸瓦)。	HL309	3
一条三坊十五町	上・京都御苑438-1	3/3～5	-0.8m、江戸の瓦溜 (軒丸瓦、菊丸瓦)。 No.1 ; -0.46m、江戸の包含層 (土師器皿、棧瓦)。No.3 ; -0.3m、江戸の包含層 (土師器皿、輸入白磁合子)。	HL385	3
一条四坊 九町	上・京都御苑2 (大宮御所)	1/9・13～17・20	No.1 ; -0.3m、焼土を含む江戸の包含層 (菊丸瓦)。	HL315	3
二条二坊 九町	中・丸太町通油小路西入丸太町20-2	3/19・23	-0.5m以下、砂礫の氾濫堆積。No.5 ; -0.58m、江戸の包含層 (軒丸瓦)。	HL396	2
二条二坊 九町	中・丸太町通油小路西入丸太町14-1	3/15・17	平安中期の池を検出。本報告3ページ。 近世の包含層を検出。本報告3ページ。	HL397	2
二条三坊十六町	上・京都御苑3	1/29・30、4/9～30、 5/6～31、6/1～29、 12/27	No.10 ; -0.14m、江戸の包含層 (染付、瓦質土器焙烙?、平瓦)。No.11 ; -0.4m、時期不明の包含層 (土師器)。	HL340	3
二条四坊 五町	中・夷川通柳馬場西入百足屋町149番地 他	1/6・8・14・16	-0.46m、室町の包含層 (土師器皿)。No.12 ; BM±0m、江戸の包含層 (京焼、平瓦)。	HL312	3
二条四坊十二町	中・柳馬場通二条上る六丁目290番1、291番2、夷川通富小路西入俵屋町292番地	2/5・9	-0.15m、江戸の包含層 (平瓦)。	HL352	3
三条二坊 十町	中・油小路通押小路下る押油小路町238-1 他 (京都御池中学校)	1/27・28	-0.25m、江戸後期の包含層 (土師器皿、胞衣壺、染付、窯道具)。	HL336	2
三条三坊 二町	中・新町通押小路下る中之町41番	3/25～4/13	-0.7m、時期不明の包含層 (塼)。 No.1 ; -0.85m、近世の落込 (井戸の裏込)。	HL413	3
			-1.17mと-1.5mで時期不明の包含層 (土師器) 2。 No.2 ; -1.5m、近世の土壌。-1.9m以下、オリブ褐色砂泥の地山。		
			-1.7mでいよいよ黄褐色砂礫層を検出。遺構、遺物は検出できず。		
			-0.25mで暗褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。		
			No.1 ; -1.68m、江戸末期の包含層 (土師器鍋、		

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条三坊 九町	中・両替町通押小路上の金吹町463	2/10	鉄釉徳利・唐津灰釉椀)。-2.55m、平安の包含層(須恵器壺)。No.2 ; -2.05m、室町後期の包含層(輸入青磁椀)を切って江戸前期の落込(土師器皿、須恵器、瀬戸美濃系鉄釉皿・唐津皿)。	HL360	3
三条三坊十二町	中・姉小路通烏丸西入柿本町417 他2筆	2/3	-0.45mまで現代盛土。	HL347	3
三条四坊十二町	中・柳馬場通三条上の油屋町86番地	1/19・21・26・29	-1.3mまで現代盛土。	HL322	3
四条二坊 八町	中・堀川通東側、御池通～四条通	03/9/22～04/2/24	-0.72m、近世以降の包含層。	HL202	2・4
四条四坊十一町	中・東魚屋町180番地	2/9・12	-1.3m、時期不明の包含層(土師器皿)。-1.48m、室町の包含層(土師器皿)。	HL356	5
四条四坊十三町	中・麩屋町通錦小路下の舁屋町507番地	3/15・17・26・29・10、4/5	-0.5mで暗褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL398	5
五条一坊 一町	中・壬生柳ノ宮町13-30	1/28・30、2/4・5	No.1 ; -1.45m、近世の包含層。No.2 ; -1.25m、室町の包含層(土師器皿)。-1.96m、室町の落込(土師器皿)。	HL338	4
五条一坊 七町	中・壬生賀陽御所町44-34・39	2/16・18	-1.4m、平安中期の湿地状包含層(土師器皿)。	HL369	4
五条二坊十四町	下・仏光寺通油小路東入木賊山町165	2/12～23、3/15～31、4/2～21	-1.95m以下、灰オリーブ色微砂の地山。	HL362	4
五条四坊十三町	下・御幸町通高辻下の舁屋町472、鍵屋町212、212-1・2	1/22・28	-0.6m、室町の包含層(土師器皿)。-0.9m、時期不明の包含層(土師器皿)。-1.1m以下、褐色砂泥の地山。	HL330	5
六条一坊 七町	中/下・壬生通、四条通～五条通 地内	1/19、3/3～31、4/2～30、5/7	No.2 ; -1.82m、室町中期の包含層(土師器皿)。No.3 ; -3.1m以下、黄褐色砂礫の地山。No.5 ; -0.5m、江戸の包含層。-1.5mでオリーブ褐色粘土の地山を切って室町後期の落込(土師器皿、龍泉窯青磁椀、罎)。	HL324	4
六条三坊 一町	下・若宮通松原下の亀屋町53	2/16・18	-1.62m、近世の包含層。	HL370	5
六条三坊十三町	下・烏丸通東側、五条通～上珠数屋町通	2/3～5/7	No.3 ; -0.7m、平安後期～鎌倉の包含層(土師器皿)。No.6 ; -1.14m、時期不明の路面。推定樋口小路と壬生大路の交差点に位置する。No.9 ; -0.9m、時期不明の包含層(須恵器)。No.11 ; -0.73m、江戸の包含層。	HL346	5・7
六条三坊十五町	下・五条通烏丸東入松屋町416番地	2/19・23	-1.4m、時期不明の落込(土師器皿、瓦器、白磁)。	HL374	5
七条二坊 一町	下・大宮通花屋町上の柿本町609-1(淳風小学校)	2/13・25、3/2	-2.0mまで現代盛土。	HL364	6
七条二坊 三町	下・醒ヶ井通花屋町下の門前町60番地 他	03/12/22～1/23	-0.84m、近世の包含層。	HL301	6
七条三坊 三町	下・西洞院通正面下の鍛冶屋町440番、北小路通新町西入井筒町648番地	3/23・29	-0.5mまで現代盛土。	HL408	7
八条二坊 五町	南・猪熊通八条上の戒光寺町198-2、199-4・5	1/13	-0.45mで黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL318	6
八条二坊十一町	下・油小路通塩小路下の南不動堂町6番、8番、西油小路1番	1/6～9・13・15・20	-0.85mで灰色砂礫層を検出、西洞院川の氾濫と考えられる。	HL311	6
八条四坊十六町	下・稻荷町～川端町 地内	3/19～31、4/5・7	-1.0mまで現代盛土。	HL403	7
九条三坊十五町	南・東九条西山王町16	3/31、4/5	鎌倉の落込、土壌、井戸を検出。本報告5ページ。	HL414	7
九条四坊十四町	南・東九条南岩木町14番2・5	03/12/25～04/1/23	-0.65m、江戸以降の路面(平瓦)。-0.8m、江戸以降の包含層(棧瓦)。	HL306	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条大路	上・一条通七本町西入東町35-5	2/18	-0.33m、時期不明のビット。-0.6m以下、褐色砂泥の地山。	HR373	9

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条四坊十三町	右・花園寺ノ内町5、5-30・31、花園伊町41-16・19	3/24・25	-0.86mまで現代盛土。	HR411	8
三条一坊 七町	中・西ノ京永本町～西ノ京星池町 地先	03/8/8～04/6/15	巡回時、工事終了。	HR155	9
三条一坊十三町	中・西ノ京月光町30	3/8	-0.36mまで現代盛土。	HR392	9
三条二坊 十町	中・西ノ京東中合町	03/12/15～04/6/15	-2.0mまで現代盛土。	HR296	9
四条一坊 六町	中・壬生花井町3番地	2/10	-0.5mまで現代盛土。	HR361	11
四条二坊 四町	中・壬生淵田町23	3/12・15～17	No.1；-0.67m、近世の包含層。-1.05m以下、 灰オリーブ色細砂の地山。No.2；-0.9m、時期 不明の溝状落込。推定西鞆負小路東築地内溝に 位置する。No.3；-0.65m、江戸の包含層（土 師器皿、施釉陶器）。-0.85m、時期不明の落込。 平安前期の溝を検出。本報告14ページ。	HR395	11
五条一坊 六町	中・壬生高樋町～壬生松原町	1/13～28.2/16、 3/2～31、4/6～20		HR317	11
五条二坊 五町	中・壬生西櫓町6	3/23～26・29～31	-1.0mで灰オリーブ色砂礫を検出。推定西堀川 小路の中央に位置し、西堀川と考えられる。	HR407	11
五条二坊十二町	右・西院平町33番地の4	1/29、2/4	-0.37m、時期不明の包含層（土師器皿）。-0.5 m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR339	11
五条三坊 一町	右・四条通、佐井西通～佐井東通 地内	2/5～27	-0.38m、時期不明の石組井戸。	HR354	10・11
五条三坊 二町	右・西院北矢掛町13、14、15	2/4・5	-0.55m、時期不明の包含層（土師器皿）。	HR350	11
六条一坊 六町	下・中堂寺南町108	1/16・19・21	-0.9m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR321	11
六条一坊十一町	下・中堂寺北町～庄ノ内町 地先 (一般国道9号線)	03/9/10～04/1/28	No.1；-1.3m以下、褐色細砂の地山。No.11；-0.4 m、近世の包含層（陶器）。-0.75mと-0.85m で時期不明の包含層（土師器、瓦）2。No.13； -0.82mで黄褐色砂泥の地山を切って時期不明 の土壌。	HR191	11
六条一坊十一町	下・中堂寺栗田町	2/13・18	-0.38mまで現代盛土。	HR365	11
六条四坊 五町	右・西京極畔勝町8番の一部	1/22・28	-0.7m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	HR329	10
六条四坊 九町	右・西院月双町51、52	2/3・4	-1.16mで黄褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は 検出できず。	HR348	10
七条一坊 九町	下・西七条東八反町21	1/15・19	-0.6mで黒褐色砂泥層を検出。遺構・遺物は検 出できず。	HR320	13
七条二坊 九町	右/下・西大路通東側、五条通～七条通 地内	3.23～6/24	No.6；-0.45m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。 No.10；-1.0m以下、暗灰黄色粘土の地山。	HR406	11・13
七条四坊 三町	右・西京極宮ノ東町1 他 (市立西京極中学校)	2/24	-1.06mまで現代盛土。	HR378	12
八条二坊十六町	下・西七条南月読町～七条御所ノ内本町 地内	2/13・16・18・23	No.1；-0.63mと-0.7mで時期不明の路面2。 推定七条大路に位置する。No.2；-0.86m、中 世の溝（土師器、瓦器）。推定七条大路南側溝 に位置する。	HR366	12・13
九条四坊 三町	南・吉祥院中河原里南町～ 吉祥院西ノ庄猪之馬場町 地先	03/12/16～ 04/2/19	No.2；-0.6m、近世の包含層。No.6；-0.72m、 砂礫の氾濫堆積層。No.8；-0.65m以下、褐色 砂泥の地山。	HR298	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
公家町遺跡	上・京都御苑3番地	2/24・25	-0.15mと-0.5mで焼土を含む近世の包含層2。	RH377	16
室町殿跡	上・上立売通室町西入下る瓢箪囃子町55番地7	2/9・13	-0.17mで暗褐色泥砂層を検出。遺構、遺物は 検出できず。	RH358	16
上京遺跡	上・堀川通寺ノ内上る二丁目下天神町 650-1 (元成逸小学校)	1/30	-0.8m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	RH343	16
上京遺跡	上・寺町通今出川上る二筋西入北横町360 他	3/5・8～11	-1.17m、江戸の包含層（土師器）。	RH389	16
上総町遺跡	北・上総町	03/10/20～04/4/13	-0.64m、室町の包含層（土師器）。	RH234	16
植物園北遺跡	北・上賀茂高繩手町41	1/26・28	-0.47mで灰褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は 検出できず。	RH332	22-1
幡枝古墳群・ 南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町 地先	1/29	-0.8m以下、灰色粘土の地山。	RH342	23-2
八幡古墳群	左・岩倉幡枝町	2/5～27、3/2～ 31、4/6～21	No.6；-1.5m以下、オリーブ色粘土の地山。No. 14；-0.4m以下、灰黄色細砂の地山。No.19；-1.0 m以下、黄褐色粘土の地山。	RH353	23-2

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
常盤東ノ町古墳群・ 常盤仲之町遺跡	右・常盤仲之町1-6	3/17	-1.7m以下、にふい黄褐色粘土の地山。	UZ401	17
西野町遺跡	右・太秦西野町、御所ノ内町、嵯峨野芝野町	03/12/24~26、 04/1/5	No.1 ; -1.96m以下、オリープ褐色砂礫の地山。 No.2 ; -0.56m、中世の包含層(焼締陶器)。-0.66 m、時期不明の包含層(土師器)。	UZ304	17
草木町遺跡	右・太秦京ノ道町	1/5~28	-0.66m以下、黄褐色砂泥の地山。	UZ310	17
多藪町遺跡	右・太秦多藪町19番9	1/8・9	-0.3m以下、オリープ褐色泥砂の地山。	UZ314	17

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・ 得長寿院跡・ 白河南殿跡・ 尊勝寺跡	左・聖護院蓮華蔵町 他地内	3/3~24、4/2・21	No.4 ; -0.4m、近代の包含層。	KS386	18
岡崎遺跡・ 白河街区跡	東・柚之木町 地内	2/26、4/20~28、 7/22~26	-0.58m以下、にふい黄褐色粗砂の地山。	KS383	18
白河南殿跡	左・二条通川端八筋目東上る石原町281-6	2/13	掘削工事なし。	KS367	18
白河南殿跡	左・聖護院蓮華蔵町27-3	3/9	-0.8mまで現代盛土。	KS391	18
池田町古墳群	左・北白川下池田町87-3	03/12/26、04/1/5	-0.47mで黒色細砂層を検出。遺構、遺物は検 出できず。	KS308	24-7
北白川廃寺	左・北白川山田町50-2	1/26	-0.35mまで現代盛土。	KS334	24-7
一乗寺西浦畑町遺跡・ 渡辺館跡	左・一乗寺西浦畑町45	1/26	BM+0.45mで黒褐色砂泥層を検出。遺構、遺 物は検出できず。	KS333	24-8

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	1/6・8	-0.12mまで現代盛土。	RT313	19
六波羅政庁跡	東・松原通大和大路東入弓矢町62	3/4・5・8・9・10	No.1 ; -1.2m、鎌倉~室町の包含層(土師器皿、 焼締陶器鉢、平瓦)。No.2 ; -1.3m、室町の包 含層(土師器皿、瓦器羽釜)。	RT388	19
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町393、396	03/12/25・26、04/1/5	-1.6mまで現代盛土。	RT307	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎256-1	1/29	-0.18mでオリープ褐色砂泥層を検出。遺構、 遺物は検出できず。	RT341	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町30-7	2/9	BM±0mで黒褐色砂泥層を検出。遺構、遺物 は検出できず。	RT359	23-3
中臣遺跡	山・栗栖野打越町8番地の46	2/13	-0.26mまで現代盛土。	RT368	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町12-17	2/23・24	-0.5mまで現代盛土。	RT375	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町245-2	2/24	掘削工事なし。	RT379	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎町256-4	2/24	-0.2m、耕作土。遺構、遺物は検出できず	RT380	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町30-7の一部	2/24	BM+0.1mで黒褐色砂泥層を検出。遺構、遺 物は検出できず。	RT381	23-3
中臣遺跡	山・東野森野町56-7	2/25	-0.25mまで現代盛土。	RT382	23-3
安朱遺跡	山・安朱中小路町5-1・12・13 他	2/16・18、3/12	-0.8mで灰黄褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検 出できず。	RT371	25-2
山科本願寺跡	山・西野大手先町	1/26・27・29、2/9・16	-0.56mまで現代盛土。	RT335	25-3
大宅遺跡・ 大宅廃寺	山・大宅鳥井脇町~大宅山田町	03/10/27~04/1/26	白鳳の南北溝、瓦積基壇を検出。本報告17ペー ジ。「京都市内遺跡発掘調査概報 平成16年度」 「大宅廃寺」に発掘調査と合わせて報告。	RT241	25-5

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
下鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町、竹田浄菩提院町、中島北ノ口町、竹田松林町、竹田東芹川町	2/3	-1.0mで湿地状堆積を検出。-8.0m以下、オリーブ色微砂の地山。	TB345	20
鳥羽遺跡・鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町7番	3/23~25	-0.75m、耕作土。遺構、遺物は検出できず。	TB409	20
鳥羽離宮跡	伏・中島秋ノ山町98番地	2/6	-0.2mまで現代盛土。	TB355	20
鳥羽離宮跡	伏・中島河原田町13-3、14、15、16、17、18、19-2	3/9	-0.8mまで現代盛土。	TB393	20
淀城跡	伏・淀木津町637-2番地先～納所下野74番地先	03/11/6・10・13、 04/3/1・3	Na.2 ; -1.6m、径0.3～0.5m大の石積、淀城本丸天守台の対岸(内堀)の裏込の石。Na.3 ; -0.7～3.65mまで湿地状堆積。淀城外堀内の埋土。	TB250	26-5

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡	伏・桃山羽柴長吉西町22-25	3/11	-0.8mまで現代盛土。	FD394	14
伏見城跡	伏・大手筋通周坊町 地内	3/23～4/26	全工期夜間工事のため巡回時、工事終了。	FD410	14
伏見城跡	伏・両替町四丁目291-1	3/25・29	-0.4mで明黄褐色粘土層を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD412	14
伏見城跡	伏・深草大亀谷六鉢町109、110	1/9	-0.5mまで現代盛土。	FD316	15
伏見城跡	伏・桃山町丹後 地先	2/24～26、8/17	-1.3mまで現代盛土。	FD376	15
太閤堤	伏・向島吹田河原町他 地内	3/3～5/6	-0.2mと-1.1mで時期不明の路面2。	FD387	22-2
醍醐廃寺	伏・醍醐御霊ヶ下町9-4	3/16～25	-0.7mで黄灰色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD399	26-2

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京北辺四坊六町	南・久世築山町239-1	2/9	-0.85m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	NG357	23-1
左京四条四坊十四町	伏・久我森ノ宮町15-23・117	3/8・15	-0.58mまで現代盛土。	NG390	21
左京七条四坊一町	伏・淀樋爪町 地先	1/23、2/3・9・23	-0.45mで暗緑灰色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	NG331	26-4
右京一条二坊十六町	西・大原野上里北ノ町567-17	2/3・9	-0.4mまで現代盛土。	NG344	26-3

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
福西古墳群	西・大枝東長町1-387、1-115の一部	1/21	-1.5mまで現代盛土。	MK328	26-6
桂徳大寺町遺跡	西・桂徳大寺町25-1	3/1・2・4	-0.95m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	MK384	26-8

II 2004年 4～12月期（平成16年度）

平安宮（HQ）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大蔵省	上・七本松通一条下る三軒町 地先	9/21	巡回時、工事終了。	HQ205	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町642-23 (6号地)	8/20	-0.3mまで現代盛土。	HQ154	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町642-30 (1号地)	8/20	-0.6mまで現代盛土。	HQ153	1
大蔵省	上・浄福寺通一条下る東西俵屋町642-31 (2号地)	10/12	-0.1mまで現代盛土。	HQ238	1
宴松原	上・七本松通下長者町下る三番町266、271-2	7/22・23	-1.0mまで現代盛土。	HQ125	1
宴松原	上・下立売通七本松東入長門町435番地54、 435番地56	9/15	-0.67mまで現代盛土。	HQ197	1
宴松原	上・利生町291-2、四番町151-38	12/27	-0.25mまで現代盛土。	HQ308	1
縫殿寮	上・上長者町通浄福寺西入新柳馬場町523-4、 上長者町通千本東入二丁目山王町501-4	8/25・26	-0.35mまで現代盛土。	HQ167	1
縫殿寮	上・浄福寺通上長者町下る長谷町198-1	4/20	-0.25mまで現代盛土。	HQ021	1
梨本	上・上長者町通裏門西入高台院町561-1	11/24・30	-0.27mと-0.52mで江戸以降の包含層2。	HQ279	1
左近衛府	上・大宮通出水上の清元町736	11/2	-0.5mまで現代盛土。	HQ257	1
内膳司	上・出水通千本東入尼ヶ崎横町361-2	6/2	-0.32mまで現代盛土。	HQ071	1
内膳司	上・尼ヶ崎横町358番5	6/2・3	-0.3mまで現代盛土。	HQ072	1
右兵衛府	上・御前通下立売上の天満屋町316	4/26・28・30	-0.94m、江戸の包含層。-1.34m以下、にぶい 黄褐色粘土の地山。	HQ030	1
右兵衛府	上・御前通下立売上の天満屋町316の内	5/26	-0.35mまで現代盛土。	HQ058	1
西雅院	上・日暮通丸太町上る西入西院町747番69	4/26～5/13	-1.6m以下、黄褐色細砂の地山。	HQ029	1
造酒司	中・聚楽廻松下町12-17	8/6・9	-0.3mまで現代盛土。	HQ144	1
典薬寮	中・西ノ京車坂町4-8	6/18	-0.26mでにぶい黄褐色泥砂層を検出。遺構、 遺物は検出できず。	HQ089	1
豊楽院	中・聚楽廻南町8-19、8-20	6/28	-0.25mまで現代盛土。	HQ097	1
豊楽院	中・聚楽廻中町 地先	8/23～26	-0.45m以下、明黄褐色粘土の地山。	HQ161	1
豊楽院	中・聚楽廻西町183-17	10/18	-0.85mまで現代盛土。	HQ245	1
朝堂院	中・聚楽廻東町14-4	7/20	-0.1mまで現代盛土。	HQ121	1
朝堂院	中・聚楽廻東町14-17	7/20	-0.15mまで現代盛土。	HQ122	1
朝堂院	上・千本通旧二条上る聚楽町823	11/11	-0.8mで黒褐色泥土を検出。遺構、遺物は検出 できず。	HQ268	1
宮内省	上・竹屋町通千本東入主税町1234	9/16	建築工法上、調査できず。	HQ198	1
御井	中・西ノ京車坂町15-5 他 (京都市立朱雀第六小学校)	9/27・28	-1.0m以下、オリープ色砂礫の地山。	HQ214	1
兵部省	中・西ノ京内畑町29-55	12/6	-0.3mまで現代盛土。	HQ291	1
判事	中・西ノ京内畑町14	5/7	-0.5mで湿地状のオリープ黒色泥土層を検出。 遺構、遺物は検出できず。	HQ036	1
判事	中・西ノ京内畑町13-55	9/27	-0.3mで灰オリープ色砂泥層を検出。遺構、遺 物は検出できず。	HQ216	1

平安京左京（HL）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊 一町	上・一条通智恵光院東入鏡石町～一条通 堀川西入晴明町 地先	8/9～12/27	-0.15mで礫が詰まった時期不明の落込。	HL148	2
北辺三坊 四町	上・中立売通室町西入三丁目463	11/18・22・24・26	-1.25m、江戸の包含層。	HL275	3
一条二坊 七町	上・猪熊通出水上の蛭子町417番の一部	4/26	-0.35mまで現代盛土。	HL027	2
一条二坊 十町	中・東堀川通、下長者通～丸太町通	5/13～12/13	No.8；-1.0m、室町後期の包含層（土師器皿）。 No.10；-1.2m、時期不明の包含層（瓦質陶器火鉢）。 -1.3m、桃山の包含層（土師器皿、瓦質陶器火鉢）。 No.16；-1.2m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。 No.17；-0.38m、時期不明の包含層	HL046	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条三坊 十町	上・室町通出水上る近衛町30番	10/12~14	(土師器皿、須恵器杯)。 -0.57m、時期不明の焼土層。-0.75m、江戸の包含層。	HL046 HL239	2 3
一条三坊十六町	上・京都御苑	7/1~30、8/2~31、9/1~16	No.1 ; -0.47m、室町中期の包含層(土師器皿)。 No.2 ; -0.44m、江戸後期の包含層(土師器皿)。 No.7 ; -0.3m、江戸後~末期の包含層(土師器皿、磁器、平瓦)。No.11 ; -0.32m、江戸の包含層(土師器皿)。-0.36m、時期不明の石組の暗渠。No.30 ; -0.12m、江戸後期の包含層(京焼、菊丸瓦)。	HL101	3
二条二坊 九町	上・東堀川通出水上る三町目~東堀川通丸太町上る六町目 地先	6/17~7/8	No.2 ; -0.72mでにふい黄褐色砂礫層を検出。 No.3 ; -0.9m、湿地状の灰オリーブ色泥土層を検出。遺構、遺物は検出できず。	HL088	2
二条二坊 九町	上・油小路丸太町上る米屋町288番	7/20~22	-0.55m、江戸の包含層。	HL123	2
二条三坊 一町	中・梅屋町地内 梅屋小学校跡地	12/21・24	-1.47m、江戸以降の包含層。	HL305	3
二条三坊 三町	中・西洞院通夷川上る毘沙門町382	8/26・31、 9/1・2・6・7・13	-0.6m、江戸後期の包含層(肥前染付皿、瀬戸美濃系陶器碗)。	HL169	3
二条三坊 七町	中・室町通丸太町下る道場町10番地	5/19~21・24~28・31	-1.1m、江戸の包含層(土師器皿、瓦器、瓦)。	HL052	3
二条三坊十一町	中・両替通夷川上る松竹町130	9/21・30、10/6・12	-0.7m、江戸後期の包含層。	HL204	3
二条三坊十二町	中・両替町通二条上る北小路町95番1	9/14	-0.1mまで現代盛土。	HL193	3
二条三坊十五町	中・丸太町通烏丸東入光り堂町~丸太町通御幸町西入昆布屋町 地先	9/13・14・30、 10/7・14・27~29、 11/1・4	-1.7mまで現代盛土。	HL186	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3番地の一部	10/4	-0.5m、江戸の包含層。	HL229	3
二条四坊 五町	中・亀屋町164	6/7・16・17	-0.9m、江戸以降の包含層。	HL078	3
三条一坊 七町	中・西ノ京北聖町35-1、35-2、32-6、39-2、44	8/27・30・31	-0.4m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HL170	2
三条二坊 五町	中・岩上通三条上る八文字町477番地	8/30・31、 9/1~3・6	No.4 ; -0.6mで黄褐色砂泥の地山を切って鎌倉前期の土壌(土師器皿、須恵器鉢、常滑壺、輸入白磁碗)。No.5 ; -0.72mで平安前期の包含層(土師器皿・高杯、須恵器鉢、瓦)を切って鎌倉中期のピット(土師器皿)。-0.88m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No.7 ; -1.6m、鎌倉中期の湿地状堆積(土師器、木製品角材・箸)。	HL174	2
三条二坊十一町	中・御池通油小路西入森ノ木町207番地 他	6/28~30、7/1、 10/14・18・22	No.1 ; -0.52m、室町後期の包含層(土師器皿、瓦器火舎、瓦)。-0.68m、オリーブ灰色砂泥の地山を切って時期不明の土壌(土師器)と平安後期の土壌(土師器皿、瓦、釘)。No.2 ; -1.1m、鎌倉中期の包含層(土師器皿)。-1.3m以下、オリーブ灰色微砂の地山。No.3 ; -0.6m、平安中期の包含層(土師器皿、緑釉陶器)。-1.2m以下、黄褐色砂礫の地山。	HL095	2
三条二坊十五町	中・小川通押小路下る下古城町376	8/4・5・16・19	No.1 ; -0.8m、江戸の包含層。-1.6m、平安~中世以降の包含層(土師器皿、緑釉陶器碗、焼締陶器壺)。No.2 ; -0.7m、江戸の包含層。-1.25m、中世~桃山の包含層(土師器皿、瓦器)。 包含層はいずれも湿地状堆積である。	HL140	2
三条三坊 一町	中・釜座通二条下る上松屋町704番2	7/28・29	-0.4m、江戸の包含層。	HL136	3
三条三坊 一町	中・二条通西洞院東入正行寺町676	9/13・16・24	-0.2m、時期不明の焼土層。	HL188	3
三条三坊 二町	中・西洞院通御池上る西洞院町608番	9/28・30、 10/5・12・14	-0.75m、時期不明の落込。-1.5m以下、黄褐色砂礫の地山。	HL218	3
三条三坊 三町	中・新町通姉小路上る神明町80番地の一部、83-2番地の一部	8/23~25	-0.35mまで現代盛土。	HL158	3
三条三坊 六町	中・新町通御池下る神明町81番地	11/9・10・16~ 19・22	No.1 ; -1.54m、平安中期の包含層(土師器皿、灰釉陶器碗、平瓦)。No.2 ; -1.9m、時期不明の包含層(土師器碗)。-2.3m、時期不明の土壌(土師器、須恵器甕)。No.3 ; -2.2m、平安中期のピット(土師器皿)。No.4 ; -2.2m、鎌倉中頃の包含層(土師器甕、瓦器碗)。-2.3m、時期不明の包含層(加工木、木片)。-2.55m、	HL266	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条四坊 九町	中・柳馬場通二条下る等持寺町12-1番地、12-2番地	11/4・5・8・10・16	平安の包含層（土師器甕、平瓦）。-2.7m以下、暗緑灰色粘土の地山。No.5；-2.28m、室町前期の包含層（土師器皿）。-2.42m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦器）。-2.53m、平安後期の包含層（土師器皿、須恵器甕）。-2.56m以下、オリープ褐色砂泥の地山。No.6；-2.2m、平安後期の包含層（土師器皿）。-2.3m、平安後期の包含層（土師器皿、須恵器甕）。-2.4m、平安中期の包含層（土師器皿・甕）。-2.5m以下、オリープ褐色砂泥の地山。 -1.7mまで現代盛土。	HL261	3
三条四坊十五町	中・御幸町通御池上る亀屋町371番1 他	6/24	巡回時、工事終了。	HL094	3
四条一坊十一町	中・壬生坊城町64-1	6/1・3・8	-0.2m、江戸の包含層。	HL066	4
四条一坊十五町	中・大宮通六角下る六角大宮町229	7/9・12・14	-0.7m、近世の包含層。-1.05m以下、オリープ褐色砂泥の地山。	HL110	4
四条二坊 十町	中・醒ヶ井通六角下る越後突抜町295	9/8～10・15	No.1；-0.4mと-0.8mで室町中期の包含層（土師器皿、須恵器甕）2。No.2；-0.04m、室町の包含層（土師器皿）。-0.35mでにぶい黄褐色砂泥の地山を切って中世の落込（瓦器羽釜）。No.3；-0.6m、室町末期の包含層（土師器皿、焼締陶器擂鉢）。	HL182	4
四条三坊 四町	中・西洞院通錦小路下る蟠螂山町472	7/6・9・20・21	-2.47m以下、オリープ褐色細砂の地山。	HL108	5
四条三坊 五町	中・室町通新町通の間錦小路下る観音堂町465、466 下・四条通新町東入月鉾町54-1、56-1	9/1～3・6	-1.40m、江戸後期の焼土層。	HL173	5
四条三坊 九町	中・室町通三条下る烏帽子屋町495番地 他	4/15・16・19	-0.37m、江戸の包含層。-0.8m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、須恵器杯）。	HL015	5
四条三坊十二町	中・烏丸通四条上る笋町689の1	9/13～16・21・24	No.1；-0.88m、平安中期の包含層（土師器皿、輸入青磁碗）。No.2；-0.88m、鎌倉前期の包含層（輸入白磁碗）。-2.06m以下、暗灰黄色粘土の地山。	HL192	5
四条四坊 九町	中・六角通柳馬場東入大黒町80番地 3	6/8・11・14・15・17	-0.6m、江戸の包含層。	HL080	5
四条四坊十五町	中・寺町通六角下る式部町250番	9/2・3・6・9	-1.0m、江戸前～中期の包含層（肥前灰釉碗）。 -1.3m、室町後期の包含層（土師器皿）。	HL177	5
五条一坊 九町	中・壬生賀陽御所町17	4/8	-0.45mまで現代盛土。	HL006	4
五条一坊 九町	中・壬生賀陽御所町 3番26	9/27・28・30	-1.5mまで現代盛土。	HL213	4
五条二坊 二町	下・猪熊通綾小路下る瀬戸屋町291、293番	10/4～6	-0.3m、近世以降の包含層。	HL228	4
五条二坊 八町	下・堀川通四条下る四条堀川町285番地 他	9/13・15・16・24・28、10/6	No.1；-0.64m、江戸後期の包含層。-1.2m、室町中期の包含層（土師器皿）。No.2；-2.25m以下、オリープ褐色細砂の地山。	HL187	4
五条二坊十六町	下・四条通油小路東入傘鉾町49番地 他	9/28・30、10/6・13・18・20・25	-1.04mと-1.25mで平安末期の包含層（土師器皿、瓦器碗）2。-1.4mで平安後期のビット（土師器皿）2。	HL220	4
五条二坊十六町	下・綾小路通油小路東入芦刈山町128	12/13～17	No.1；-1.3m、平安末期の包含層（土師器皿）。No.2；-1.08m、室町末期の包含層（土師器皿）。-1.3m、平安中期の包含層（土師器皿）。No.3；-0.4m、平安～室町中期の包含層（土師器皿、灰釉陶器碗）。-1.34m、平安末期の包含層（土師器皿、平瓦）。-1.42m、平安前期の包含層（土師器皿・甕、須恵器杯）。No.4；-1.0m、平安末期の包含層（土師器皿、輸入白磁）。-1.13m、平安前～後期の包含層（土師器皿、須恵器、緑釉陶器碗）。-1.2m、時期不明の包含層（土師器皿）。	HL298	4
五条三坊 六町	下・新町通仏光寺下る岩戸山町430	7/2	-1.4mまで現代盛土。	HL105	5
五条三坊 七町	下・仏光寺通新町東入糸屋町224番	4/23・26・28・30	-0.86m、江戸後期の包含層。-1.38m、室町末期の包含層（土師器皿、焼締陶器甕）。-1.66m、室町後期の包含層（土師器皿）。	HL025	5
五条三坊 九町	下・烏丸通四条下る水銀座町620番 他	6/2・3・8・10・11・14	No.1；-1.1m、鎌倉後期の落込（土師器皿）。	HL053	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
五条三坊十町	下・室町通仏光寺上る白楽天町515	10/7・12・14・18・25	No.3 ; -0.9mで鎌倉前期の包含層(土師器皿)を切って、鎌倉中期の土壌(土師器皿)。-1.4m以下、にふい黄褐色砂泥の地山。	HL053	5
五条三坊十一町	下・室町通高辻上る山王町55番地	10/29、11/2・4	-2.6mまで現代盛土。	HL236	5
五条三坊十三町	下・東洞院通松原上る燈籠町598-5、600、600-3	12/2	-1.2m、江戸の包含層。	HL253	5
五条四坊九町	下・綾小路通麩屋町西入塩屋町51、47、49合併	8/24	-0.36m、江戸の焼土層。	HL286	5
五条四坊十一町	下・富小路通仏光寺下る筋屋町144-3 他	9/26・28・30、10/4	-0.3m、江戸の包含層。	HL163	5
五条四坊十三町	下・寺町通高辻下る京極町488	11/4・6・8	No.1 ; -1.26m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。	HL212	5
六条一坊六町	下・中堂寺壬生川町2-8	10/4・6・12	No.2 ; -0.25m、近世の包含層。-1.4m、時期不明の包含層。	HL259	5
六条二坊四町	下・猪熊通五条下る柿本町668番1	12/14・15	-1.05m、江戸後期の包含層。	HL227	4
六条二坊九町	下・醒ヶ井通松原下る篠屋町59	6/7~11・14・15・17	-0.55m、時期不明の整地層。-0.95m以下、氾濫堆積のオリープ黒色砂礫を検出。	HL299	4
六条三坊十二町	下・室町通五条下る大黒町215、215-1、215-2	11/1・2・4	-0.35mと-0.73mで時期不明の包含層(土師器皿、須恵器鉢、丸瓦)2。	HL079	4
六条三坊十五町	下・不明門通五条上る玉屋町529	6/22・23・25・28	No.2 ; -1.1m、室町中期の包含層(土師器皿、須恵器甕、丸瓦)。-1.27m、平安後期の包含層(土師器皿、須恵器甕、黒色土器)。	HL256	5
六条三坊十五町	下・烏丸通五条上る悪王子町425番地 他	11/8・10・16・22	-0.8mと-1.02mで江戸の包含層(焼締陶器播鉢、土師器小鉢、伊万里染付椀)2。-1.45m、平安中~後期の包含層(土師器皿)。-1.85m以下、にふい黄橙色細砂の地山。	HL091	5
六条四坊二町	下・万寿寺通東洞院東入万寿寺中之町65	8/5	-0.62~-1.3mで江戸後期の砂礫と砂泥の互層を検出。-1.3m以下は泥土層となる。	HL252	5
六条四坊二町	下・万寿寺通高倉西入万寿寺中之町79-2	12/21・24・27	-1.1m、近世の包含層。	HL143	5
六条四坊三町	下・東洞院通五条下る二丁目福島町511番地 他4筆	12/6~10	-1.0m、江戸末期の包含層。-1.15m、江戸の包含層。	HL303	5
六条四坊九町	下・麩屋町通松原下る鱗形町523、524	8/6	-0.32m、江戸後期の包含層。-1.32m、江戸の包含層。	HL289	5
七条二坊九町	下・油小路通六条下る西若松町273-1	7/1・2・6~9・13	No.1 ; -1.2m、江戸末期の包含層(肥前色絵皿、輸入白磁壺=鎌倉)。-1.7m、平安前期の包含層(土師器皿、須恵器壺)。No.3 ; -1.38m、室町の包含層(輸入青磁椀、丸・平瓦)。-1.51m、時期不明の包含層(土師器)。No.4 ; -1.08m、時期不明の包含層(平瓦)。	HL146	5
七条二坊十二町	下・西中筋通北小路下る菱屋町143、144	9/16・21・26	-0.3m、江戸の瓦溜。	HL102	6
七条三坊二町	下・若宮通花屋町下る四本松町601	5/17	-1.6m、鎌倉の包含層(土師器皿)。	HL196	6
七条三坊二町	下・若宮通花屋町下る四本松町599番	9/30	-0.8m、鎌倉中期の包含層(土師器皿・甕、須恵器甕)。	HL050	7
七条三坊十三町	下・不明門通下珠数屋町下る橋町78番地1、不明門通七条上る粉川町136番地6	10/1・5	-0.5mまで現代盛土。	HL221	7
八条二坊十三町	南・西九条北ノ内町45番地	12/1	-0.4mまで現代盛土。	HL226	7
八条三坊十五町	下・東洞院通七条下る東塩小路町544-3	12/8~10・13~17	-1.28m、近世の瓦溜。-1.4m、時期不明の包含層(土師器皿)。	HL285	6
八条三坊十六町	下・七条通烏丸東入真苧屋町214	5/24~26、6/1・3・8	-1.02m、時期不明の包含層(土師器)。	HL295	7
八条四坊三町	下・東塩小路町680-2の一部	8/4~6・9~13・17~20	-0.3m、江戸の包含層。	HL054	7
八条四坊六町	下・下之町56番地	7/26~29、8/10~12、10/12	-0.6m、江戸後期の包含層(土師器皿、施釉陶器)。	HL141	7
八条四坊十三町	下・東之町17番地 他	9/13・28	-1.65m以下、オリープ色砂礫の地山。	HL128	7
九条一坊九町	南・壬生通八条下る東寺町544番2	6/10・11	-0.93m、江戸末期の包含層。-1.02m、江戸後期の包含層。	HL189	7
九条三坊八町	南・東九条室町47番の一部	11/1	-0.15m、耕作土。	HL081	6
九条三坊十町	南・東九条上殿田町41-1の一部	5/28・31、6/1・3	-0.17m、耕作土。-0.4m、旧耕作土。	HL255	7
			No.1 ; -0.65m以下、暗黄灰色粘土の地山。No.2 ; -0.68m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。	HL062	7
			No.3 ; -0.64m、鎌倉前期の包含層(土師器皿、瓦器椀・鍋・羽釜)。-0.83m、平安中期の包含層(土師器皿、土製品鍋)。No.5 ; -0.7m、鎌倉		

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
九条三坊十五町	南・東九条西山王町13-2	5/17・20・21・24	の包含層（土師器皿）。 -0.7mで氾濫堆積のオリブ黒色砂礫層を検出。 遺構、遺物は検出できず。	HL049	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条三坊 二町	中・西ノ京御興岡町9-5	9/6~9・16・17・21・22	-0.8m、平安前期の溝状落込（土師器甕、須恵器杯、緑釉陶器椀、灰釉陶器椀）。推定近衛大路内に位置し、近衛大路の側溝と考えられる。	HR179	8
一条三坊 五町	中・西ノ京伯楽町14-90 他6筆	8/2~4	-0.45m以下、暗灰黄色砂泥の地山。	HR138	8
一条四坊十二町	右・太秦安井小山町2番地3・4	5/7・21・24	No.1 ; -0.85m以下、にぶい黄橙色砂泥の地山。 No.2 ; -0.8m、江戸以降の包含層。-1.26m以下、明黄褐色砂泥の地山。	HR034	8
二条二坊 九町	中・西ノ京円町1,2番地	9/16・17・24	-1.1m以下、オリブ褐色微砂の地山。	HR199	9
二条二坊十五町	中・西ノ京中御門東町51-3	4/30,5/6・7・12	No.1 ; -0.3m、平安前期の包含層（土師器皿、須恵器椀、緑釉陶器）。No.2 ; -0.47m、平安前~中期の包含層（土師器皿、灰釉陶器壺・椀）。 -0.65mでオリブ褐色砂泥の地山を切って平安前~中期のピット（土師器皿、緑釉陶器鉢、平瓦）と落込（黒色土器皿、須恵器甕）。No.3 ; -0.24m、平安前~中期の包含層（土師器皿、須恵器甕）。-0.43m以下、褐色粘土の地山。No.4 ; -0.45m、平安中期の包含層（土師器皿、須恵器鉢、平瓦）。-0.66m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR032	9
二条四坊 一町	右・花園中御門町2の一部、2-4の一部、3-24	11/19・19・22	-0.6m以下、明黄褐色粘土の地山。	HR273	8
二条四坊 六町	右・太秦安井馬塚町2番	11/22	-0.3m、近世以降の包含層。	HR277	8
三条一坊 六町	中・西ノ京榊尾町1-6,3-7	8/10~13・17~20・23~26・30・31	No.1 ; -0.52~-0.65mで褐色砂礫の地山を切って室町前期の落込（土師器皿、丸瓦）、江戸初期の落込（土師器皿・羽釜、施釉陶器）、江戸後~末期のピット（施釉陶器）。No.2 ; -0.59m、江戸後期の包含層（土師器、施釉陶器、染付皿、肥前色絵椀）。No.3 ; -1.0m以下、灰オリブ色微砂の地山を検出。	HR150	9
三条二坊 二町	中・西ノ京原町地先~西ノ京銅駝町 地先	11/4・8	-1.4mまで現代盛土。	HR260	9
三条二坊 七町	中・西ノ京原町115,116	8/27・28	No.1 ; -1.1mで褐色砂礫の地山を切って平安前期の土壌（土師器皿）。No.2 ; -0.5m、室町中期の包含層（土師器皿）。-0.67m、室町前期の包含層（土師器皿）。-0.8m、平安前期の包含層（土師器皿・甕、黒色土器皿）。-0.91m以下、暗灰黄色粘土の地山。	HR151	9
三条二坊 十町	中・西ノ京東中合町82	10/29,11/1・2・4	No.1 ; -0.8m、時期不明の落込（須恵器）。-1.3m以下、灰オリブ色粘土の地山。No.2 ; -0.88m、時期不明の包含層（土師器、灰釉陶器）。-1.2m以下、にぶい黄橙色粘土の地山。	HR254	9
三条三坊 七町	中・西ノ京桑原町 地先	9/13~15・28	-1.1mで湿地状堆積の灰色粘質土層を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR191	8
三条四坊 九町	右・太秦安井二条裏町12-6	9/27・30,10/4	-0.3m、近世の包含層。-0.58m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR217	8
四条二坊 一町	中・壬生上大竹町26番1の一部	7/28・29	-0.07m、耕作土。	HR135	11
四条二坊 六町	中・壬生淵田町17番地 (B棟)	4/13~7/8	-1.0m、江戸以降の包含層。	HR012	11
四条二坊 六町	中・壬生淵田町17番地 (A棟)	4/13~7/12	No.2 ; -1.35m、室町前期の包含層（土師器皿）。No.3 ; -1.2m、時期不明の包含層（土師器皿、瓦）。-1.38m以下、暗オリブ灰色砂礫の地山。	HR011	11

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条二坊十四町	右・西院西今田町25番地	9/13~17	平安前期の東西溝、ピット、池。本報告10ページ。	HR190	11
五条一坊 四町	中・壬生松原町17、17-1、17-4、16-3、16-5番地の一部	12/15	-0.65mまで現代盛土。	HR301	11
五条一坊十三町	中・壬生下溝町44-29、76	6/8、7/1・5・6	No.2 ; -0.8m、江戸末期の包含層。-0.91m以下、灰黄褐色粘土の地山。No.3 ; -1.1m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HR070	11
五条二坊十二町	右・西院平町32-2	7/27~30	No.1 ; -0.8m、時期不明のピット（土師器）。No.2 ; -0.45m、時期不明の包含層（土師器、須恵器甕、輸入青磁碗、平瓦）。-0.65m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	HR132	11
五条三坊 一町	右・西院巽町13	7/15・16・20~22	-0.62m、平安初期の包含層（土師器杯）。-0.94m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR118	10
五条三坊 二町	右・西院北矢掛町26番、26番1	4/27・28	-0.85m、湿地状のオリーブ黒色粘土層を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR031	10
五条三坊 六町	右・西院西矢掛町8	8/20・23・24	-0.96mで灰白色粘土の地山を切って時期不明の土壌（土師器）。	HR156	10
五条三坊 七町	右・西院松井町4	11/24・26	-0.9mで灰白色粘土の地山を切って時期不明の溝状落込。推定綾小路の北側溝と考えられる。	HR278	10
五条四坊十三町	右・西院西田町97-1、97-2、98-1、98-2	7/7	-0.5mまで現代盛土。	HR109	10
六条一坊 二町	下・中堂寺北町15-1	11/8	-0.6mまで現代盛土。	HR263	11
六条一坊 三町	下・中堂寺南町128、129	6/14・15・17・22	-0.8m、耕作土。-1.0m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HR083	11
六条二坊 八町	中・壬生東高田町1-2の一部	6/22・23・25・28・29	-0.66m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	HR093	11
六条二坊 九町	右・西大路通東側、高辻通~万寿寺南通地内	9/9~30、10/4~29、11/1~10	No.1 ; -0.35m、室町前期の包含層（土師器皿）。-0.5m、鎌倉の包含層（土師器皿、瓦器碗）。No.10 ; -0.28m、時期不明の包含層（須恵器甕）。	HR183	11
六条三坊十三町	右・西院六反田町37番1	7/29・30、8/2・5・6・9	-0.68m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No.1 ; -0.7m、室町中期の包含層（土師器皿）。-No.2 ; -0.8m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HR137	10
六条三坊十四町	右・西院六反田町~西院久保田町 地先（一般国道9号）	6/1~3・9・10・14・15、7/15	夜間工事のため巡回時、工事終了。	HR067	10
六条四坊 七町	右・西院清水町~西院月双町 地先	4/5~5/20	-0.45m、弥生の包含層（弥生土器）。	HR004	10
七条一坊 六町	下・朱雀宝蔵町 地先	7/12・15・29・30、8/2	-0.4m、平安の包含層（平瓦）。-0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。	HR116	13
七条一坊十三町	下・西七条北東野町58番	6/16	-0.1m、近世以降の包含層。	HR085	13
七条三坊 七町	右・西京極南庄境町58番地	8/26・30・31、9/2	No.1 ; -1.4m、時期不明の湿地状包含層（須恵器）。No.2 ; -0.84m、時期不明の包含層（土師器）。	HR168	12
七条三坊 八町	右・西京極北庄境町77番	6/22	-0.75mまで現代盛土。	HR090	12
七条四坊 三町	右・西京極宮ノ東町1 他（京都市立西京極中学校）	10/1・4	-0.6mまで現代盛土。	HR223	12
八条二坊 六町	下・西七条石井町~梅小路石橋町	7/2・6・13・16・21~23・26~30、8/2・4~6・11	No.4 ; -0.48m、平安後期の包含層（土師器皿・甕、黒色土器）。No.11 ; -1.17m、平安中期の包含層（須恵器鉢）。	HR104	13
八条二坊 九町	下・西七条南衣田町34、35、36番	6/4・8	-2.0m以下、オリーブ褐色微砂の地山。	HR076	13
八条二坊十一町	下・七条御所ノ内中町67-1、67-2	7/26~29	No.2 ; -0.73m、鎌倉前期の落込（土師器皿、瓦）。No.3 ; -0.68m、時期不明の落込（土師器）。	HR131	13
八条三坊 三町	下・七条御所ノ内本町~七条御所ノ内北町 地先	9/16~28、10/1~28、11/8・24	No.6 ; -1.5mで湿地堆積の灰オリーブ色粘土を検出。No.7 ; -2.0mで暗褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。	HR200	12
八条四坊十五町	右・西京極芝ノ下町78番、21番1、23番1、7番1の一部	10/20・22・25・27	-0.3mまで現代盛土。	HR249	12
九条一坊十二町	南・唐橋西寺町	5/24~31、6/1~30、7/1~30、8/29~31、9/6~30、10/6	No.5 ; -0.14m、平安の包含層（平瓦）。No.6 ; -0.2m、平安の包含層（平瓦）。No.7 ; -0.22m、平安の包含層（平瓦）。No.8 ; -0.22m、平安の包含層（平瓦）。No.10 ; -0.23m、平安前期の包含層（須恵器杯、平瓦）。	HR055	13
九条一坊十三町	南・唐橋西寺町18番	6/29	-0.15mまで現代盛土。	HR098	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
九条二坊十二町	南・唐橋西平垣町7-5、7-6	5/17	-0.35mまで現代盛土。	HR048	13
九条二坊十二町	南・吉祥院清水町1番	8/18	-0.3mまで現代盛土。	HR152	13
九条二坊十六町	下・七条御所ノ内南町67-1、67-2、76-6、76-7、76-8	11/19・22	-0.2mまで現代盛土。	HR276	13
九条三坊 一町	南・吉祥院西ノ庄門口町～吉祥院西ノ庄東屋敷町 地先	7/20～22・26～29、8/4～6・9・11・20・24・26・31、9/6・9・28	No.2 ; -0.17～-0.37m、時期不明の路面5。No.4 ; -1.2m以下、褐色粗砂の地山。No.9 ; -0.72mと-0.84mで近世の包含層2。	HR124	12
九条三坊 五町	南・吉祥院西ノ庄猪之馬場町1、2	5/12・14・17・20	-1.3m、江戸以降の包含層。	HR047	12
九条三坊 七町	南・吉祥院西ノ庄西中町46-2	11/30	-1.43mまで現代盛土。	HR284	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
御土居跡	北・小山北玄以町16-1	4/19	-0.25mまで現代盛土。	RH016	16
御土居跡	北・小山下内河原町～新御霊口町 他地内	6/3・8・10、8/2・4～6・9～12・17～19・25	-0.44mで江戸の包含層。	RH075	16
室町殿跡	上・新町通今出川上る元新在家町161-7	10/1・5	-0.35mまで現代盛土。	RH225	16
室町殿跡・上京遺跡・相国寺旧境内	上・今出川町 他地内(烏丸今出川交差点)	7/16・20～23・26・27	-1.2mと-1.38mで焼土を含む江戸の包含層2。	RH120	16
上京遺跡	上・上御霊前通烏丸東入御上霊前町399-3	4/23・26・28、5/6・10・13・14	-0.4m、江戸末期の土壌。-0.6m、江戸中期の落込(土師器皿・京焼灯明皿・唐津壺・染付、肥前白磁碗)。	RH026	16
上京遺跡	上・新町通寺之内上る3丁目大心院町4番の一部、6番の一部	8/25	-0.3mまで現代盛土。	RH166	16
上京遺跡	上・新町通寺ノ内上る内藤町～新町通御霊前東入継孝院町 地先	7/26～30、8/2～31、9/1～30、10/7～29、11/1～18	No.6 ; -0.68m、江戸初期の包含層(白磁碗)。No.11 ; -0.45m、室町前期の包含層(土師器皿)。No.14 ; -0.66m、室町後期の包含層(土師器皿)。No.15 ; -0.7m、室町末期の包含層(土師器皿)。No.16 ; -0.8m、鎌倉前～中期の包含層(土師器皿)。No.19 ; -1.2m、鎌倉中期の包含層(土師器皿)。	RH130	16
上京遺跡	上・寺ノ内新町東入古木町409号	11/18・19・22	-0.1m、江戸末期の包含層。	RH274	16
上京遺跡・上絵町遺跡	上・烏丸通今出川下る梅屋町～北・小山上絵町 地先	8/6・9・10・17～19、10/7	-0.27mで黒褐色砂泥層、-0.89mで黒褐色砂礫層を検出。遺構、遺物は検出できず。	RH145	16
上絵町遺跡	北・小山上絵町 地先	6/7～29、8/9～31、9/1～30	No.1 ; -0.2m、時期不明の包含層(土師器)。No.9 ; -0.4m、平安後期の包含層(土師器皿、須恵器杯)。-0.72m、平安前期の包含層(須恵器杯)。No.11 ; -0.7m、室町末期の包含層(土師器皿)。-0.84m以下、暗オリーブ色砂泥の地山。	RH063	16
植物園北遺跡	北・上賀茂岡本口町37	6/10・11	-0.6mでオリーブ褐色砂泥の地山を切って時期不明のビット2。	RH069	22-1
植物園北遺跡	左・松ヶ崎今海道町2-1、2-5	6/11・14～17	-1.8m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	RH082	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町2番地の先(A棟)	6/29・30、7/1	-0.68mでにぶい黄褐色砂泥の地山を切って時期不明のビット2。	RH099	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町2番地の先(B棟)	6/29、7/1	-0.5m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	RH100	22-1
植物園北遺跡	北・上賀茂畔勝町41番地	9/14・16	-0.36mで褐色砂泥層、-0.42mで暗褐色砂礫層を検出。遺構、遺物は検出できず。	RH195	22-1
東幡枝遺跡	左・岩倉北池田町1	11/5・8・9・16	No.1 ; -2.4m、室町中期の包含層(土師器皿・甕)。-2.6m以下、黒色粘土の地山。No.2 ; -2.37m、時期不明の包含層(土師器皿)。-2.7m以下、黄褐色粘土の地山。	RH262	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-6(4号地)	7/12	-0.3mまで現代盛土。	RH114	23-2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-9 (7号地)	7/12	-0.25mまで現代盛土。	RH115	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-4 (2号地)	7/15	-0.2mまで現代盛土。	RH119	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-5 (3号地)	8/31	-0.35mまで現代盛土。	RH176	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-5 (1号地)	9/10	-0.6mまで現代盛土。	RH185	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-6 (8号地)	9/22	BM+0.6~-0.2mまで現代盛土。	RH207	23-2
幡枝古墳群・南ノ庄田瓦窯跡	左・岩倉幡枝町433-8 (6号地)	9/22	-0.2mまで現代盛土。	RH208	23-2
八幡古墳群	左・岩倉幡枝町558-2、563-1、保留地25-2の一部	5/7・10	-0.6m以下、オリーブ黄色泥砂の地山。	RH035	23-2
八幡古墳群	左・岩倉幡枝町 地内	10/14~29.11/2~22	-1.2m以下、にふい黄橙色砂礫の地山。	RH243	23-2
醍醐ノ森瓦窯跡	北・西賀茂中川上町46番地	9/21・22	-0.3mで褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込と土壌。	RH203	24-1
北野遺跡	北・平野宮本町2番地	7/5~9	No.1 ; -0.65m、時期不明の土壌。No.3 ; -0.6m、近世以降の包含層。-0.8m以下、にふい黄褐色細砂の地山。	RH107	24-2
御土居跡	北・紫野西土居町1-24、1-35	8/23	-0.3mまで現代盛土。	RH160	24-3

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
常盤東ノ町古墳群・村ノ内町遺跡	右・常盤東ノ町2、2-1、2-3、1-1	7/12・14	-0.1mで黒色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	UZ113	17
草木町遺跡	右・太秦三尾町1-255、1-277、太秦京ノ道町26、26-2	8/27・30、9/2・6・27、10/5・13・28	BM+0.19m以下、岩盤。	UZ171	17
草木町遺跡・巽古墳	右・太秦京ノ道町、山越巽町	4/5・14・15、6/15、8/17	-3.0m以下、岩盤。	UZ002	17
多藪町遺跡	右・太秦多藪町19-7	4/2・5	-0.7mで褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	UZ001	17
段ノ山古墳隣接地	右・四条通、梅津段町交差点~葛野西通西入 地内	6/15~8/13	巡回時、工事終了。	UZ086	17
円乗寺跡	右・御室堅町19	8/23	巡回時、工事終了。	UZ159	24-4
仁和寺院家跡	右・宇多野北ノ院町2-32・33	4/5	BM+1.34~+0.44mまで現代盛土。	UZ003	24-4
仁和寺院家跡	右・宇多野北ノ院町2-31、2-22	6/2	BM+2.7~±0.0mまで現代盛土。	UZ073	24-4
東衣手町遺跡・郡城跡	右・梅津堤下~西京極東衣手町 地内	5/25~7/7	No.1 ; -0.2mで硬く締ったオリーブ褐色砂泥を検出。No.7 ; -1.5mで湿地状の灰色粘土層を検出。遺構、遺物は検出できず。	UZ057	24-5

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎円勝寺町80-1 他2筆	4/23	-0.2mまで現代盛土。	KS024	18
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎円勝寺町64-1 他21筆	7/12・16・20・21	No.1 ; -1.11m、時期不明の包含層 (土師器皿、瓦)。-1.3m以下、にふい黄橙色粗砂の地山。No.2 ; -0.5m、時期不明の土壌 (土師器皿)。-0.78m、鎌倉前期の包含層 (土師器皿)。-0.68m以下、黄橙色細砂の地山。	KS112	18
岡崎遺跡・白河街区跡	左・岡崎入江町83	10/13・18~20・22・25~27	No.1 ; -1.24m以下、オリーブ灰色粗砂の地山。No.2 ; -1.5m、室町後期の包含層 (土師器皿)。	KS242	18

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町16	4/9・12	BM+1.0～+0.63mまで現代盛土。	KS008	18
白河街区跡	左・聖護院円頓美町18	6/28	-1.08mまで現代盛土。	KS092	18
白河街区跡	左・聖護院山王町33番地	7/5・6・9・12	-0.3m、江戸後期の包含層。-0.8m、時期不明の包含層。	KS106	18
白河街区跡	左・吉田近衛町15	7/14・15・20	-0.5m、鎌倉後期の包含層（土師器皿）。	KS117	18
白河街区跡	左・新富小路通仁王門下る讚州寺町199	9/10・14	-1.07mで黒褐色砂泥層、-1.5mで黒褐色砂礫層を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS184	18
白河街区跡	左・岡崎入江町14-1、24-3	9/27・28・30、10/1・4	No.1；-0.8m以下、黄褐色砂泥の地山。No.2；-0.35m、平安末期の包含層（土師器皿）。	KS215	18
白河街区跡	左・岡崎天王町24-2、24-3、24-4	11/15・17～19・22	-0.46m、時期不明の包含層（土師器）。	KS270	18
白河街区跡・東光寺跡	左・岡崎東天王町～黒谷町地先	7/23～30、8/2～31、9/1～16	-0.23m以下、オリーブ色砂泥の地山。	KS127	18
白河南殿跡	左・聖護院蓮華蔵町54-20	4/20	-0.7mまで現代盛土。	KS019	18
白河南殿跡	左・聖護院蓮華蔵町54-13	4/20	巡回時、工事終了。	KS020	18
白河南殿跡	左・聖護院蓮華蔵町27-18	5/10	-0.16mまで現代盛土。	KS037	18
白河北殿跡	左・丸太町通川端東入東丸太町32-3、34	7/26・27	-0.2m、江戸の包含層。-0.49m、時期不明の包含層。	KS129	18
白河北殿跡	左・聖護院蓮華蔵町2-3	8/10	-0.25mで灰オリーブ色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS149	18
白河北殿跡	左・丸太町通川端東入東丸太町39-6	11/2・4・5・8	-0.45m、江戸後期の包含層。	KS258	18
白河北殿跡	左・東竹屋町通川端東入東竹屋町60-7	11/29	-0.3mまで現代盛土。	KS282	18
吉田二本松遺跡	左・吉田中大路町34-11	4/13・15・16・19	-0.6mでオリーブ褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS013	18
吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡	左・吉田中大路町1	8/20・23	-0.8mでにぶい黄色微砂の地山を切って時期不明の落込。	KS155	18
吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡	左・吉田上大路町13番地1	10/20・22・25・27・29、11/1	-0.63m、近世の包含層。-0.9m以下、オリーブ色細砂の地山。	KS248	18
北白川追分町遺跡	左・北白川葛町25番地の一部	5/17・31	-0.25mで黒褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS051	18
北白川追分町遺跡・北白川追分町遺跡・吉田上大路町遺跡・追分町古墳群	左・北白川追分町	7/22～30、8/2～31、9/3～16	-0.9m、時期不明の落込。	KS126	18
御土居跡	上・御車通今出川下る二丁目栄町372-4、373、374	9/14・15	-1.8mまで現代盛土。	KS194	24-6
法成寺跡	上・寺町荒神口上る東入宮垣町91番地	10/1・4・12・14・18・22	-1.4m、江戸中期の包含層（伊万里染付皿）。	KS222	24-6
上終町遺跡・北白川廃寺	左・北白川東瀬ノ内町15番3	5/31、6/1・2	BM+0.17m、白鳳～奈良の包含層（平瓦）。	KS064	24-7
池田町古墳群	左・北白川下池田町88	9/7・8	-0.48m、時期不明の包含層（土師器）。	KS181	24-7
池田町古墳群	左・北白川下池田町88-5	10/5・6	-0.23mでオリーブ黒色泥砂、-0.4mでにぶい黄褐色細砂を検出。遺構、遺物は検出できず。	KS231	24-7
池田町古墳群	左・北白川下池田町88-6	10/25～27	-0.5m、室町後期の包含層（土師器皿、須恵器甕、瓦器火鉢）。	KS251	24-7
北白川瓦窯跡	左・北白川上終町67番地	12/2・3・6・7	BM±0m以下、明赤褐色砂泥の地山。	KS287	24-7
御土居跡	上・新烏丸通丸太町上る錦砂町286番地	4/26・28・30、5/6	-1.0m、江戸以降の包含層。	KS028	25-1
松陰町遺跡	上・新烏丸通新切通上る新烏丸頭町182-2	4/15	-0.2m、江戸の包含層。	KS014	25-1

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
建仁寺境内	東・大和大路通四条下る小松町584番地	4/23～28、5/6～24	-1.3m、江戸後期の落込（土師器皿、染付）。	RT023	19
法住寺殿跡・六波羅政庁跡	東・茶屋町527	6/28・30、7/2	-0.3mまで現代盛土。	RT096	19
六波羅政庁跡	東・大和大路五条上る山崎町385	5/31、6/1・3	-0.5m、江戸以降の包含層。	RT065	19

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
六波羅政庁跡	東・大和大路五条上る山崎町334	5/24~27・31、 6/1・3	-1.25m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、瓦器火鉢・焙烙、焼締陶器壺・平瓦）。-1.65m、時期不明の包含層（土師器皿）。	RT056	19
六波羅政庁跡	東・大黒町通五条上る大黒町300、301	8/9	-0.47mまで現代盛土。	RT147	19
六波羅政庁跡	東・五条通建仁町西入五条橋東二丁目32番 他	12/6~10・16・ 17・24	No.1；-1.65m、室町前期の包含層（土師器皿）。 No.2；-1.55m、室町中期の包含層（土師器皿）。 -1.64m、室町前期の包含層（土師器皿）。	RT290	19
法性寺跡	東・本町十五丁目749	10/4~7	BM+1.45m以下、オリープ色砂泥の地山。	RT230	19
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎256-2	4/12	-0.1m、耕作土。	RT009	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎256-3	4/12・13	-0.15m、耕作土。	RT010	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東栗栖野町115-3	4/19	巡回時、工事終了。	RT017	23-3
中臣遺跡	山・東野舞台町56番13、105番7	4/20	-0.75mまで現代盛土。	RT018	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町98	5/26	-0.78mまで現代盛土。	RT060	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎町97、98	5/26・27	巡回時、工事終了。	RT059	23-3
中臣遺跡	山・栗栖野狐塚町5-1	7/12	巡回時、工事終了。	RT111	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺西金ヶ崎250	7/27	-0.3mまで現代盛土。	RT133	23-3
中臣遺跡	山・勸修寺東金ヶ崎64-19	8/3	-0.6mまで現代盛土。	RT139	23-3
中臣遺跡	山・西野山中臣町26-19	8/20	-0.5mで黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の土壌。	RT157	23-3
中臣遺跡	山・東野森野町~東野舞台町 地先	8/30、10/7	-1.1mで黒褐色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	RT175	23-3
中臣遺跡	山・栗栖野中臣町10番地1	9/24、10/12、 11/8・9	No.2；-0.75m、時期不明の包含層（土師器）。 No.4；-0.36m、平安末期の包含層（土師器皿・甕）。-0.67m以下、黄褐色砂礫の地山。	RT209	23-3
法興院跡・ 御土居跡	中・河原町二条上る清水町345番 他	8/30・31、9/1	No.1；-0.4m、江戸中期の包含層（瀬戸美濃系灰釉鉢）。-0.7m以下、砂礫・砂泥・細砂による近世の氾濫堆積。	RT172	25-1
山科本願寺南殿跡	山・音羽伊勢宿町32の一部	4/20	巡回時、工事終了。	RT022	25-4
山科本願寺南殿跡	山・音羽役出町22	10/19	-0.25mまで現代盛土。	RT247	25-4
大塚遺跡	山・大塚野溝町86番61	8/24	-0.75mまで現代盛土。	RT165	25-6

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
鳥羽遺跡・ 鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町78	4/5・7	-0.4mまで現代盛土。	TB005	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (A号地)	5/10~12	巡回時、工事終了。	TB038	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (B号地)	5/10~12	巡回時、工事終了。	TB039	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田中内畑町77	6/7・8	-0.14m、江戸以降の包含層。	TB077	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田中殿町77	7/28	-0.62mで暗オリープ色砂泥層を検出。遺構、遺物は検出できず。	TB134	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田浄菩提院町97番	8/24・26・30、9/2	-1.9m以下、灰色砂礫の地山。1980年に発掘調査済。	TB164	20
鳥羽離宮跡	伏・中島宮ノ前町9	11/29	-0.45mまで現代盛土。	TB280	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (C号地)	5/10・11	-1.05m、平安末期の湿地状の包含層。	TB040	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (D号地)	5/10・11	-1.06m、平安末期の湿地状の包含層（土師器皿、瓦器椀、焼締陶器甕、木製品曲物・箸）。	TB041	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (E号地)	5/10・11	-1.05m、平安末期の湿地状の包含層。	TB042	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (F号地)	5/10・11	-1.05m、平安末期の湿地状の包含層。	TB043	20
鳥羽離宮跡	伏・竹田西桶ノ井町34より分筆 (G号地)	5/10・11	-1.1mまで現代盛土。	TB044	20
石原城跡	南・吉祥院石原町39-3、39-9、39-11	11/10・11	-1.24m、近世以降の包含層。	TB267	25-7
久我殿遺跡	伏・久我本町	5/6・7・12・14	-0.65m、耕作土。-0.71mで褐色細砂層を検出。遺構、遺物は検出できず。	TB033	25-8

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
御香宮麁寺・伏見城跡	伏・御香宮門前町184番地5、桃山町金森出7雲1番	9/3・6	-0.77mで褐色粘土質砂泥の地山。	FD178	14
桃山古墳群・伏見城跡	伏・桃山町永井久太郎68番地	11/9・10	-0.6mで黄褐色砂礫、-0.88mで黒褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD265	14
桃陵遺跡・伏見城跡	伏・京町一丁目250-1	11/11・16	No.1；-0.65mで近世の包含層を切って、近世以降の土壌。No.2；-1.1m以下、褐色粘土の地山。	FD269	14
伏見城跡	伏・京町大国町131番地1	4/8・9・12	No.1；-0.98m、江戸末期の包含層。No.2；-0.87m、江戸初期の包含層（瀬戸美濃系灰粘土）。	FD007	14
伏見城跡	伏・大坂町595-1、御堂前町627-1	5/28・31、6/3・8・14・22・23・28・29、7/1・2・6・8・9・13・14	No.1；-0.94m、鎌倉～室町の包含層（龍泉窯青磁椀）。-1.25m以下、明褐色泥砂の地山。No.4；-0.75m、江戸中期の包含層（肥前陶器椀、砥石）。-1.05m以下、オリーブ色砂泥の地山。	FD061	14
伏見城跡	伏・中油掛町94	8/5・	-1.2m、江戸後期の包含層（施釉陶器甕）。-1.35m、江戸中期の包含層（施釉陶器皿）。	FD142	14
伏見城跡	伏・鷹匠町19-1、36-3、紺屋町196-3	10/14・15	-0.4mまで現代盛土。	FD244	14
伏見城跡	伏・桃山町丹下8-13、8-19、8-4の一部	10/25	-0.3mまで現代盛土。	FD250	14
伏見城跡	伏・桃山筒井伊賀西町20	10/19・22・27	-1.2mで暗褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD246	14
伏見城跡	伏・京町南七丁目25-1	12/13・15	-1.35m以下、黄褐色砂泥の地山。	FD297	14
伏見城跡	伏・桃山町下野31番5、29-13、29-18、29-26、29-27、29-35、32-5	9/24・27	-0.3mまで現代盛土。	FD210	15
伏見城跡	伏・深草大亀谷六鉢町140、147	10/8	-0.5mまで現代盛土。	FD237	15
伏見城跡	伏・桃山町正宗 地内 (京都市立桃山中学校テニスコート)	10/12・14・15	-0.6m以下、黄褐色泥砂の地山。	FD240	14
伏見城跡	伏・深草大亀谷万帖敷町88の一部、88-2の一部	12/3・6	BM+1.3m以下、にふい黄褐色微砂、細砂、粗砂の互層による地山を検出。	FD288	15
向島城跡	伏・向島中島町24-8、24-9	9/6	-0.68mで明褐色粗砂層を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD180	22-2
向島城跡	伏・向島本丸町8-1	10/1・4・7	-0.2mで黄褐色粗砂層を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD224	22-2
太閤堤	伏・向島渡シ場町8番	11/29	-1.3mでにふい黄褐色粗砂層を検出。遺構、遺物は検出できず。	FD281	22-2
がんぜんどう麁寺	伏・深草谷口町（大岩街道）	5/10～12・14・20・21・24～26・31	-0.52m以下、にふい黄褐色微砂の地山。	FD045	26-1
がんぜんどう麁寺	伏・深草谷口町55-1の一部、56-2の一部、111-35の一部	7/1	-0.75mまで現代盛土。	FD103	26-1

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
左京北辺四坊十一町	南・久世築山町212番地1	6/16・17	-2.1m以下、にふい黄褐色粘土の地山。	NG087	23-1
左京北辺四坊十三町	南・久世築山町298-1	11/17・22・24・26	-1.46m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	NG272	23-1
左京一条四坊五町	伏・久我本町11-260番地	9/28	-1.1mまで現代盛土。	NG219	21
左京二条三坊十町	南・久世東土川町200-19	12/17	-0.25mまで現代盛土。	NG302	21
左京二条四坊一・八町・東土川遺跡	南・久世東土川町376番4	11/9・10・11	-0.8m以下、湿地状の砂泥、粘土層を検出。	NG264	21
左京四条三坊五・十二・十三町・羽東師菱川城跡	伏・羽東師菱川町 地内	10/6・7・12・14・15・22・25・27	-0.66m、時期不明の落込。	NG233	21
左京五条三坊十二町	伏・羽東師古川町310番10	11/30	-0.85m、耕作土。	NG283	21
左京九条三坊一・十四町	伏・納所町71番31、71番32	8/23	-0.2mまで現代盛土。	NG162	26-5

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中久世遺跡	南・久世中久世町三丁目78	9/24・27	-0.8mまで現代盛土。	MK211	23-1
中久世遺跡	南・旧西国街道 東海道本線一筋東～東海道新幹線 地内	10/7・12～15・18・22・25・27～29、11/1・2・4・8	No.1；-1.01m、平安前期の包含層(土師器皿・甕、須恵器鉢)。-1.08m、時期不明の包含層(土師器甕)。No.2；-0.68m、平安前期の包含層(灰釉陶器碗)。-0.82m、時期不明の包含層(土師器皿)。No.4；-0.99m、平安前期の包含層(須恵器鉢、埴)。No.5；-0.84m、平安前期の包含層(須恵器鉢)。-1.07m、平安初期の包含層(土師器、須恵器碗)。No.6；-1.3m以下、褐色砂泥の地山。No.8；-1.04m、平安前期の包含層(土師器皿、須恵器壺、黒色土器碗)。No.10；-0.67m、平安前期の包含層(土師器甕、須恵器甕・鉢)。	MK235	23-1
福西古墳群	西・大枝中山町3-102の一部	9/21・22	-0.16m以下、黄褐色粘土の地山。	MK206	26-6
福西古墳群	西・大枝東長町1-216	10/12・13	BM+0.68～+0.45mまで現代盛土。	MK241	26-6
松尾十三塚古墳群	西・松室追上ヶ町26番22	10/4・6	-0.3mまで現代盛土。	MK232	26-7

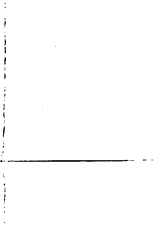
報告書抄録

ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成16年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	(財)京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2005年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 左京二条二坊九 町、二条城北遺跡	京都府京都市中京区 丸太町通油小路西入	26100		35度0分51秒	135度45分19秒	2004.3.15 ～3.23		遊技場・ 立体駐車場
平安京跡 左京八条二坊 十一町	京都府京都市下京区 油小路通塩小路下る 南不動堂町	26100		34度58分59秒	135度45分22秒	2004.1.6 ～1.20		ホテル
平安京跡 右京四条二坊 十四町	京都府京都市右京区 西院西今田町	26100		35度0分8秒	135度44分0秒	2004.9.13 ～9.17		マンション
平安京跡 右京五条一坊 六	京都府京都市中京区 壬生高樋町～壬生松 原町	26100		34度59分52秒	135度44分32秒	2004.1.13 ～4.20		水道工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平安京跡 左京二条二坊九 町、二条城北遺跡	都城	平安	池		土器類			
平安京跡 左京八条二坊 十一町	都城	鎌倉～室町	井戸・土塋・落込		土器類・瓦類・木製品			
平安京跡 右京四条二坊 十四町	都城	平安	池・溝・ピット		土器類・瓦類			
平安京跡 右京五条一坊 六	都城	平安	溝		土器類			

報告書抄録

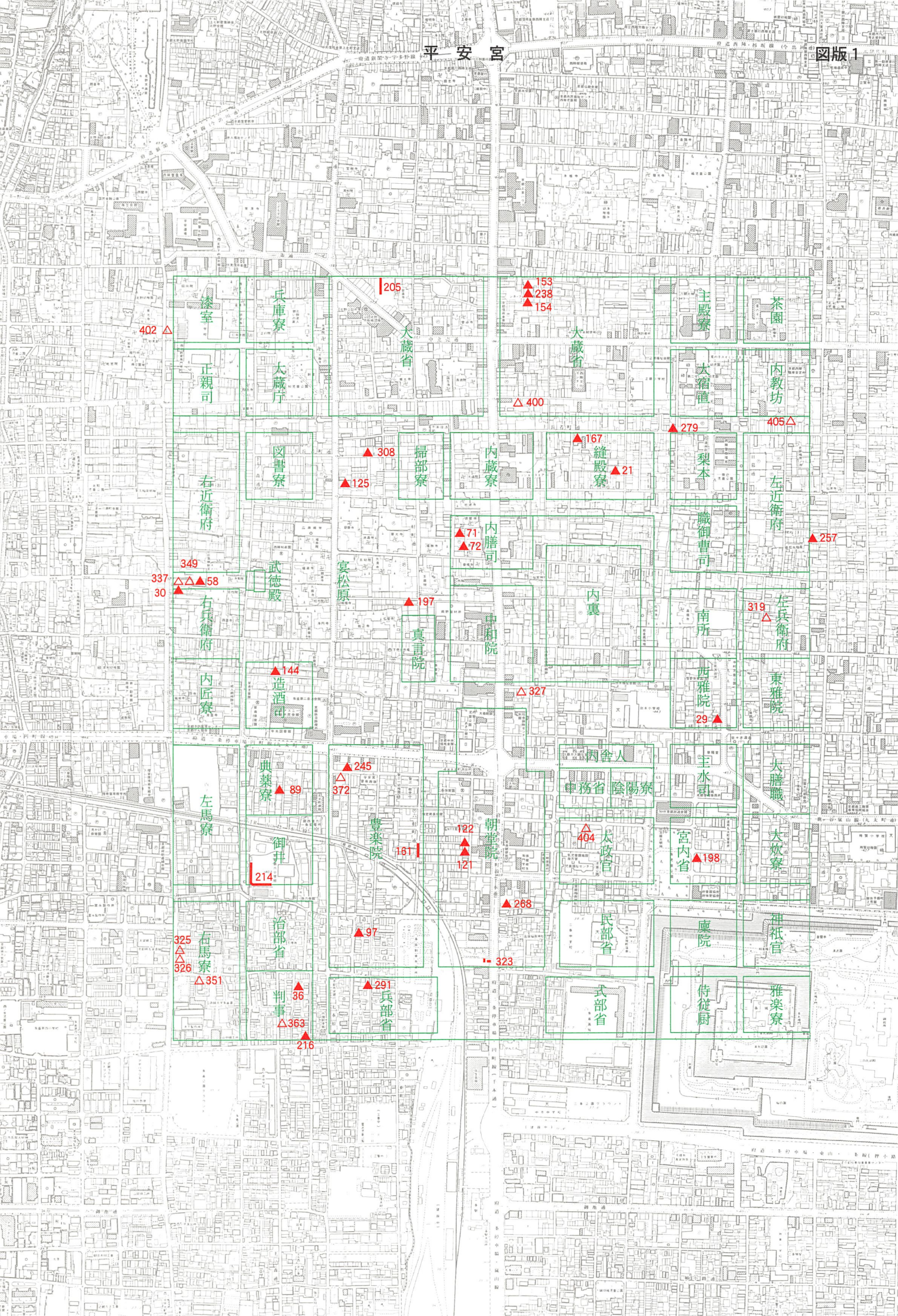
ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成16年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	(財)京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2005年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
大宅遺跡、 大宅廃寺	京都府京都市山科区 大宅鳥井脇町～大宅 山田町	26100		34度57分51秒	135度49分27秒	2003.10.27 ～2004.1.26		水道工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大宅遺跡、 大宅廃寺	寺院	白鳳	瓦積み基壇・溝		瓦類			

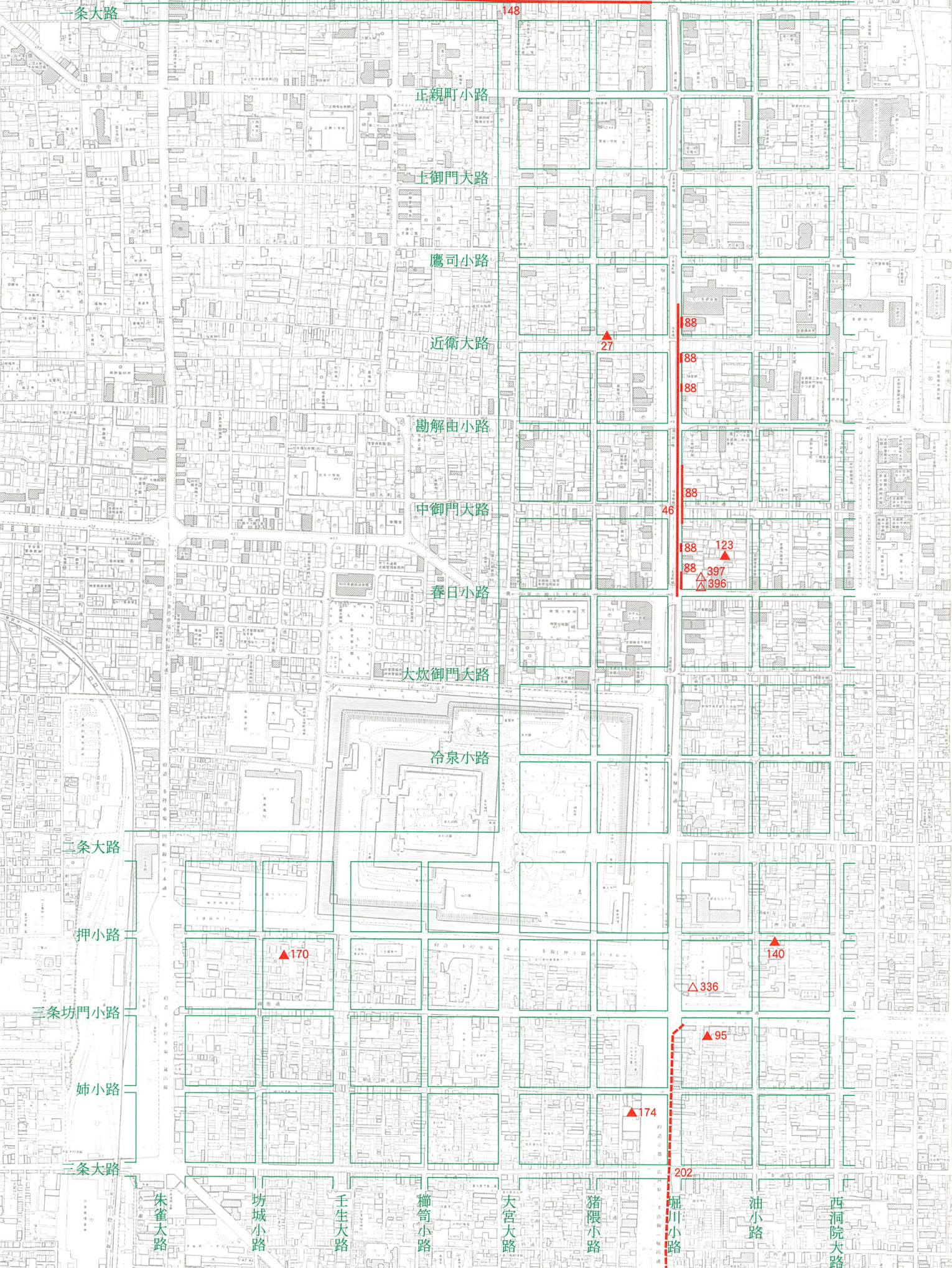
版 图

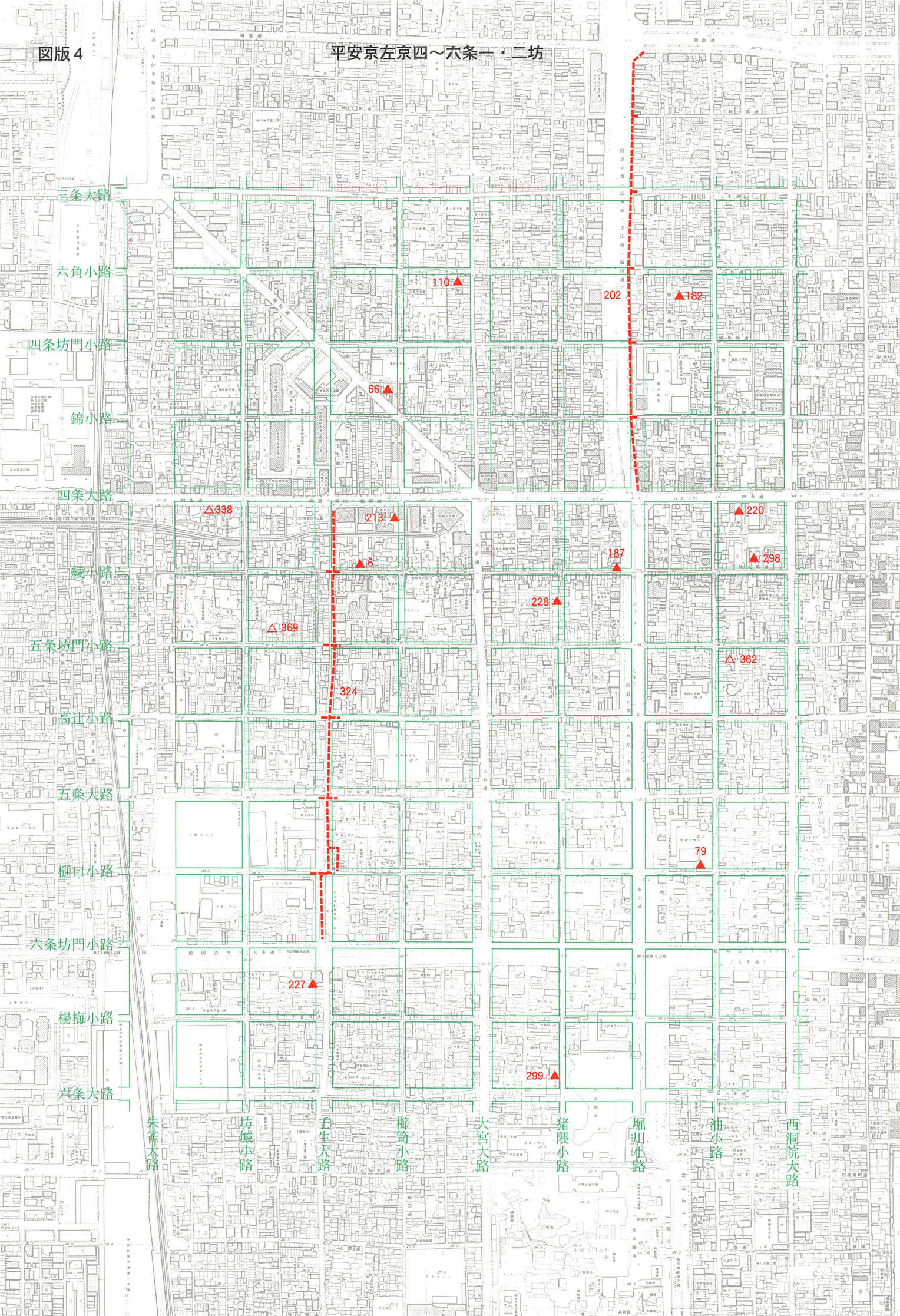


凡 例

- △ — — 2004年1～3月期（平成15年度）立会調査地点
▲ ——— 2004年4～12月期（平成16年度）立会調査地点







朱雀大路

坊城小路

壬生大路

櫛笥小路

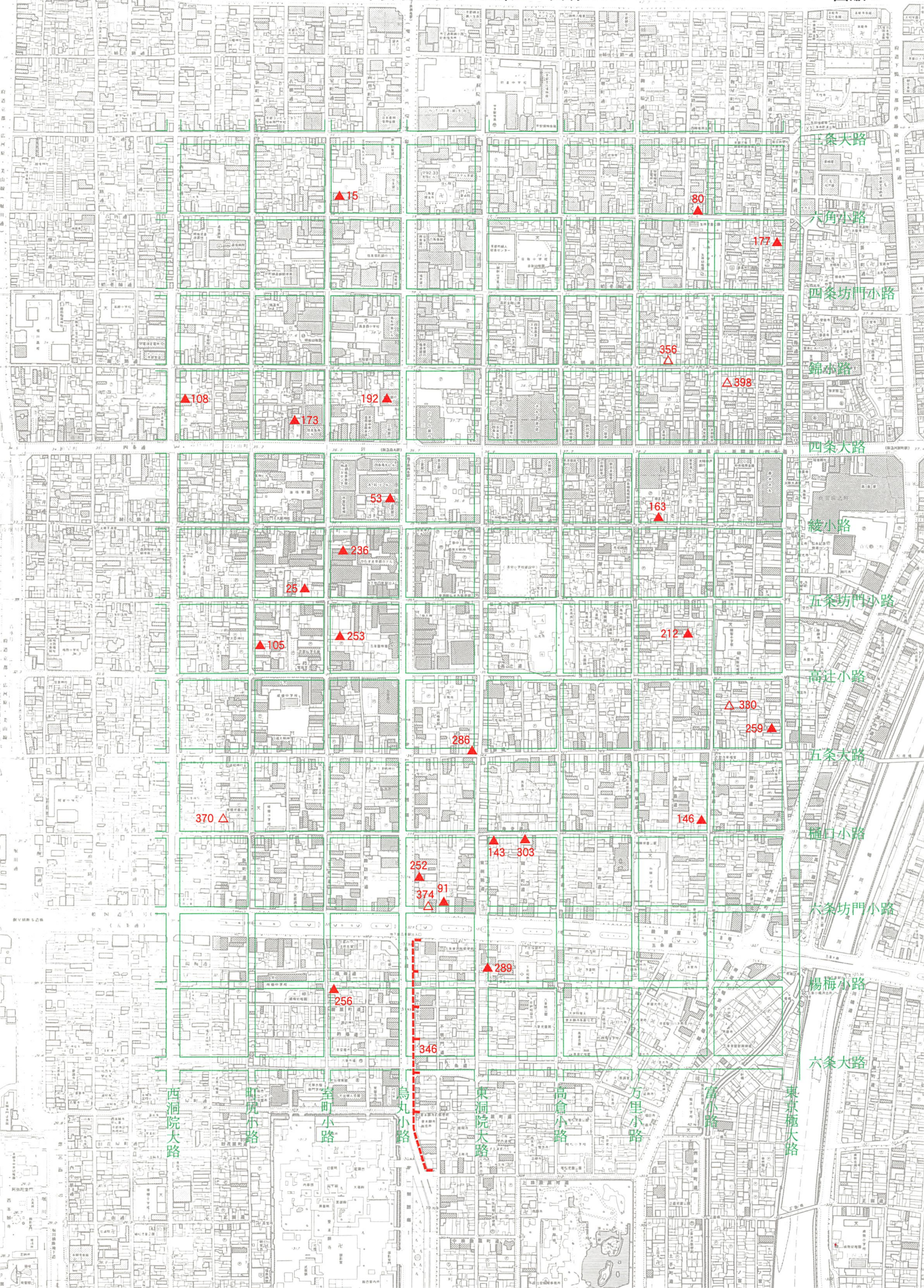
大宮大路

猪隈小路

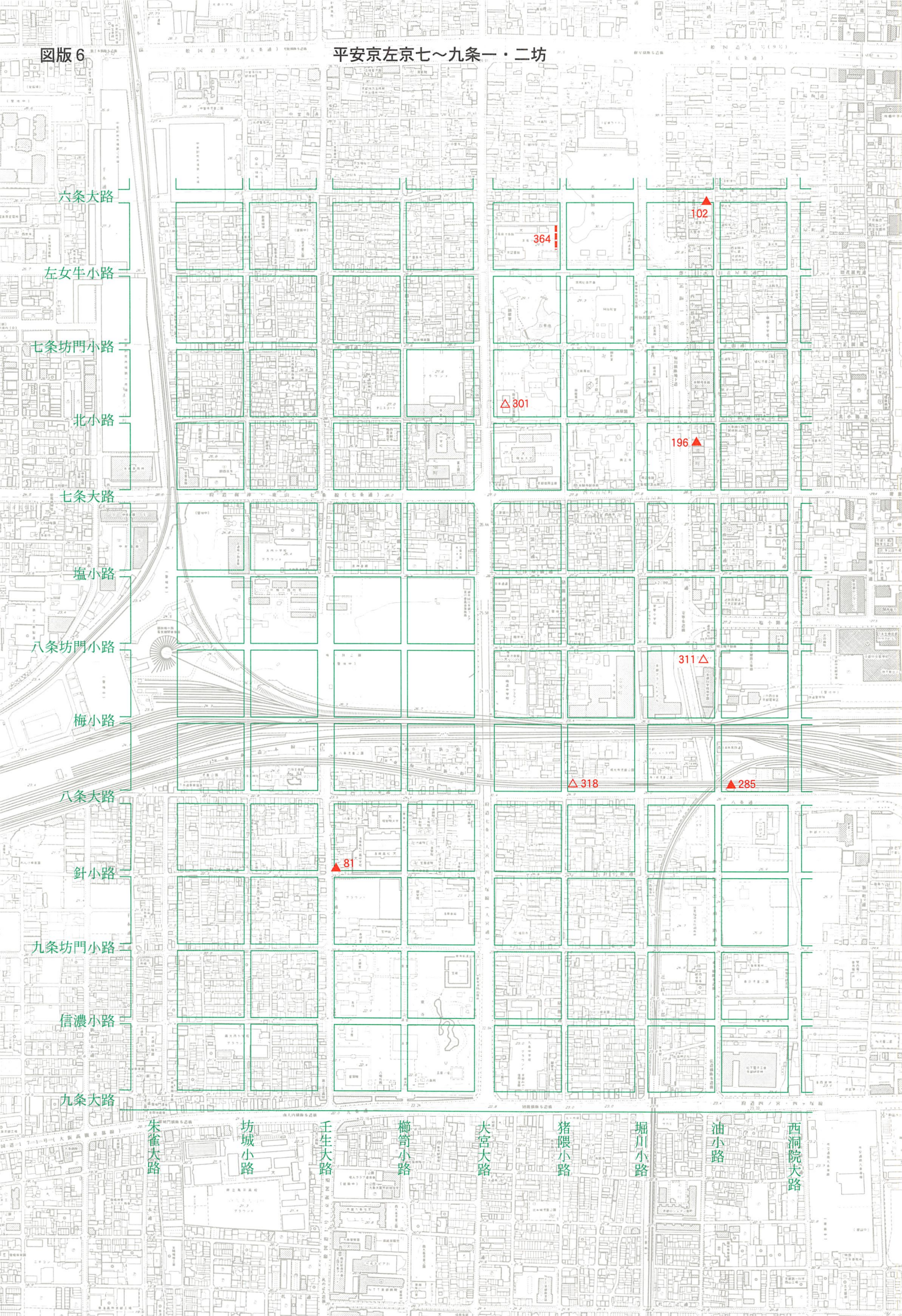
堀川小路

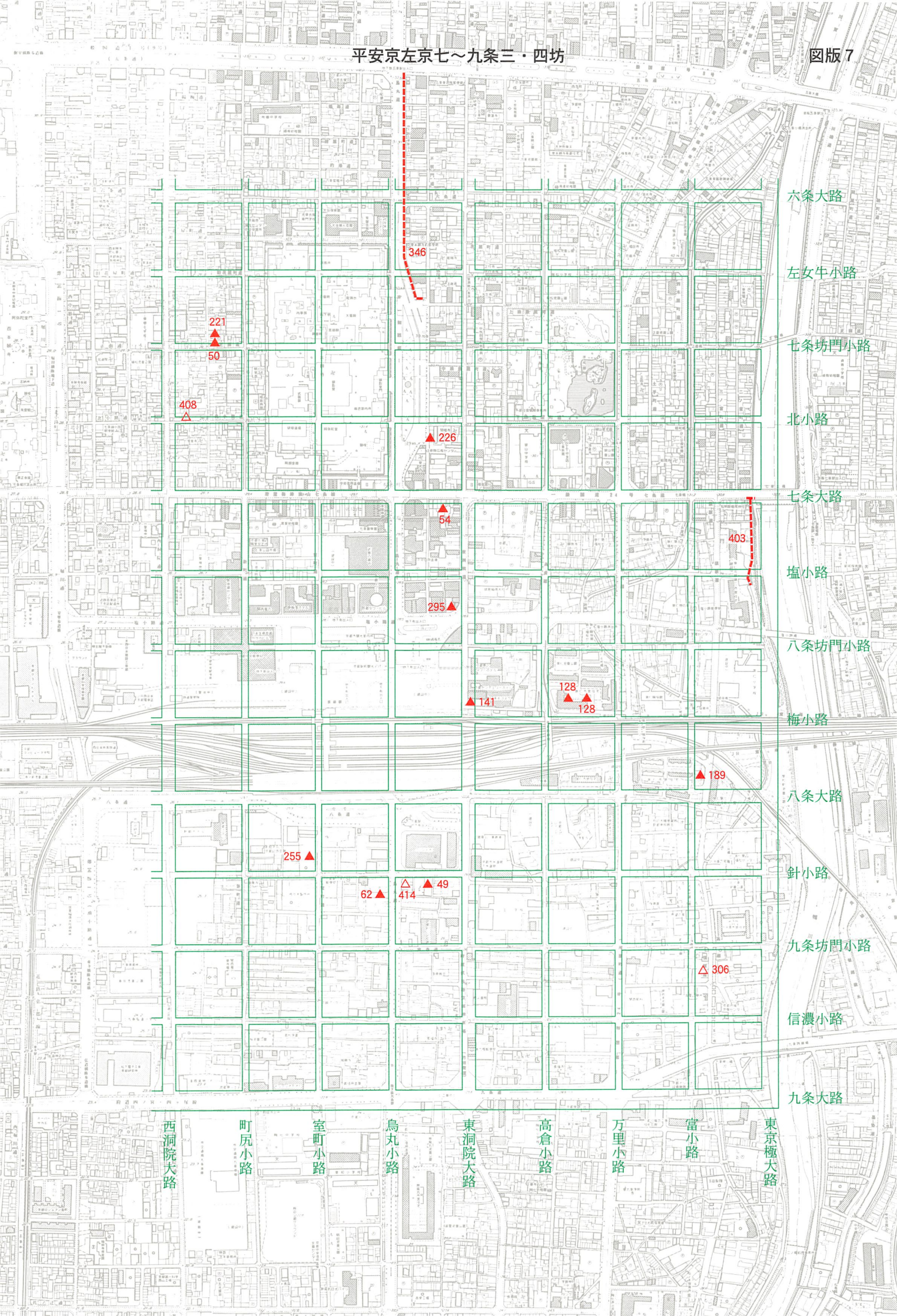
油小路

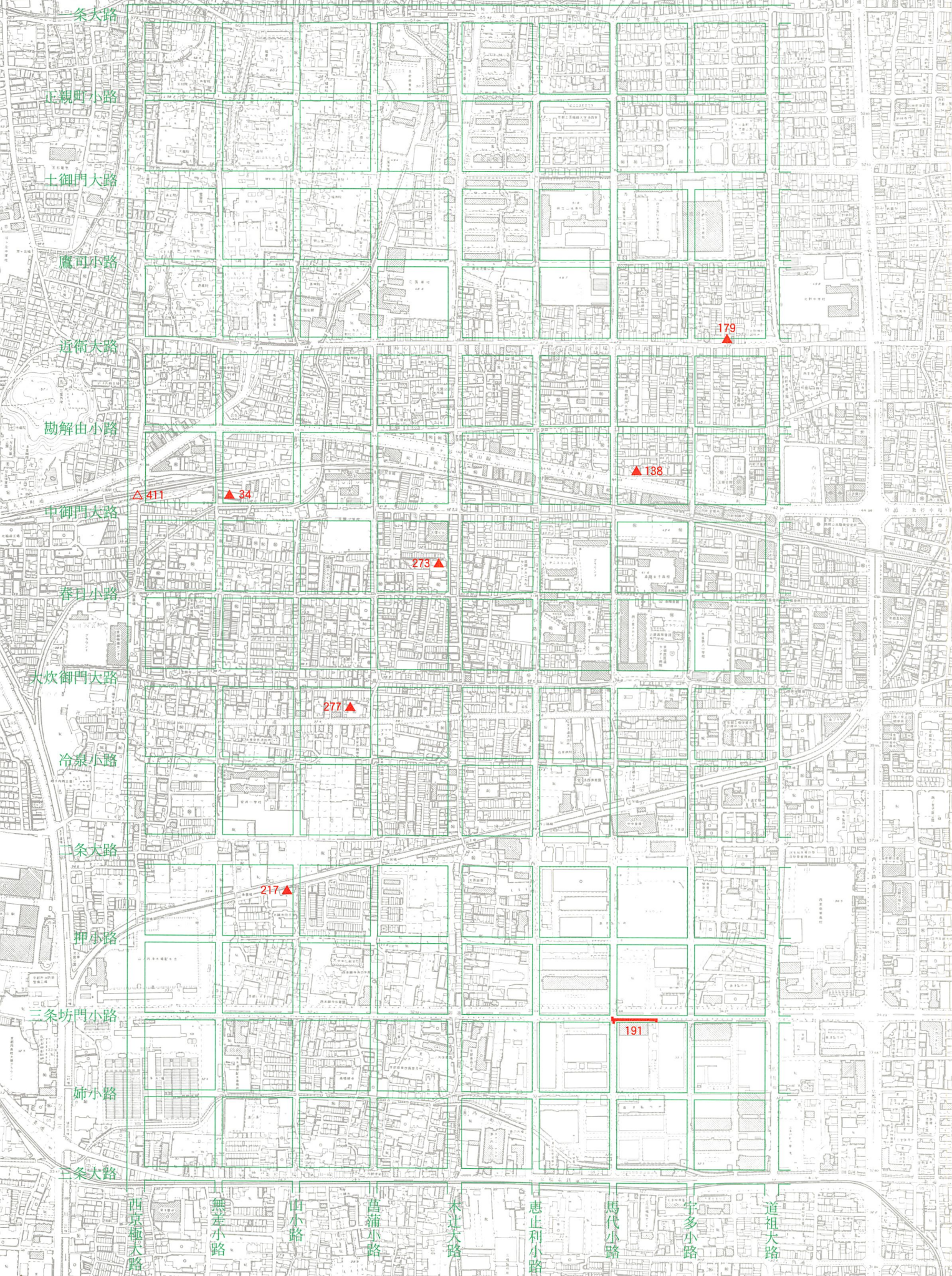
西洞院大路

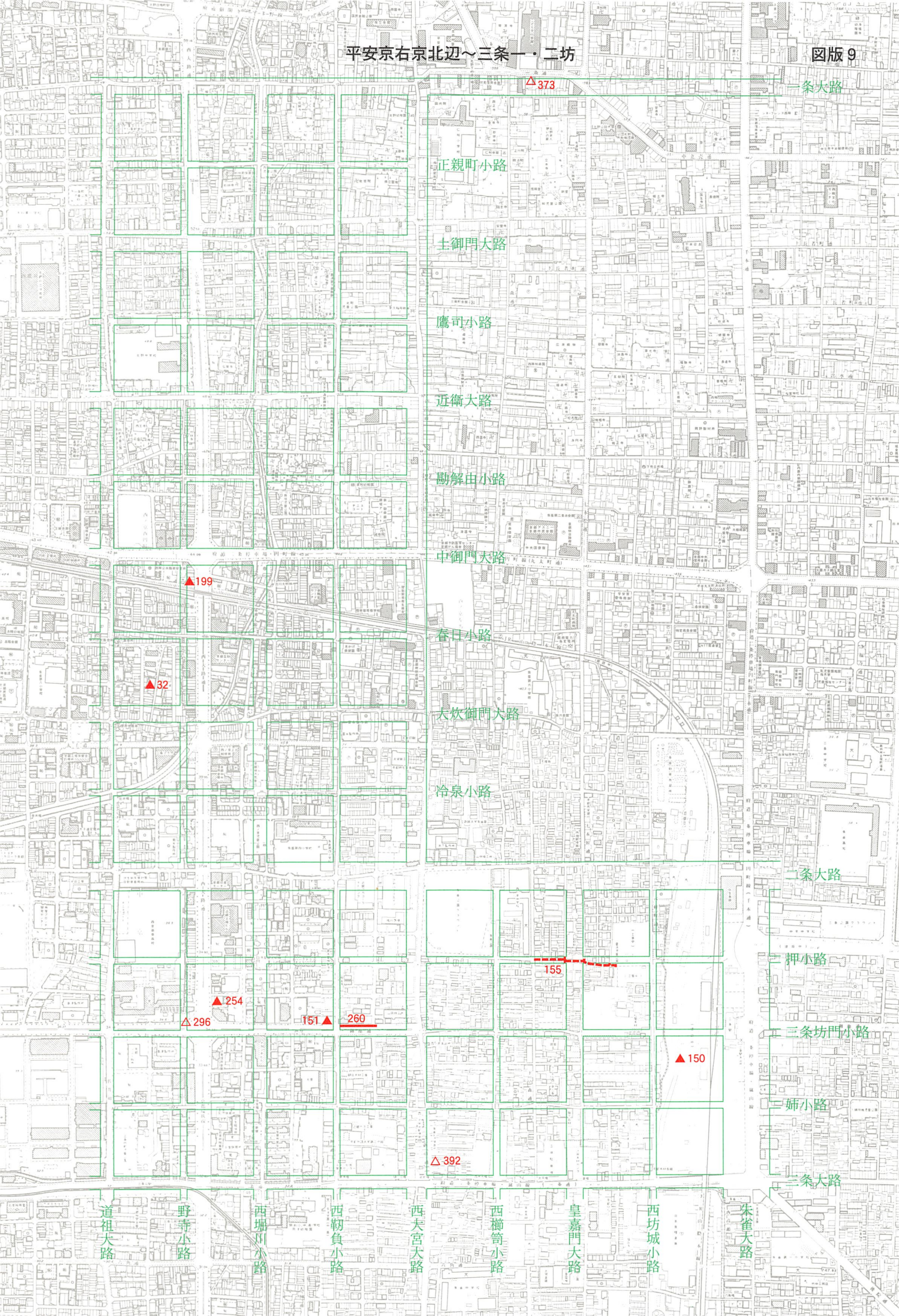


平安京左京七~九条一・二坊









一条大路

正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

二条大路

三押小路

三条坊門小路

三姉小路

三条大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

西大宮大路

西櫛笥小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路

▲199

▲32

▲254

▲296

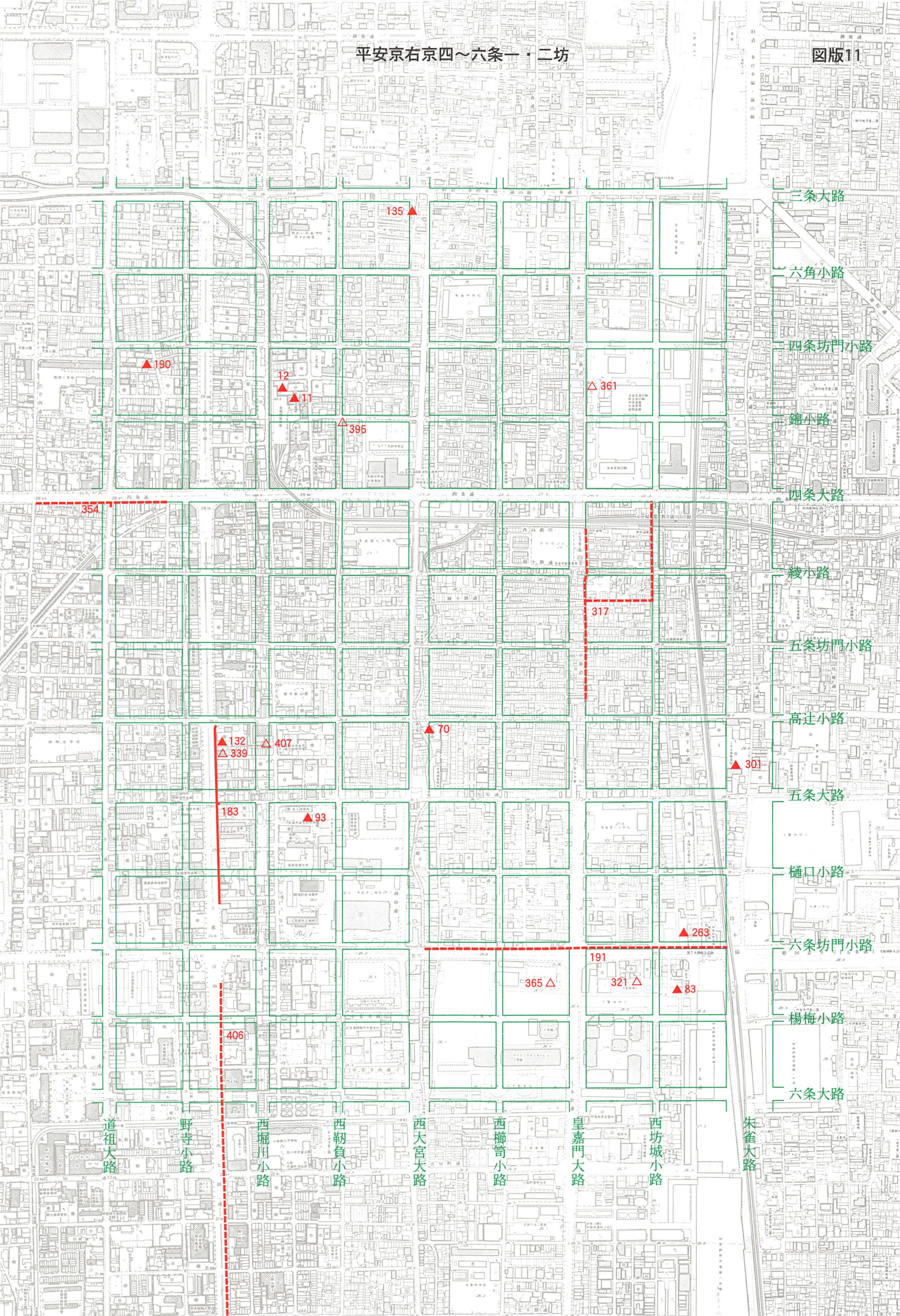
▲151

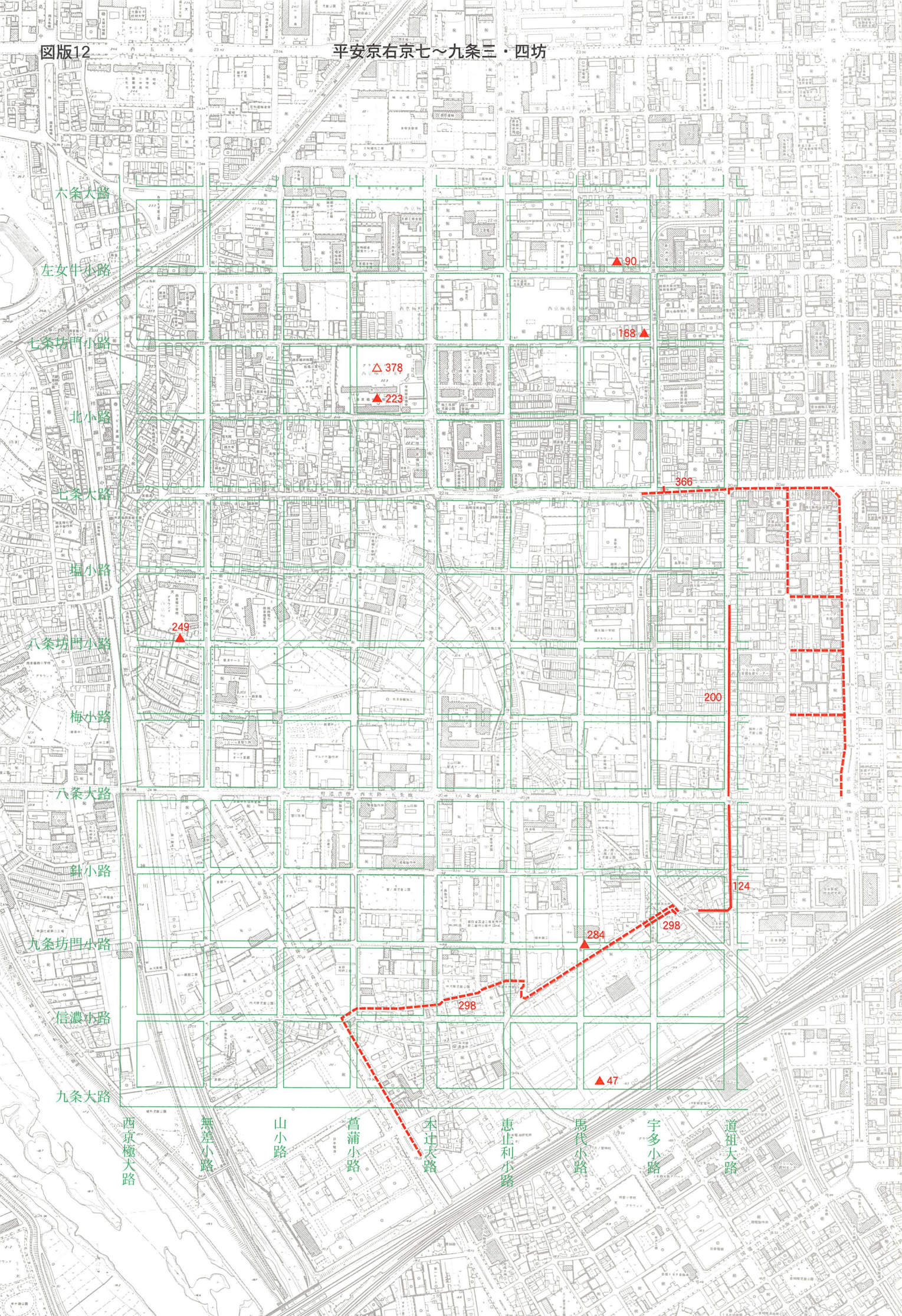
▲260

▲155

▲150

▲392





六条大路

左女中小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

堀小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西京極大路

無差小路

山小路

菖蒲小路

本辻大路

恵止利小路

馬代小路

宇多小路

道祖大路

▲90

▲168

△378

▲223

366

▲249

200

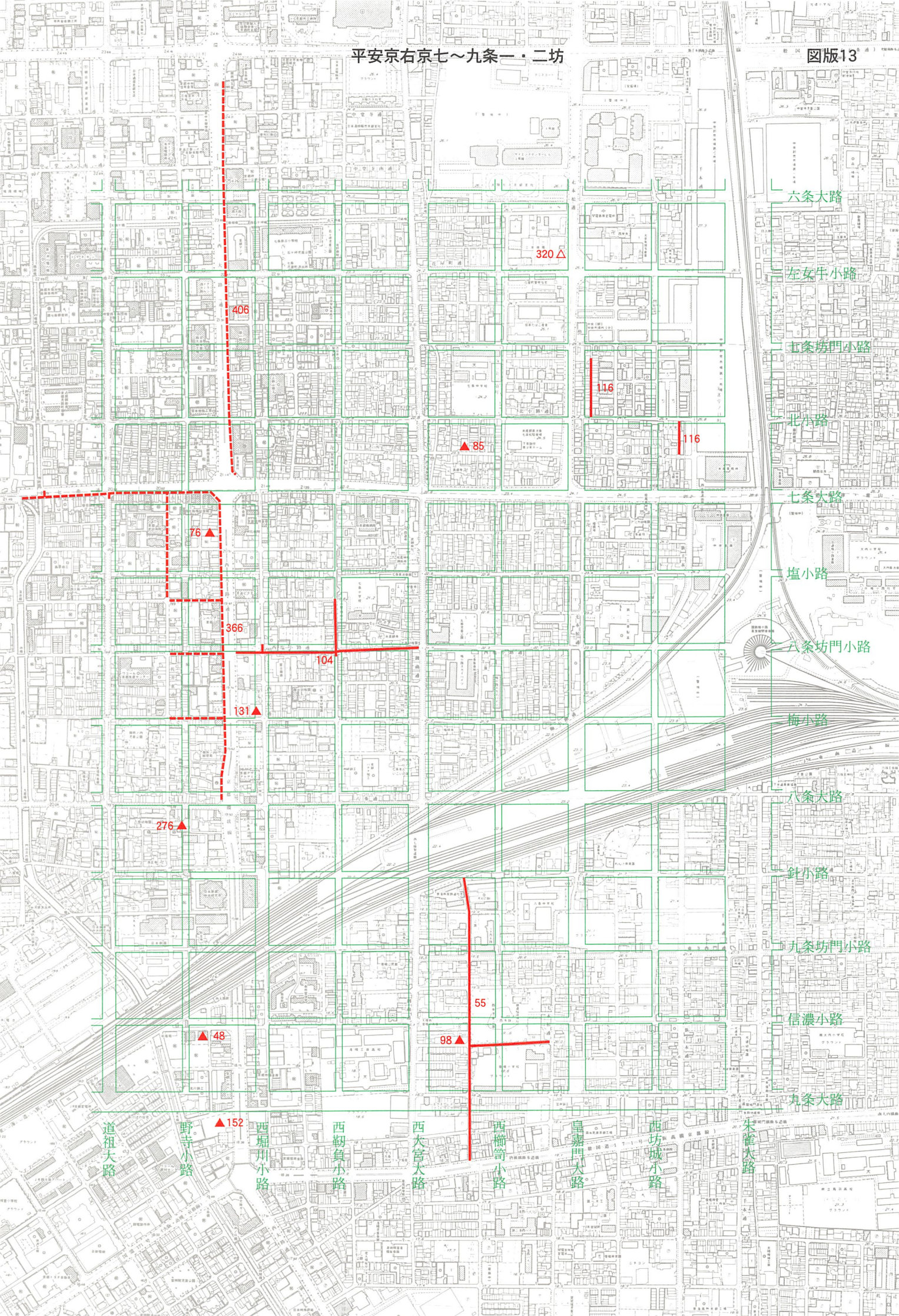
124

▲284

▲298

▲298

▲47



六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

西大宮大路

西櫛笥小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路

▲152

406

▲76

366

▲131

104

▲276

▲48

55

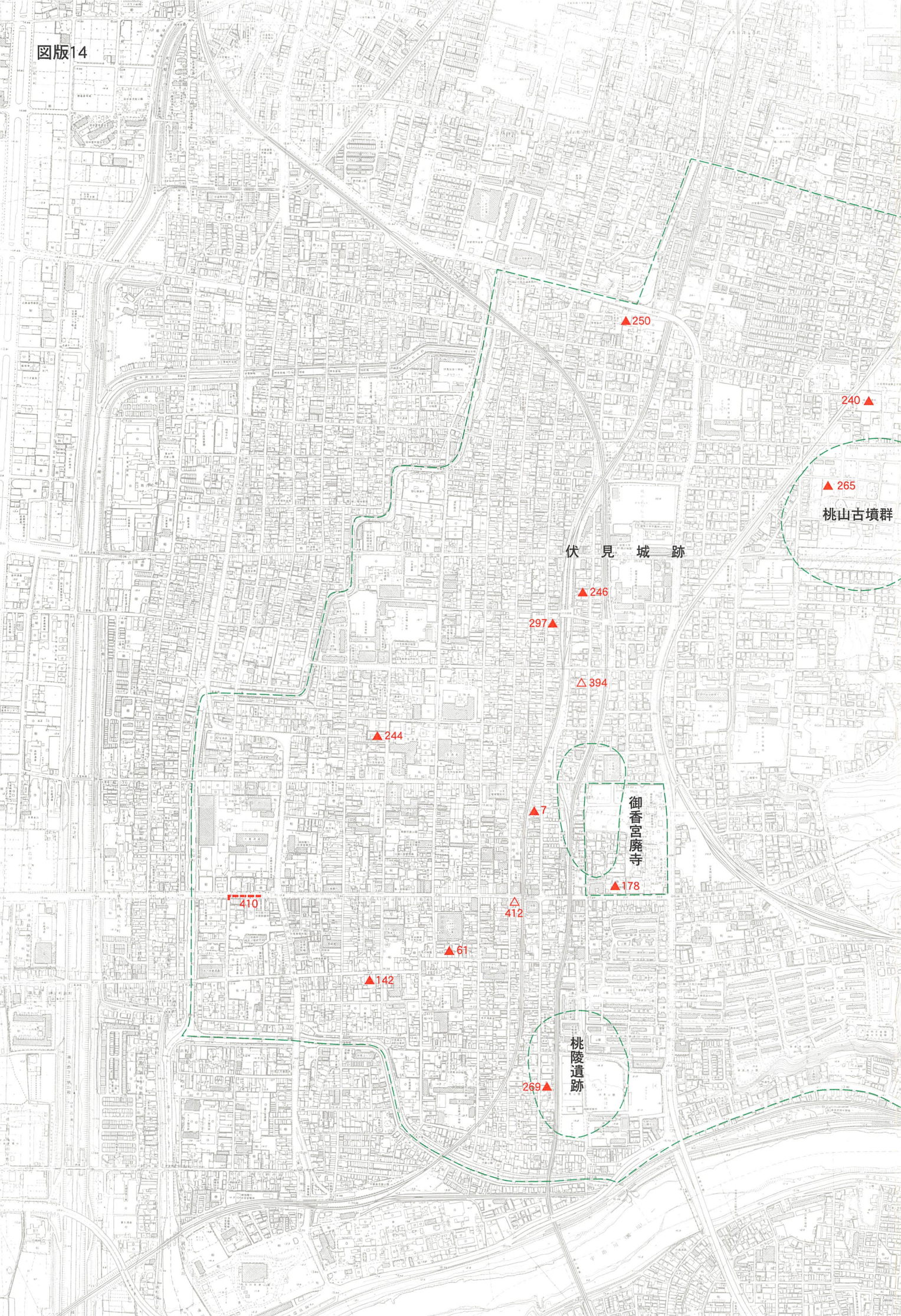
▲98

320 ▲

▲85

116

116



▲250

▲240

▲265

桃山古墳群

伏見城跡

▲246

▲297

△394

▲244

▲7

▲178

御香宮廃寺

▲410

△412

▲61

▲142

桃陵遺跡

▲269



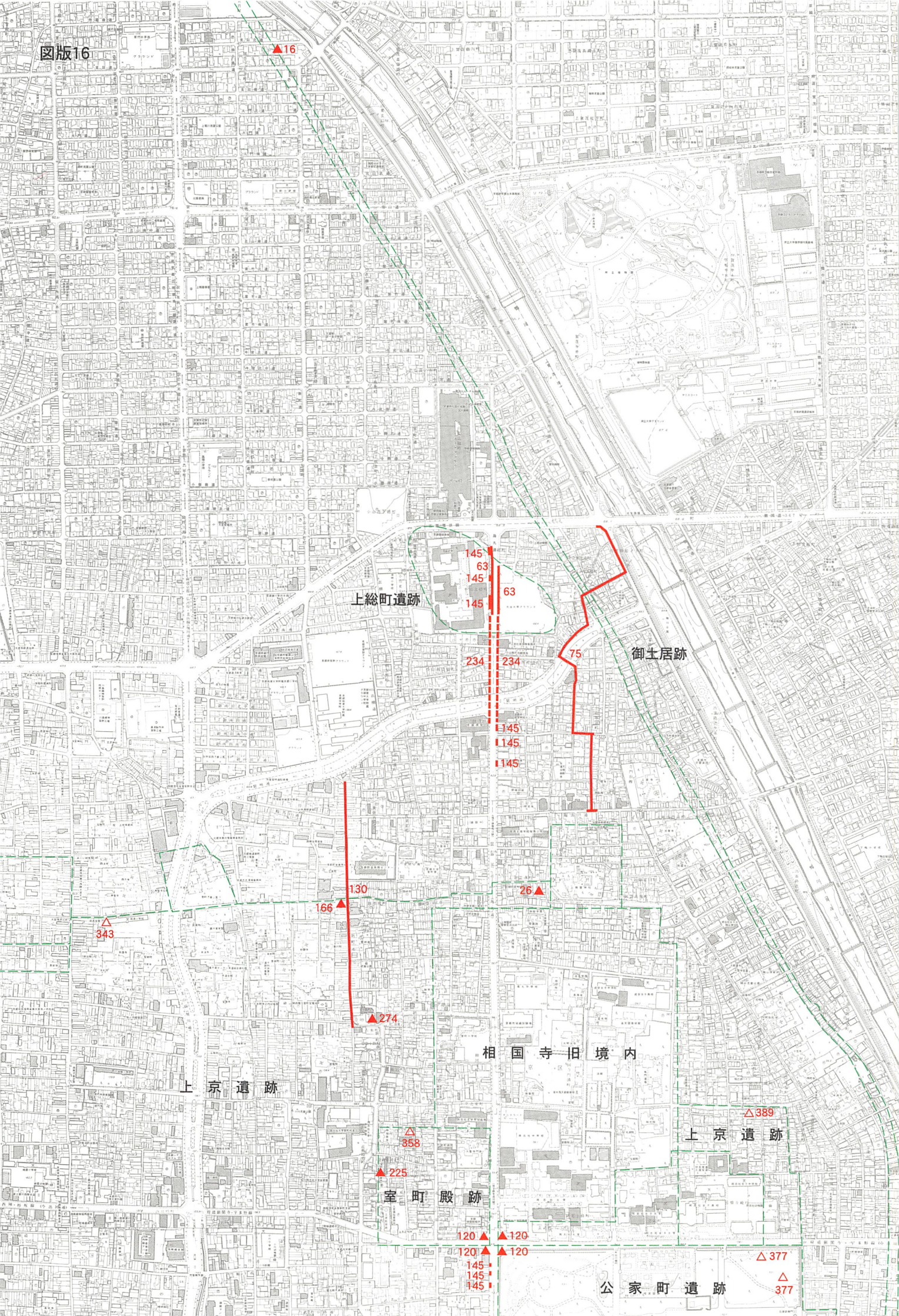
伏見城跡

▲ 237
▲ 316

▲ 288

▲ 210

▲ 376
▲ 376
▲



▲16

上総町遺跡

御土居跡

145
63
145
145

63

234

234

75

145

145

145

130

▲26

▲166

▲343

▲274

相国寺旧境内

上京遺跡

▲389

上京遺跡

▲358

▲225

室町殿跡

▲120

▲120

▲120

145

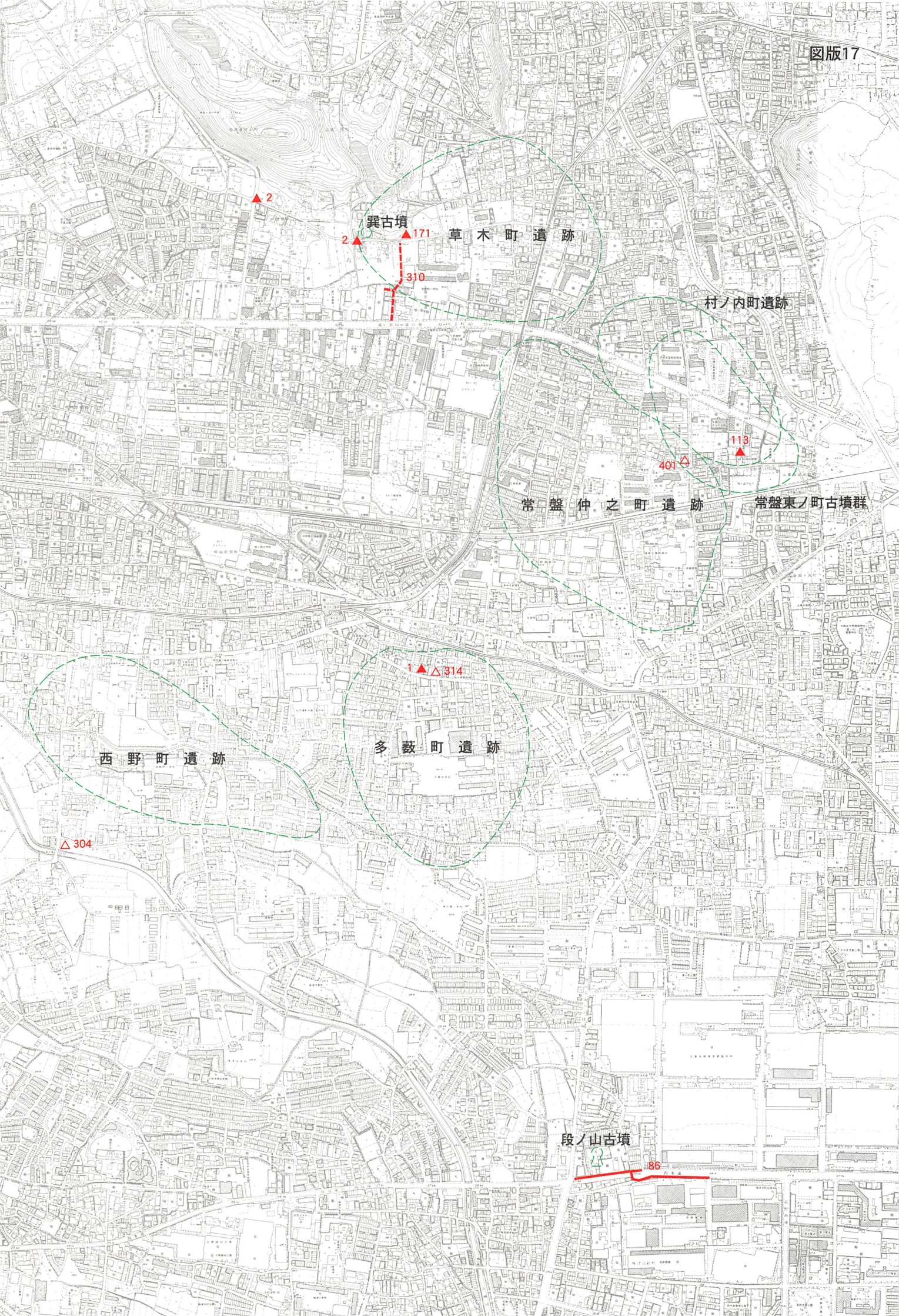
145

145

▲377

公家町遺跡

▲377



巽古墳

草木町遺跡

村ノ内町遺跡

常盤仲之町遺跡

常盤東ノ町古墳群

多藪町遺跡

西野町遺跡

段ノ山古墳

▲ 2

▲ 2

▲ 171

▲ 310

▲ 113

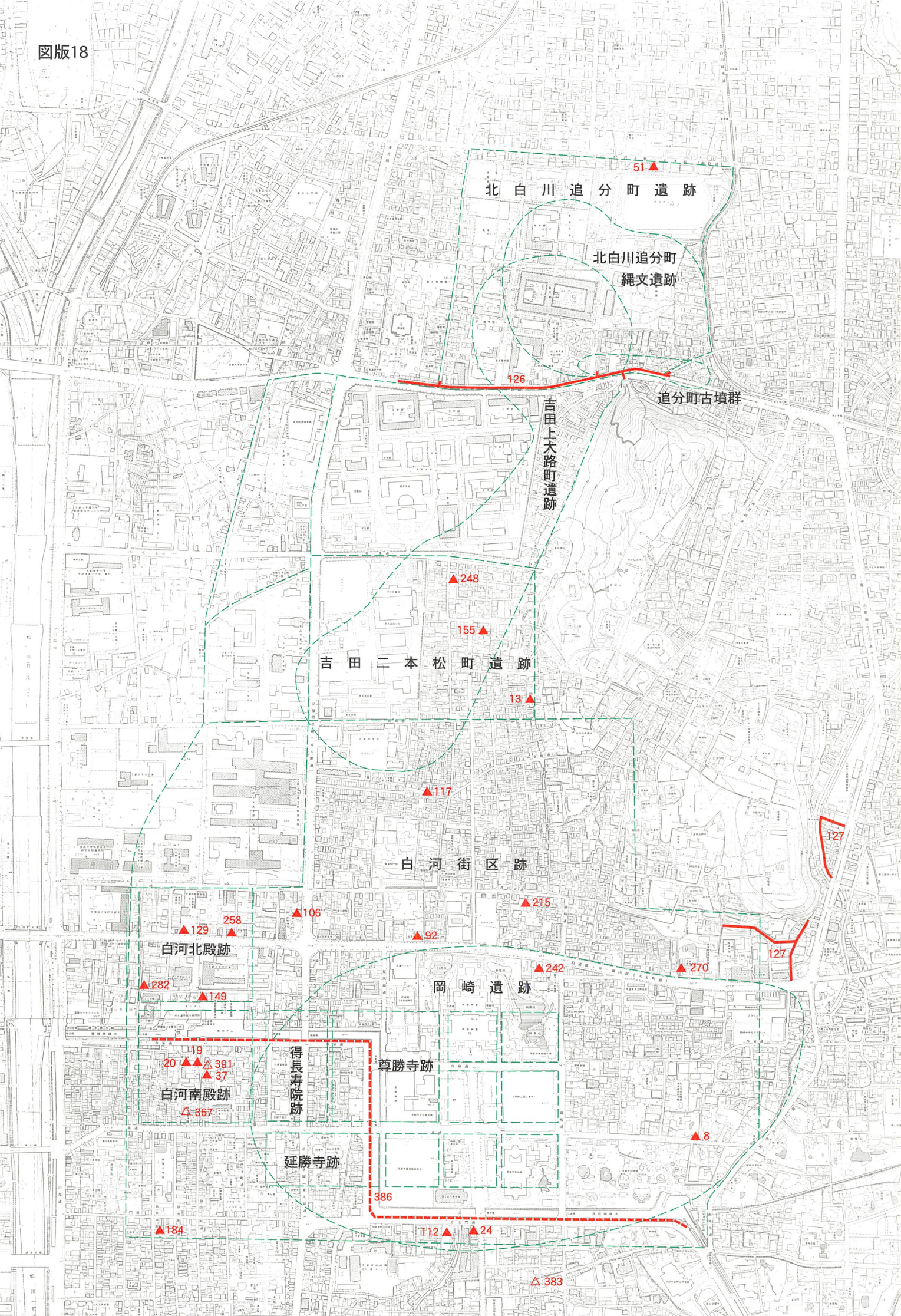
△ 401

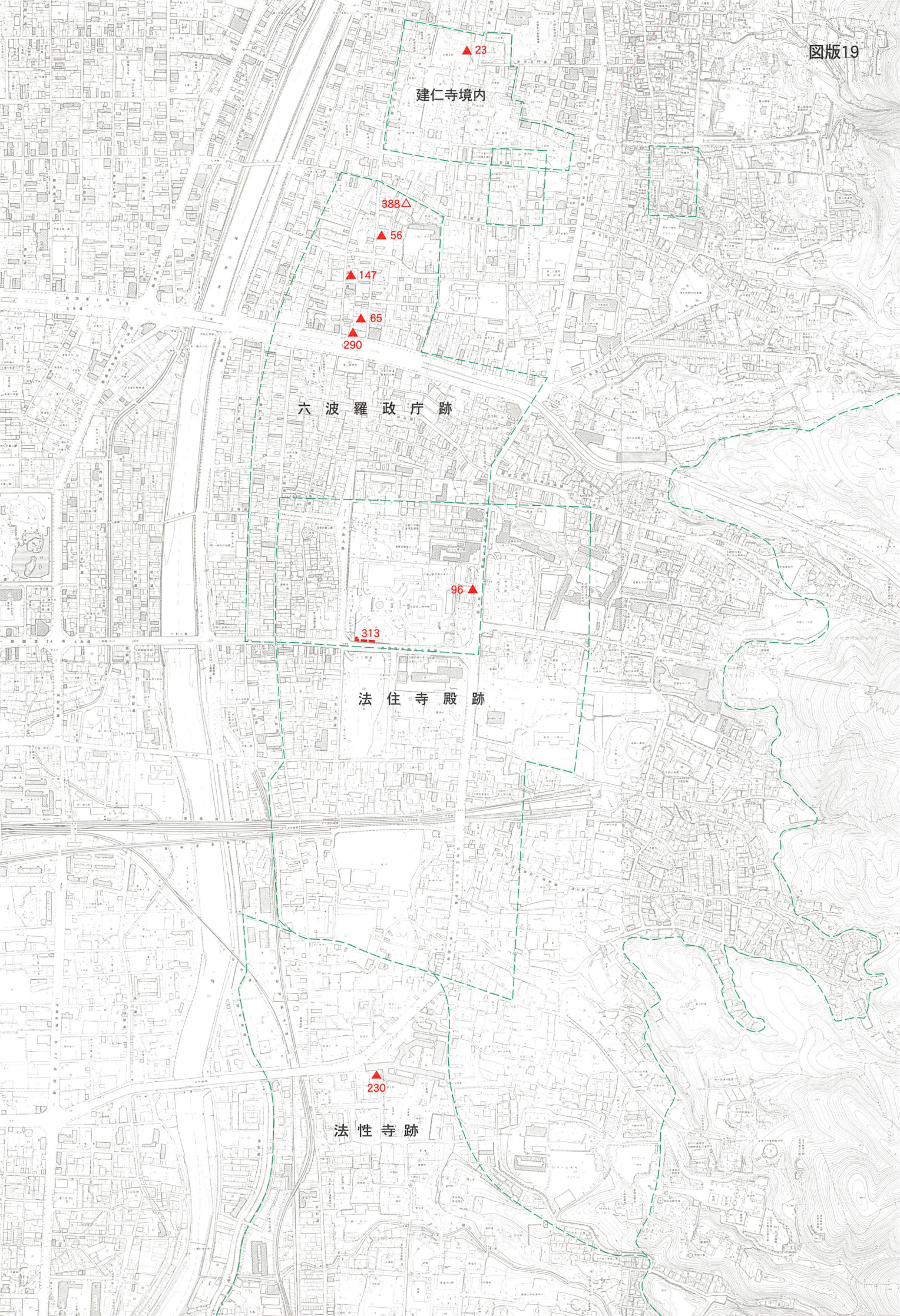
▲ 1

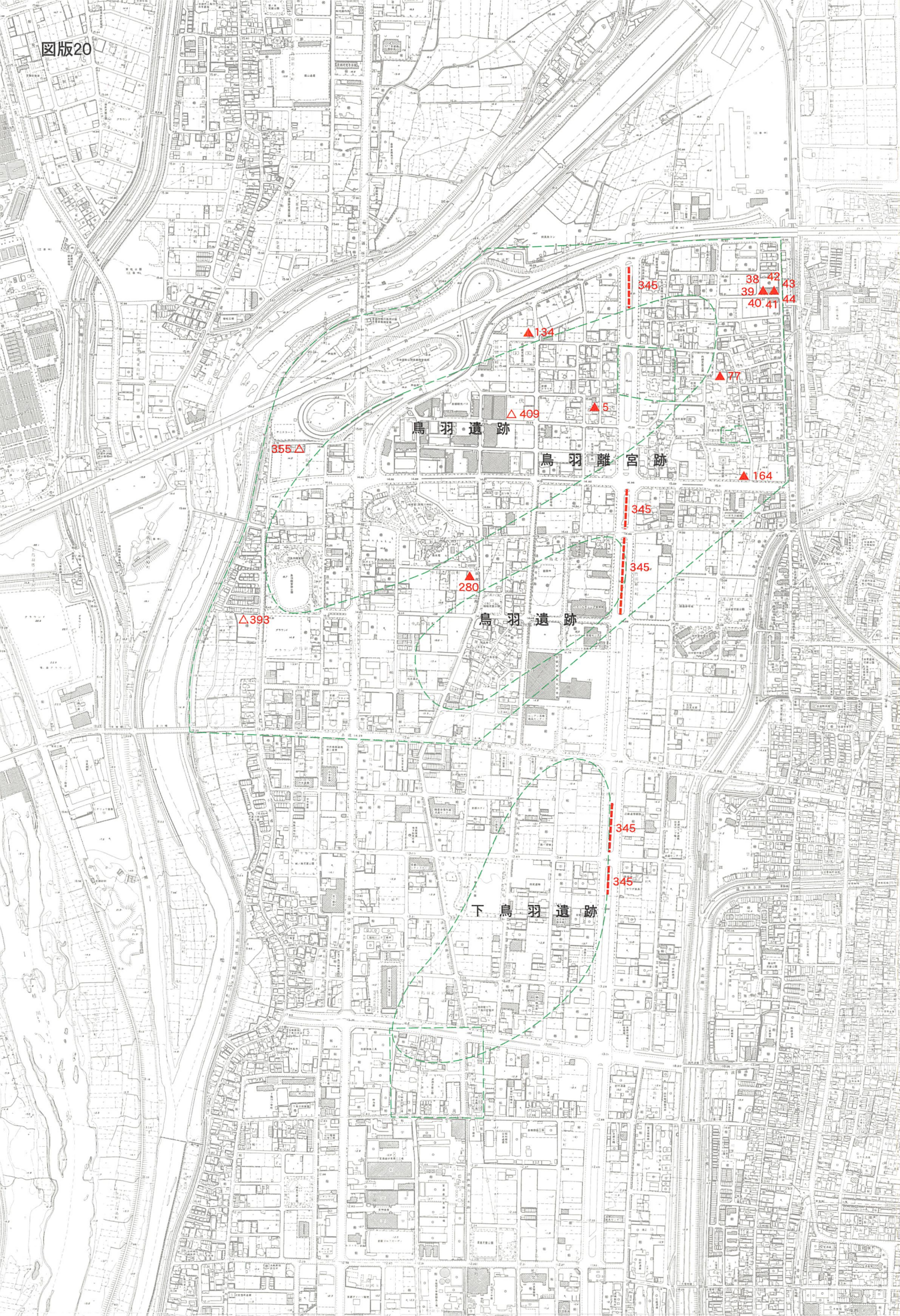
△ 314

△ 304

86







鳥羽遺跡

鳥羽離宮跡

鳥羽遺跡

下鳥羽遺跡

355△

△409

▲134

▲5

▲77

▲164

▲280

△393

345

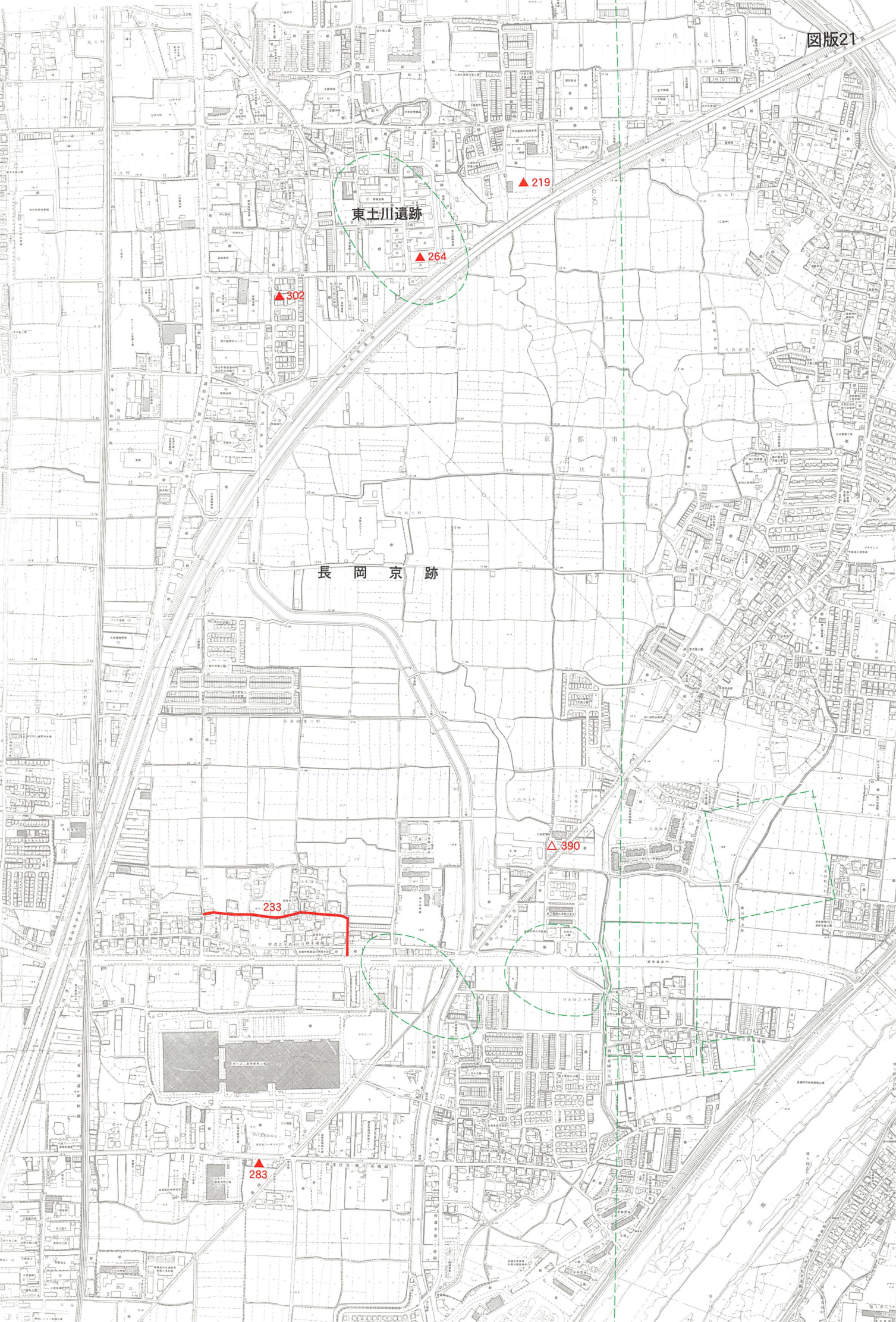
345

345

345

345

38-42
39▲
40▲
41▲
44



東土川遺跡

長岡京跡

▲ 219

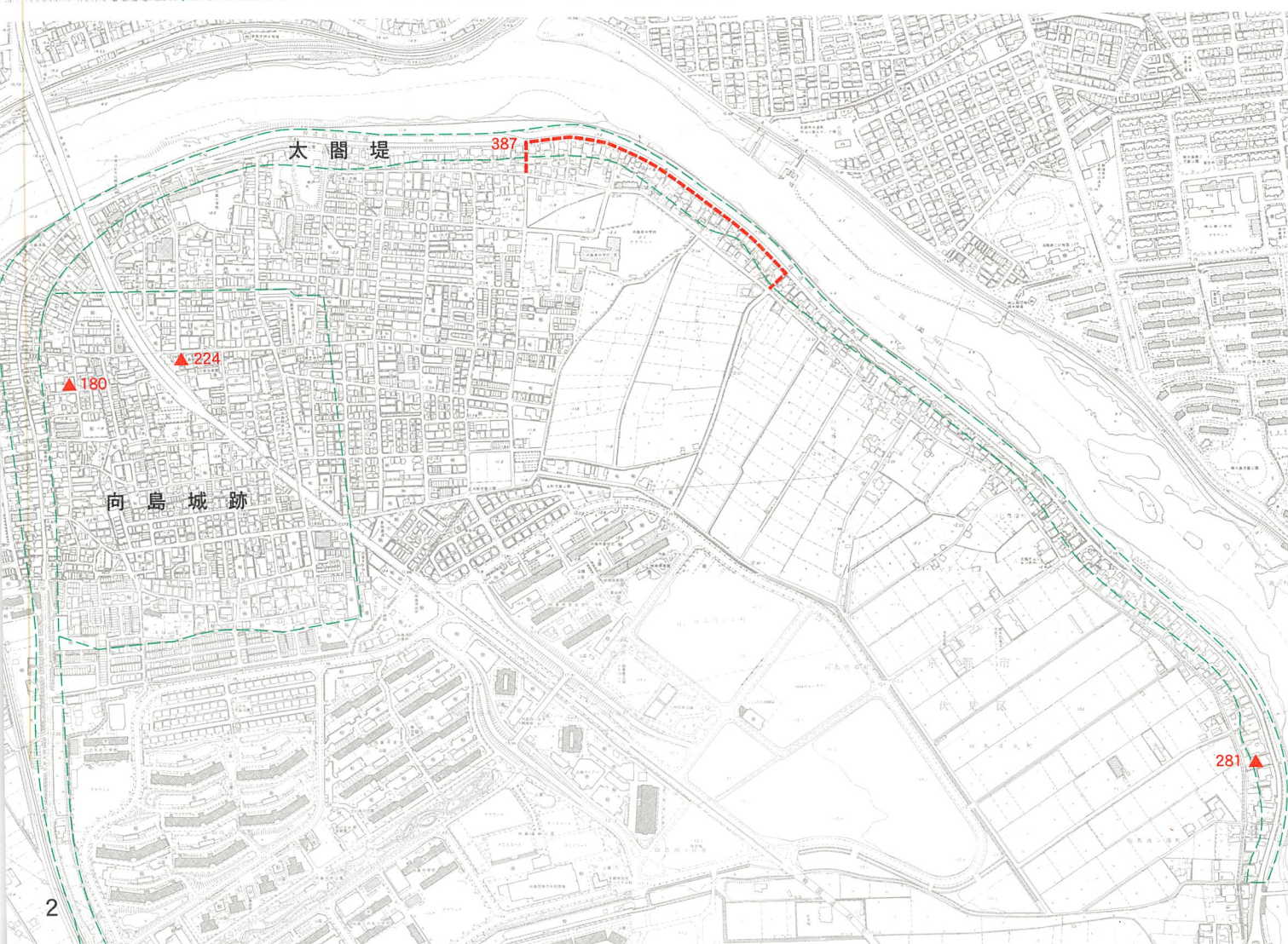
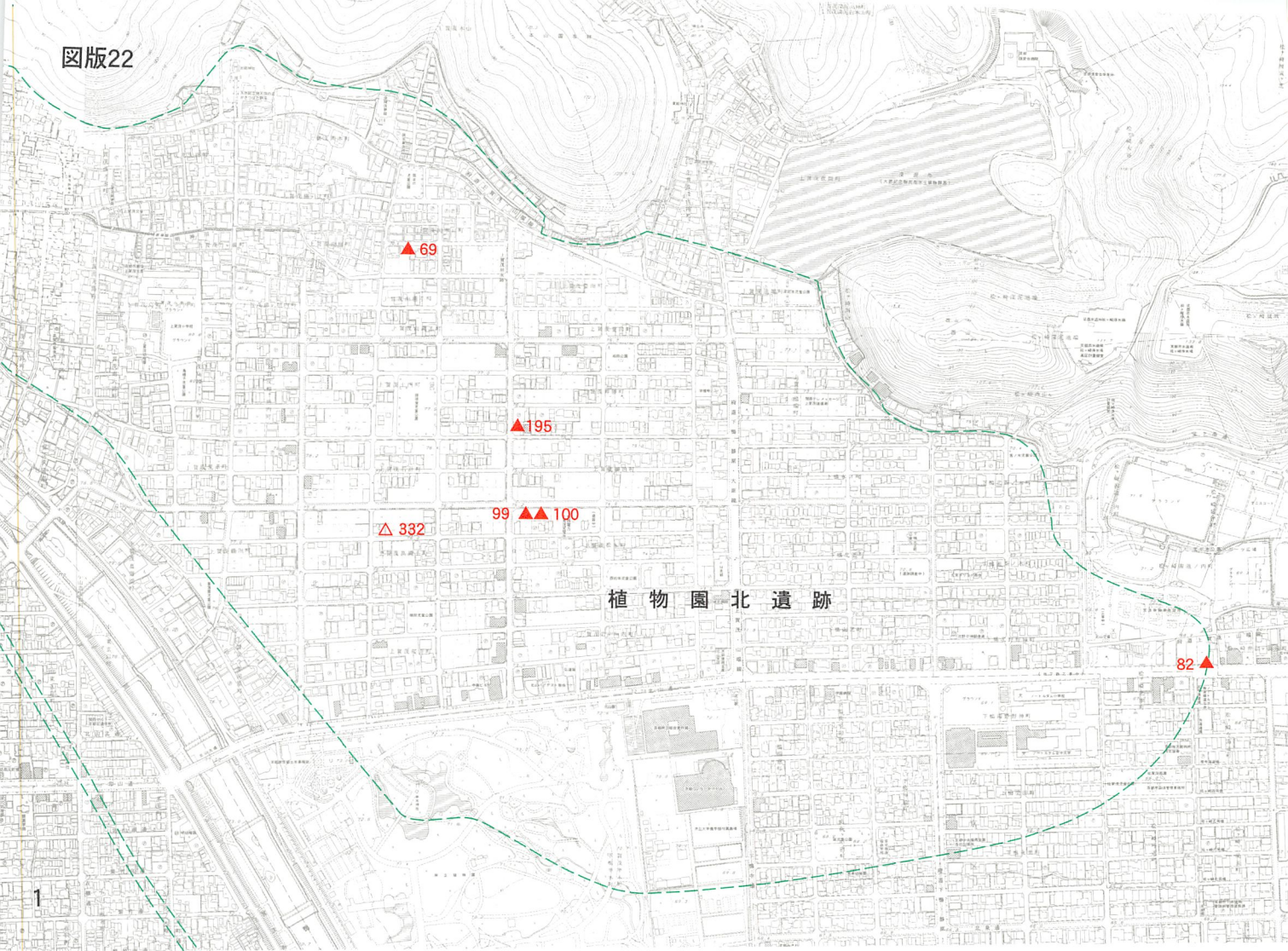
▲ 264

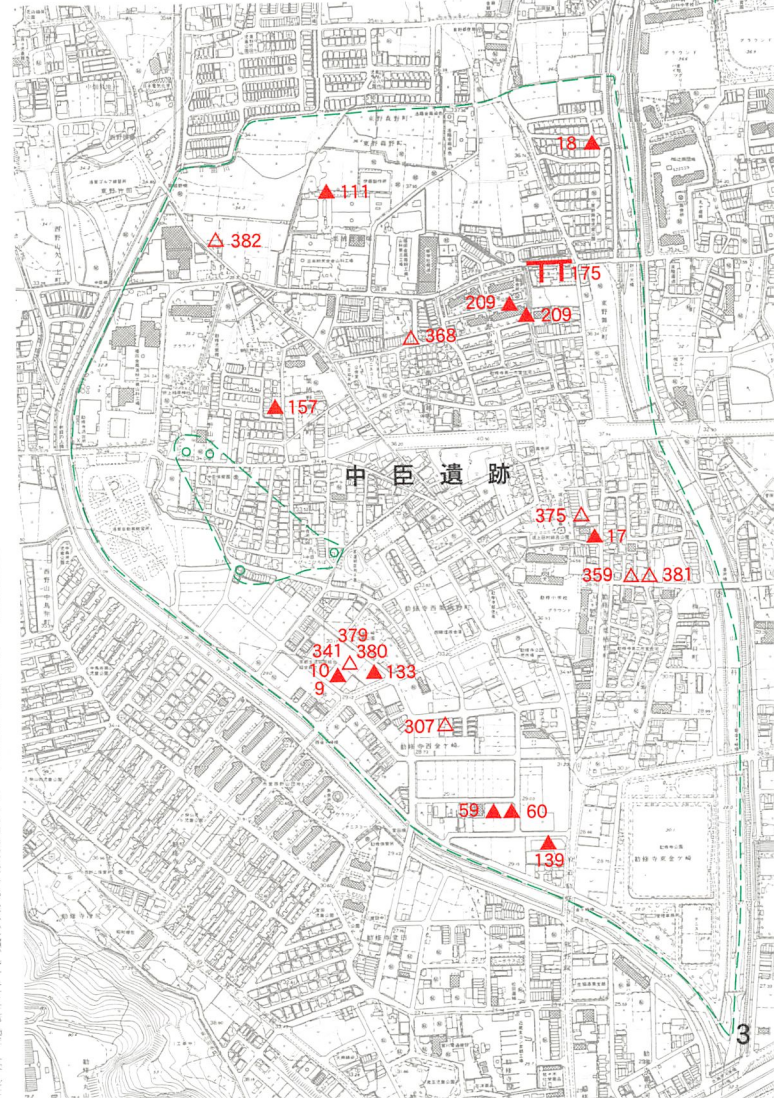
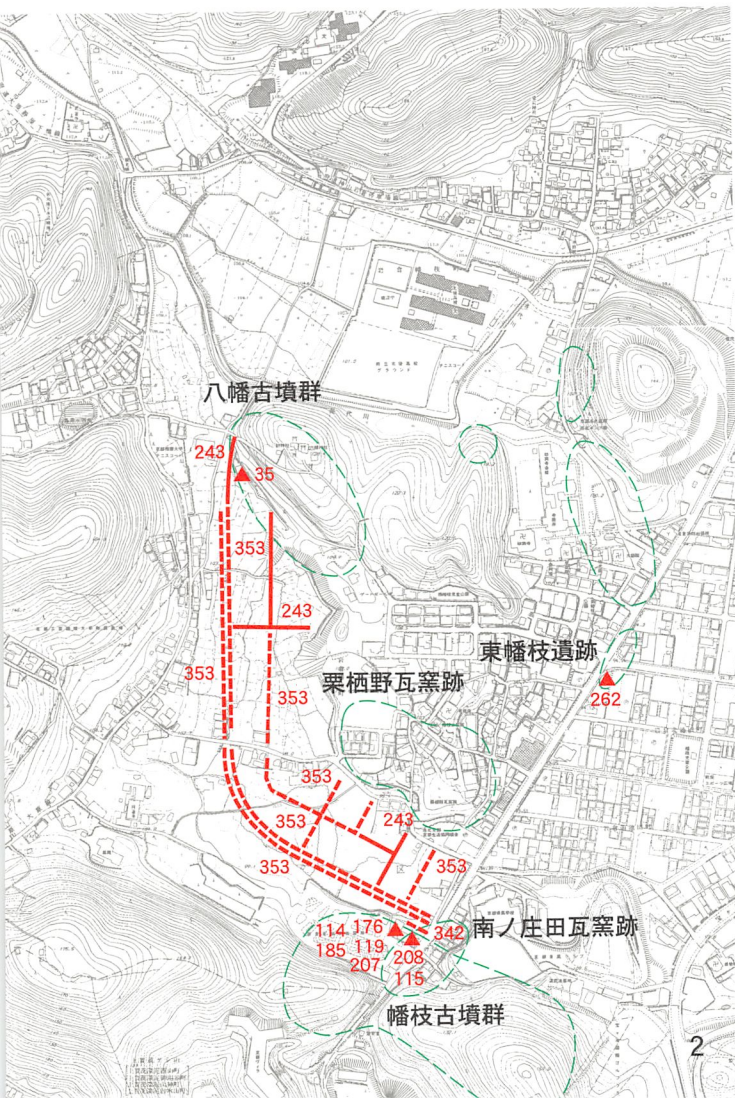
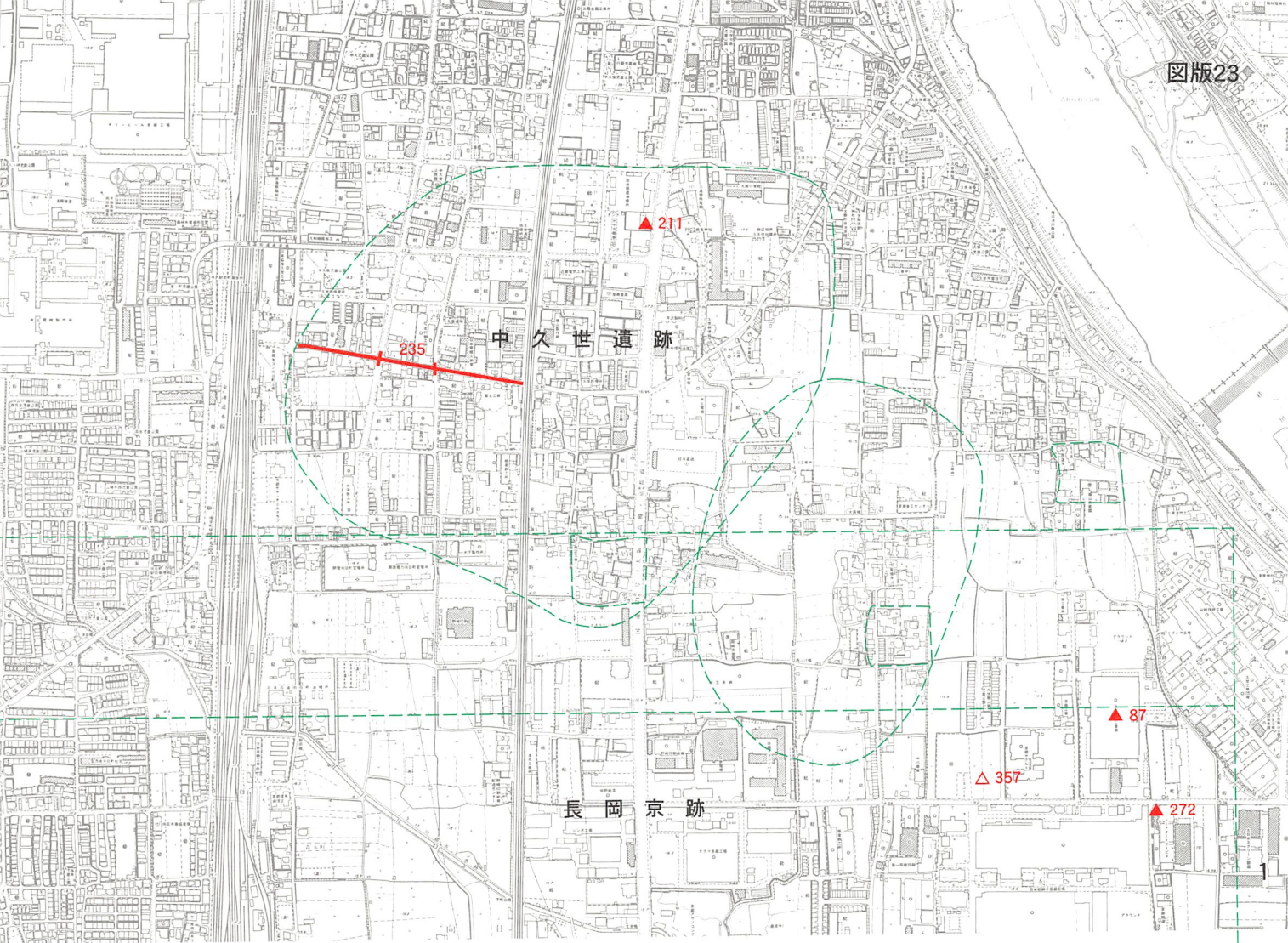
▲ 302

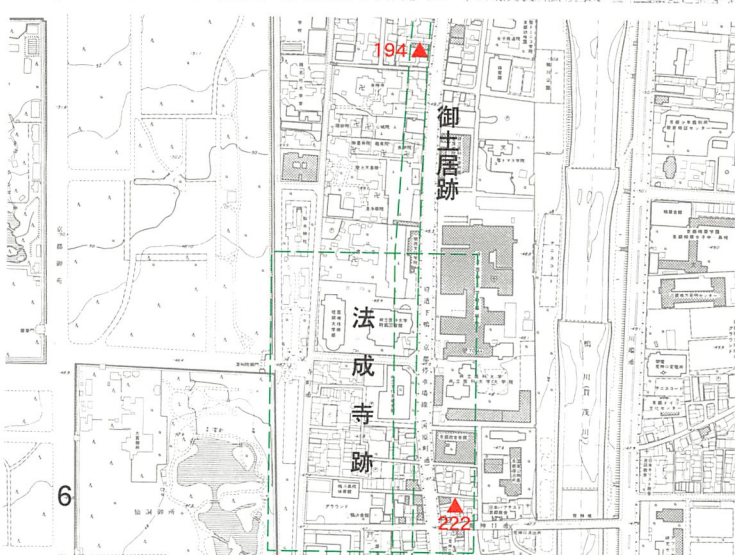
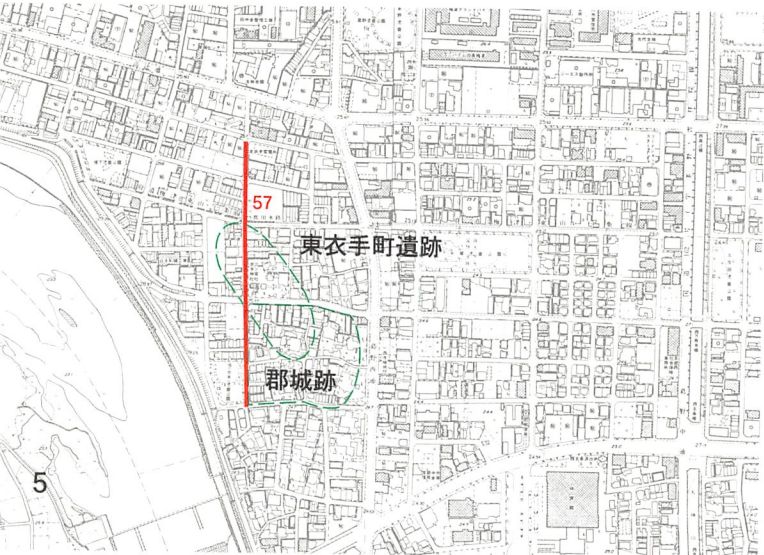
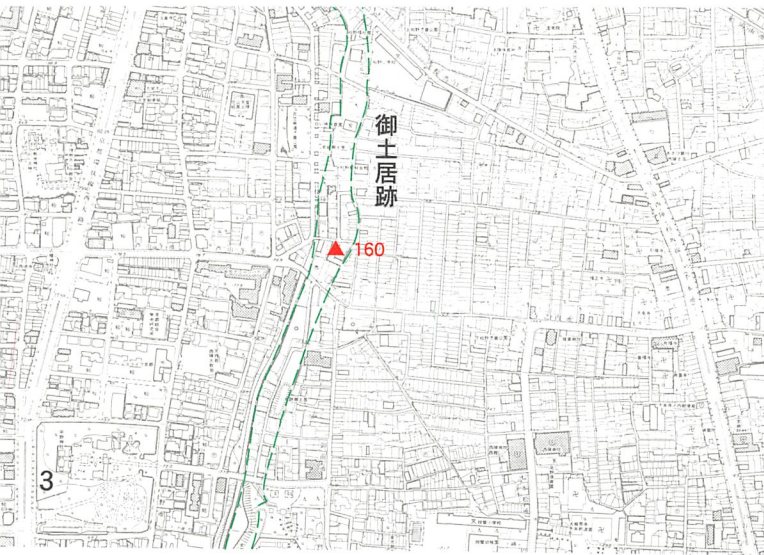
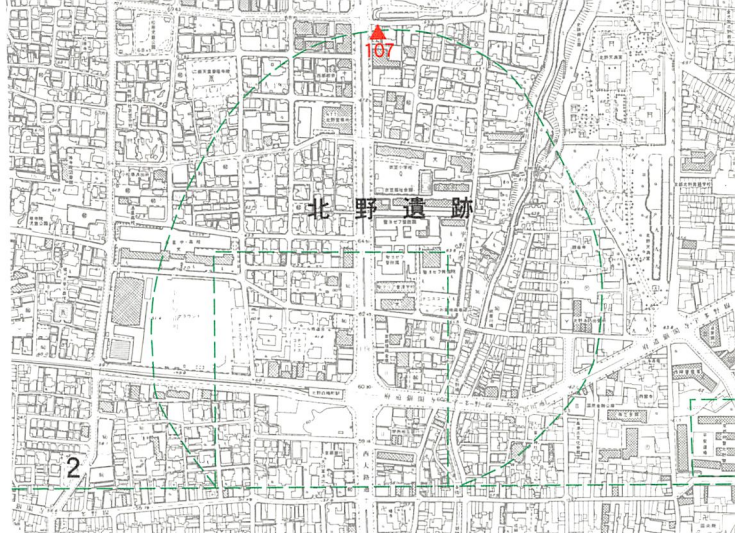
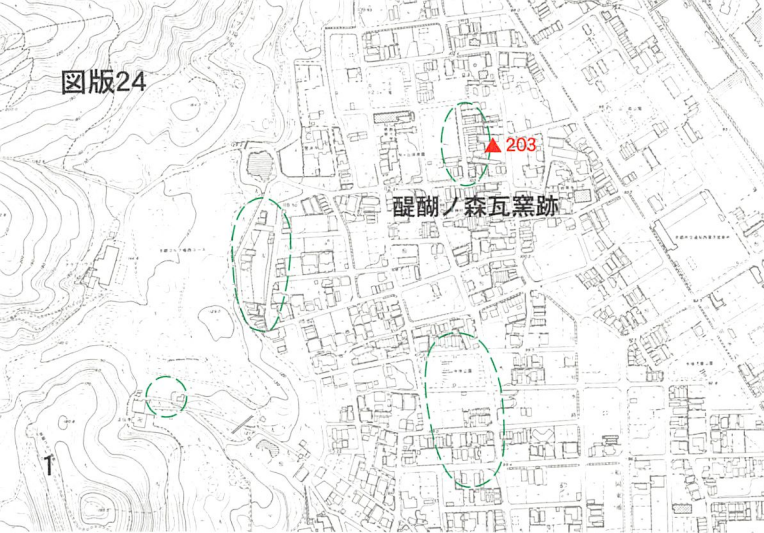
233

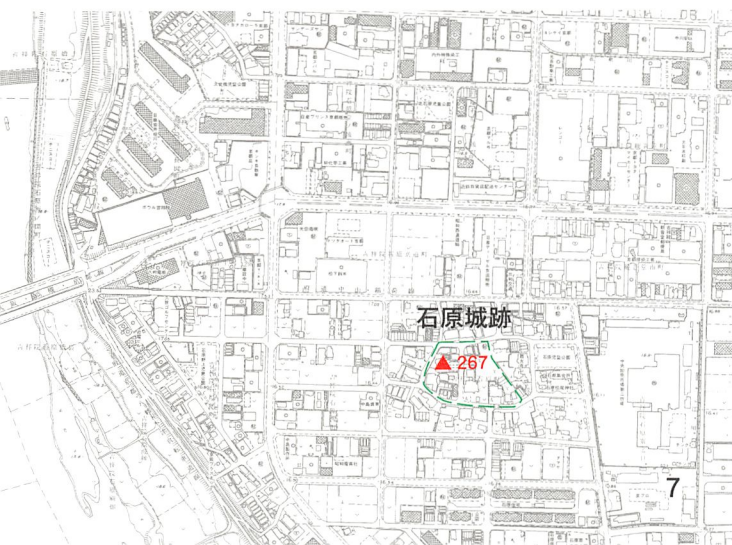
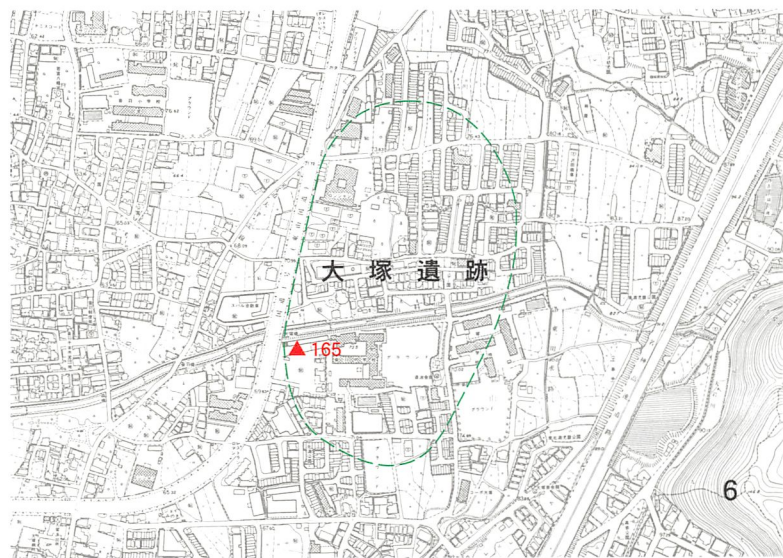
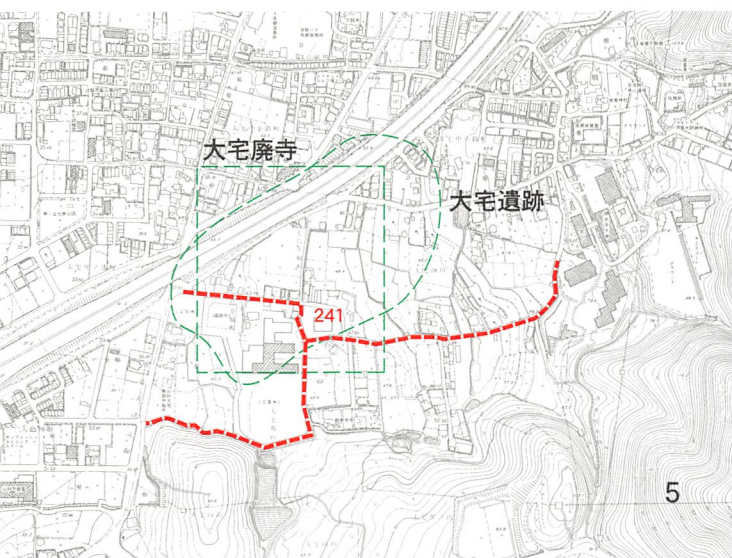
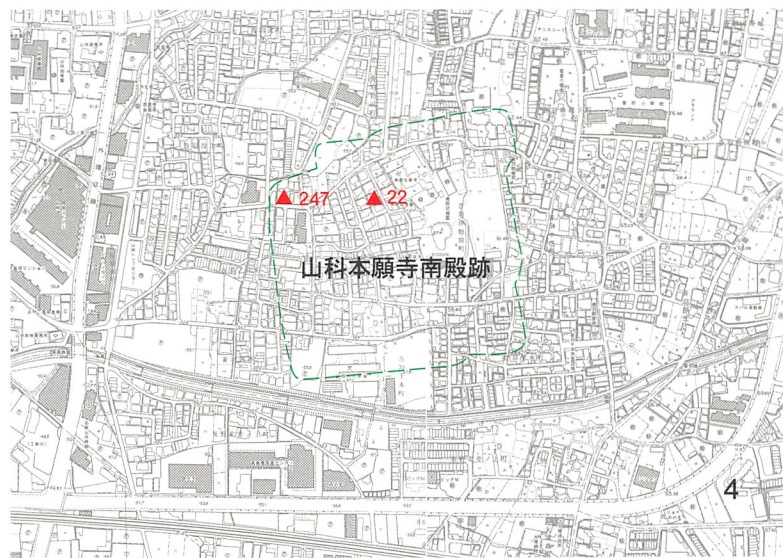
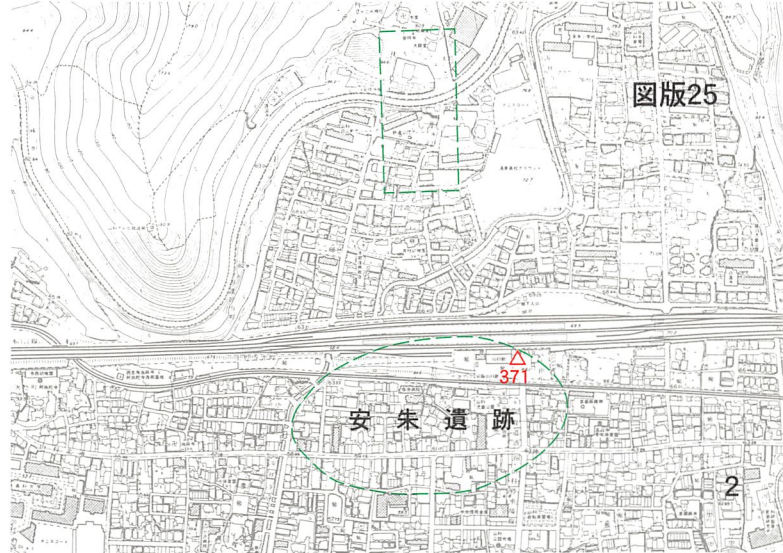
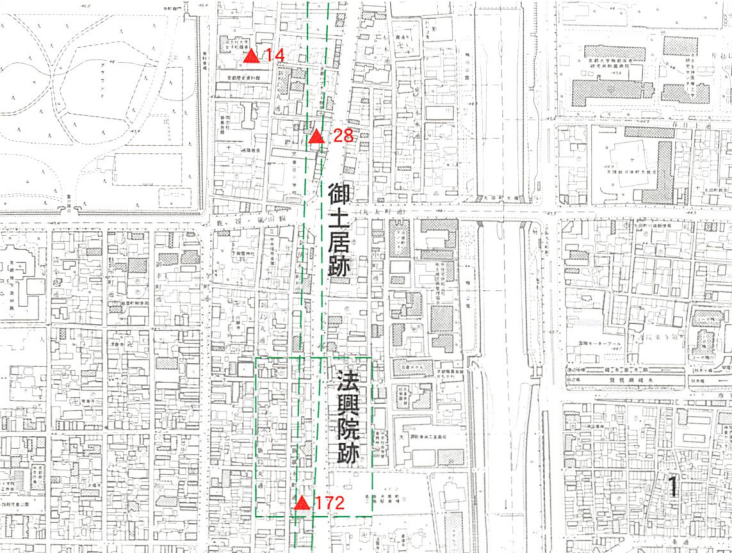
▲ 283

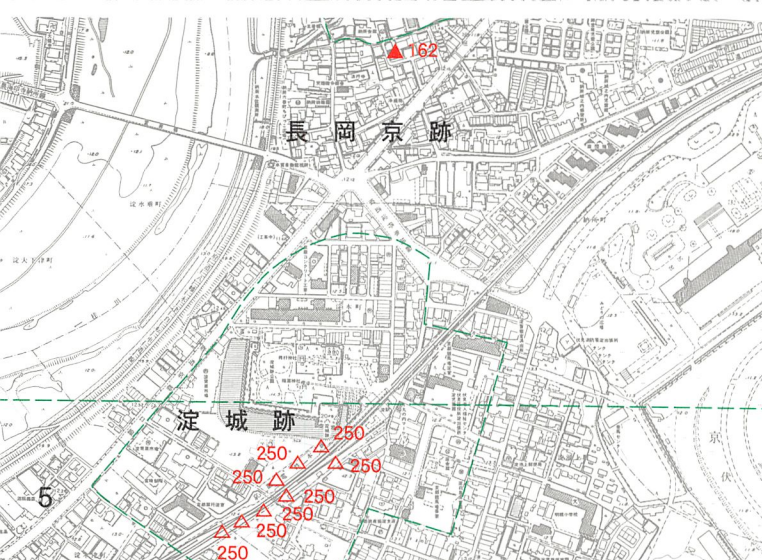
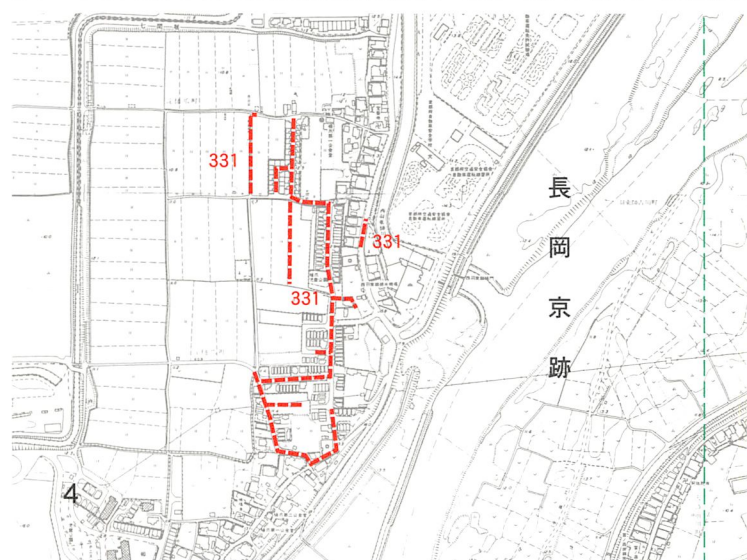
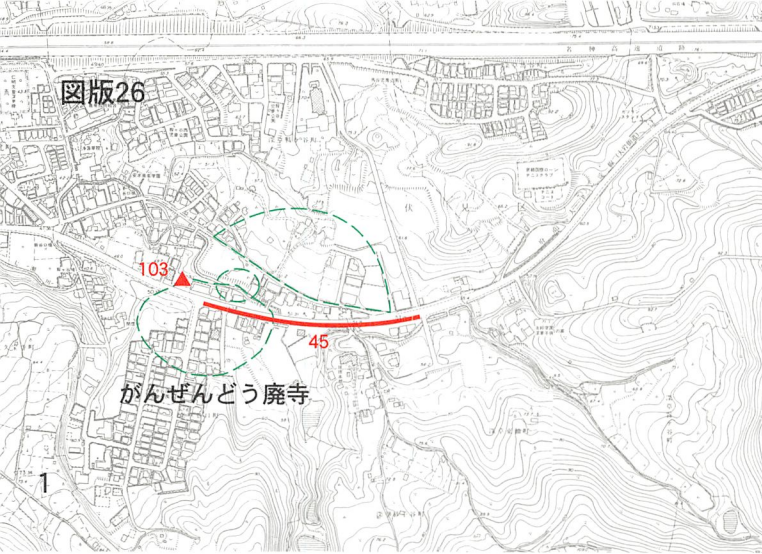
▲ 390



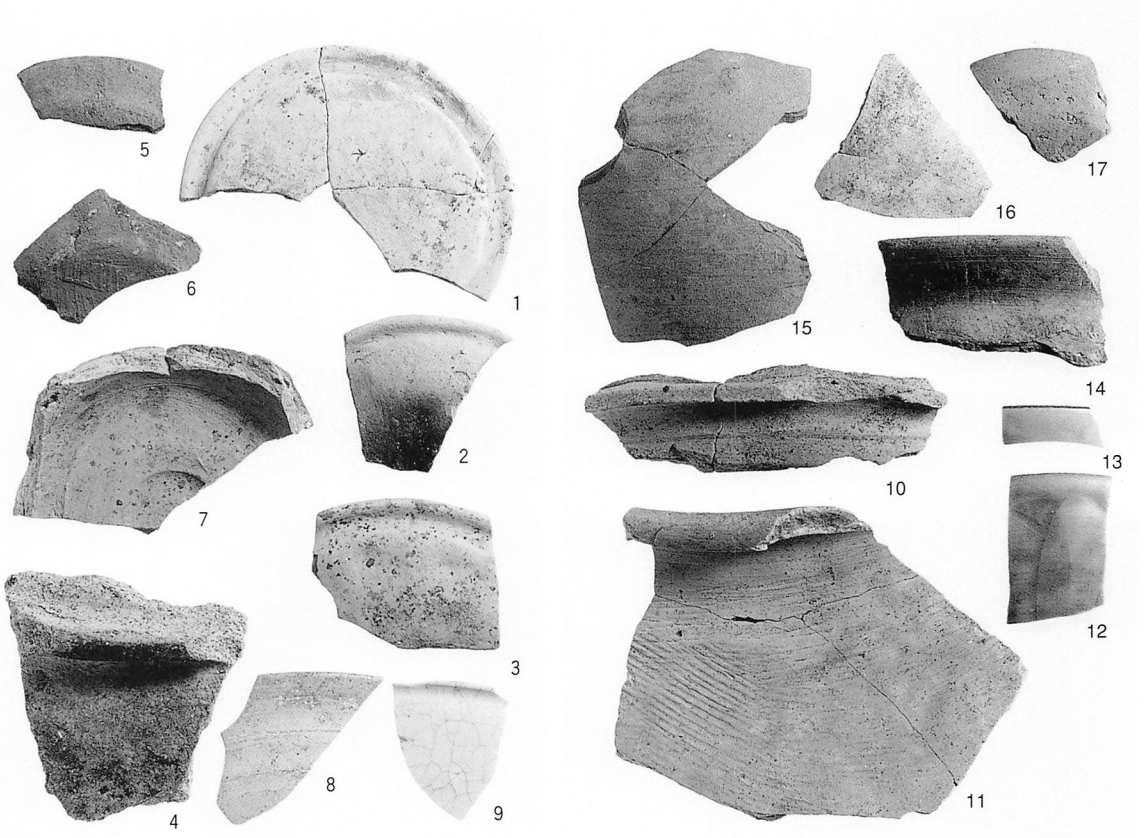








真 写



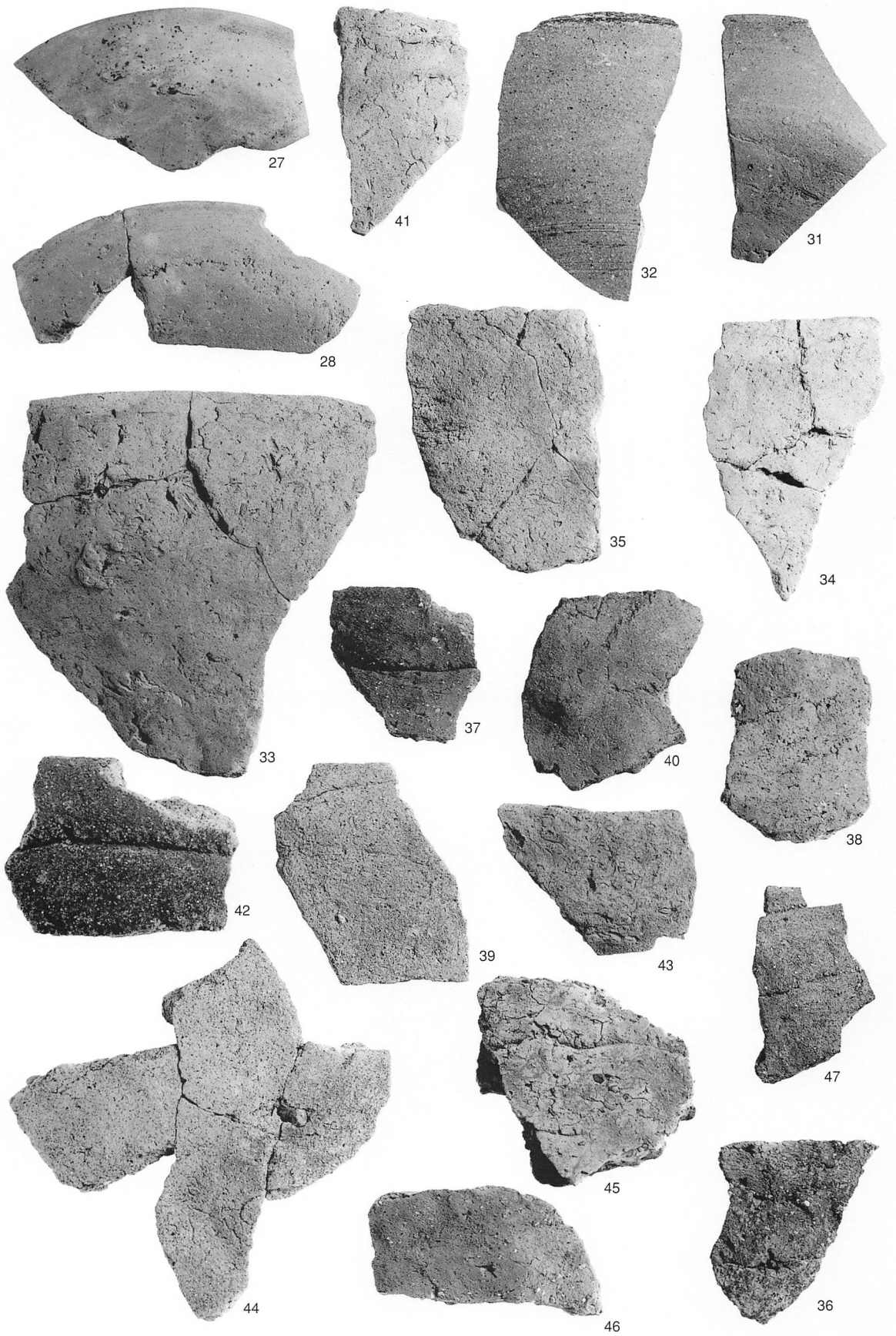
1～9 平安京左京二条二坊九町・二条城北遺跡 (03HL396・397)

10～17 平安京左京八条二坊十二町 (03HL311)



22～26 平安京右京四条二坊十四町 (04HR190)

29・30 平安京右京五条一坊六町 (03HR317)



平安京右京五条一坊六町 (03HR317)

京都市内遺跡立会調査概報

平成16年度

発行日 2005年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 (財)京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印刷 真陽社